

2020年度 開講科目シラバス

Syllabus 2020

もくじ Content				
	教育課程等の概要(共同学科等)「2014年度～2018年度入学生適応」	1	Overview of Academic Programs(2014-2018)	67
	教育課程等の概要(共同学科等)「2019年度以降入学生適応」	2	Overview of Academic Programs (2019-)	68
	災害看護学の基盤を支える科目群		Subjects Supporting the Foundation of Disaster Nursing	
1101	看護研究	3	Nursing Research Lecture	69
1102	理論看護学	5	Theoretical Nursing	71
1103	危機管理論	7	Crisis Management Theory	73
1104	環境防災学Ⅰ	8	Environmental Disaster StudiesⅠ	74
1105	環境防災学Ⅱ	9	Environmental Disaster StudiesⅡ	75
1106	グローバルヘルス	10	Global Health	76
1107	災害法制度と政策論	11	Health Policies and Disaster-Related Legal Systems in Japan	77
1108	専門職連携実践論	12	Professional Collabolation and Practice Theory	78
1109	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	14	Disaster Professional Collaboration Exercise(Disaster IP Exercise)	80
1110	災害医療学	16	Disaster Medical Science	82
1111	災害心理学	18	Disaster Psychology	84
1112	災害と文化	19	Disaster and Culture	85
1113	災害社会福祉学	21	Disaster Social Welfare	87
1114	Professional writing	22	Professional Writing	88
1115	Proposal writing(Research proposal writing skill)	24	Proposal Writing(Research proposal writing skill)	90
1116	Program writing (Program proposal writing skill)	26	Program writing (Program proposal writing skill)	92
	災害看護学の専門科目群		Subjects Specialized in Disaster Nursing	
1201	災害看護学総論	28	Introduction to Disaster Nursing	94
1202	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	30	Disaster Nursing ActivityⅠ(Acute phase)	96
1203	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	32	Disaster Nursing ActivityⅡ(Subacute phase)	98
1204	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	34	Disaster Nursing ActivityⅢ(Recovery and reconstruction phase)	100
1205	災害看護活動論Ⅳ(備え)	36	Disaster Nursing ActivityⅣ(Disaster Preparedness)	102
2206	災害看護グローバルコーディネーション論	37	Theory in Disaster Nursing Global Coordination	104
2207	災害看護リーダーシップ・管理論	39	Disaster Nursing leadership and Management	106
2208	災害看護倫理	40	Ethics in Disaster Nursing	107
3209	災害看護理論構築	42	Building Disaster Nursing Theory	108
1210	インターンシップⅠ	43	InternshipⅠ	109
1211	インターンシップⅡ	45	InternshipⅡ	111
	インデペンデント学修科目群		Subjects of Independent studies	
1301	災害看護ゼミナールA	47	Disaster Nursing SeminarA	113
1302	災害看護ゼミナールB	48	Disaster Nursing SeminarB	114
1303	災害看護ゼミナールC	50	Disaster Nursing SeminarC	116
1304	災害看護ゼミナールD	52	Disaster Nursing SeminarD	118
1305	災害看護ゼミナールE	54	Disaster Nursing SeminarE	119
1306	インデペンデントスタディⅠ	55	Independent StudyⅠ	120
1307	インデペンデントスタディⅡ		Independent StudyⅡ	
1308	インデペンデントスタディⅢ		Independent StudyⅢ	
1309	インデペンデントスタディⅣ		Independent StudyⅣ	
1310	インデペンデントスタディⅤ		Independent StudyⅤ	
	災害看護学研究支援科目群		Subjects Supporting Disaster Nursing Research	
1401	災害看護研究ゼミナール	57	Disaster Nursing Research Seminar	122
2402	実践課題研究	58	Field Research	123
3403	災害看護研究デベロップメント	59	Dissertation Research Proposal	124
3404	博士論文	61	Dissertation Research	126
	2014-2018年度入学生適応科目		Students enrolled from 2014-2018	
301	理論看護学Ⅱ	63	Theories in NursingⅡ	128

2014～2018年度入学生適応(旧カリキュラム)科目

教育課程等の概要（共同学科等）											
（共同災害看護学専攻（博士課程））											
科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	開設大学	単位数			授業形態			備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	
看護学 の学問 基盤に 関する 科目群	101	看護研究方法	1前	高知県立大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
	102	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
	301	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
	110	看護倫理	1後	兵庫県立大学		2		○			メディアを含む
	111	看護情報統計学	1後	東京医科歯科大学		2		○			オムニバス／メディアを含む
	201	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学		2		○			メディアを含む
	202	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科歯科大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	112	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィー)	1後	日本赤十字看護大学		1		○			メディアを含む
	203	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	113	看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科歯科大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	114	看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	204	看護研究方法論Ⅵ(介入研究・尺度開発含)	2前	兵庫県立大学		1		○			メディアを含む
		小計(12科目)	—		6	12	0	—			—
災害 必看 要なグ ロー バル 的な科 目群 に	205	危機管理論＊	2前	兵庫県立大学		2		○			オムニバス／メディアを含む
	115	環境防災学＊	1後	千葉大学／高知県立大学		2		○			オムニバス／メディアを含む
	211	グローバルヘルスと政策＊	2後	東京医科歯科大学		2		○			オムニバス／メディアを含む
	103	専門職連携実践論＊	1前	千葉大学		2		○			メディアを含む
	104	災害医療学＊	1前	日本赤十字看護大学		2		○			オムニバス／メディアを含む
	105	災害情報学＊	1前	兵庫県立大学		2		○			メディアを含む
	106	災害心理学＊	1前	兵庫県立大学		2		○			メディアを含む
	107	災害と文化＊	1前	千葉大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	212	災害社会学＊	2後	高知県立大学		1		○			メディアを含む
	206	災害福祉学＊	2前	高知県立大学		1		○			メディアを含む
	207	Professional writing＊	2前	高知県立大学		1			○		オムニバス／メディアを含む
	208	Proposal writing（Research proposal writing skill）＊	2前	東京医科歯科大学		1			○		オムニバス／メディアを含む
305	Program writing（Program proposal writing skill）＊	3後	兵庫県立大学		1			○		メディアを含む	
		小計(13科目)	—		0	20	0	—			—
災害 看護学 に関す る科目 群	108	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科歯科大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
	109	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
	116	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
	302	災害看護学特論	3前	兵庫県立大学	2			○			メディアを含む
	303	災害看護グローバルコーディネーション論＊	3前	日本赤十字看護大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	306	災害国際活動論＊	3後	日本赤十字看護大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	307	災害看護管理・指揮論＊	3後	高知県立大学		1		○			オムニバス／メディアを含む
	308	災害看護倫理	3後	兵庫県立大学	1				○		オムニバス／メディアを含む
	309	災害看護理論構築	3後	高知県立大学／兵庫県立大学	2			○			オムニバス／メディアを含む
			小計(9科目)	—		11	3	0	—		
災害 看護学 演習	117	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科歯科大学	2				○		オムニバス／メディア含む／集中
	118	災害看護活動論演習Ⅱ	1後	兵庫県立大学	2				○		メディアを含む／集中
	119	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	1後	千葉大学		2			○		オムニバス／メディア含む／集中
	209	災害看護グローバルリーダー演習	2前	日本赤十字看護大学		2			○		オムニバス／メディアを含む
	120	インディペンデントスタディ(演習)A	1後	高知県立大学		1			○		
	121	インディペンデントスタディ(演習)B	1後	兵庫県立大学		1			○		
	122	インディペンデントスタディ(演習)C	1後	東京医科歯科大学		1			○		
	123	インディペンデントスタディ(演習)D	1後	千葉大学		1			○		
	124	インディペンデントスタディ(演習)E	1後	日本赤十字看護大学		1			○		
			小計(9科目)	—		4	9	0	—		
災害 看護学 実習	210	災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫県立大学	2					○	集中
	401	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学	2					○	集中
	402	インディペンデントスタディ(実習)A	4前	高知県立大学		1				○	集中
	403	インディペンデントスタディ(実習)B	4前	兵庫県立大学		1				○	集中
	404	インディペンデントスタディ(実習)C	4前	東京医科歯科大学		1				○	集中
	405	インディペンデントスタディ(実習)D	4前	千葉大学		1				○	集中
	406	インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学		1				○	集中
			小計(7科目)	—		4	5	0	—		
研究 支援 する 科目 群	213	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)	5				○		各大学1単位／メディアを含む
	304	災害看護研究デベロップメント	3前	5大学(共同指導)	5				○		各大学1単位／メディアを含む
	501	博士論文	5前	5大学(共同指導)	5				○		各大学1単位／メディアを含む
			小計(3科目)	—		15	0	0	—		
合計（53科目）			—		40	49	0	—			—
学位又は称号		博士（看護学）		学位又は学科の分野				保健衛生学関係			
卒業要件及び履修方法					開設大学		開講単位数 (必修)		授業期間等		
標準修業年限の5年以上在籍し、修了要件50単位以上の単位を修得した者で必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを要件とする。					高知県立大学		16(8)		1 学年の学期区分		2 期
					兵庫県立大学		23(11)		1 学期の授業期間 1 6 週（試験期間含）		
修了要件50単位のうち、40単位は必修であり、10単位は選択科目または選択必修科目から修得すること。選択必修科目は「災害看護グローバルリーダーに必要な学際的な科目群」から6単位、「災害看護学に関する科目群」から2単位を修得すること。					東京医科歯科大学		16(7)		1 時限の授業時間		9 0 分
					千葉大学		18(7)				
また、それぞれの構成大学において10単位以上を修得すること。					日本赤十字看護大学		16(7)				
＊は選択必修科目											

教育課程等の概要（共同学科等）												
（共同災害看護学専攻（博士課程））												
科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	開設大学	単位数			授業形態			備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実習		
災害看護学の 基盤を支える科目群	1101	看護研究	1前	東京医科歯科大学		2		○				
	1102	理論看護学	1集	千葉大学		1		○				看護学専攻との共同開講 8～9月に集中 対面開講
	1103	危機管理論	1・2・3前	兵庫県立大学		1		○			偶数	
	1104	環境防災学Ⅰ	1・2・3後	高知県立大学		1		○			偶数	
	1105	環境防災学Ⅱ	1・2・3後	千葉大学		1		○			奇数	
	1106	グローバルヘルス	1・2・3後	東京医科歯科大学		1		○			奇数	
	1107	災害法制度と政策論	1・2・3後	東京医科歯科大学		1		○			偶数	
	1108	専門職連携実践論	1・2・3前	千葉大学		1		○				8～9月集中 看護学専攻との共同開講
	1109	災害時専門職連携演習（災害IP演習）	1・2・3集	千葉大学		1			○		奇数	2月、3月集中 ※対面開講
	1110	災害医療学	1・2・3前	日本赤十字看護大学		2		○			偶数	一部集中
	1111	災害心理学	1・2・3前	兵庫県立大学		1		○			偶数	
	1112	災害と文化	1・2・3前	千葉大学		1		○			奇数	一部集中
	1113	災害社会福祉学	1・2・3後	高知県立大学		1		○			偶数	
	1114	Professional writing	1・2・3前	高知県立大学		1			○		奇数	
	1115	Proposal writing（Research proposal writing skill）	1・2・3前	東京医科歯科大学		1			○		偶数	2019年度及び2020年度以降偶数年度開講
	1116	Program writing（Program proposal writing skill）	1・2・3後	兵庫県立大学		1			○		偶数	
	小計（16科目）	－		0	18	0	－					
災害看護学の専門科目群	1201	災害看護学総論	1前	兵庫県立大学		2		○				
	1202	災害看護活動論Ⅰ（急性期）	1前	東京医科歯科大学		2		○				
	1203	災害看護活動論Ⅱ（亜急性期）	1前	日本赤十字看護大学		2		○				
	1204	災害看護活動論Ⅲ（復旧・復興）	1後	千葉大学		2		○				
	1205	災害看護活動論Ⅳ（備え）	1後	高知県立大学		2		○				
	2206	災害看護グローバルコーディネーション論	2集	日本赤十字看護大学		2		○				
	2207	災害看護リーダーシップ・管理論	2前	高知県立大学		2		○				
	2208	災害看護倫理	2前	兵庫県立大学		1		○				
	3209	災害看護理論構築	3前	兵庫県立大学		2		○				
	1210	インターンシップⅠ＊	1・2・3・4・5通	5大学(共同指導)		5				○		
	1211	インターンシップⅡ＊	1・2・3・4・5通	5大学(共同指導)		5				○		
		小計（11科目）	－		0	27	0	－				
インデペンデント学修科目群	1301	災害看護ゼミナールA	1・2・3	高知県立大学		2		○				
	1302	災害看護ゼミナールB	1・2・3	兵庫県立大学		2		○				
	1303	災害看護ゼミナールC	1・2・3	東京医科歯科大学		2		○				
	1304	災害看護ゼミナールD	1・2・3	千葉大学		2		○				
	1305	災害看護ゼミナールE	1・2・3	日本赤十字看護大学		2		○				
	1306	インデペンデントスタディⅠ	1・2・3・4・5	高知県立大学 兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学		1			○			
	1307	インデペンデントスタディⅡ	1・2・3・4・5			1			○			
	1308	インデペンデントスタディⅢ	1・2・3・4・5			1			○			
	1309	インデペンデントスタディⅣ	1・2・3・4・5			1			○			
	1310	インデペンデントスタディⅤ	1・2・3・4・5			1			○			
		小計（10科目）	－		0	15	0	－				
研究災害 支援看護学群	1401	災害看護研究ゼミナール	1後	5大学(共同指導)		5		○				
	2402	実践課題研究	2通	5大学(共同指導)	5				○			
	3403	災害看護研究デベロップメント	3前	5大学(共同指導)	5				○			
	3404	博士論文	3～5	5大学(共同指導)	5				○			
		小計（4科目）	－		15	5	0	－			－	
合計（41科目）			－		15	65	0	－			－	
学位又は称号		博士（看護学）				学位又は学科の分野			保健衛生学関係			
卒業要件及び履修方法					開設大学		開講単位数 （必修）		授業期間等			
標準修業年限の5年以上在籍し、修了要件50単位以上の単位を修得した者で必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを要件とする。 修了要件50単位のうち、「災害看護学の基盤となる科目群」から6単位以上、「災害看護学の専門科目群」から10単位以上を修得し、かつ「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」のいずれか1科目以上を履修すること。 また、それぞれの構成大学において10単位以上を修得すること。 ＊は選択必修科目					高知県立大学		15 (3)		1学年の学期区分 2期			
					兵庫県立大学		16 (3)		1学期の授業期間 16週（試験期間含）			
					東京医科歯科大学		15 (3)		1時限の授業時間 90分			
					千葉大学		15 (3)					
					日本赤十字看護大学		14 (3)					
											※インデペンデントスタディの単位は含まない	

授業科目名	看護研究 Nursing Research Lecture	必修の区分	選択
授業コード	1101	開講年次	1
単位数	2	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	大久保功子 ¹⁾ 、緒方泰子 ¹⁾ 森田久美子 ¹⁾ 、岡光基子 ¹⁾ 、 操華子 ²⁾ 、武藤香織 ³⁾	所属	1) 東京医科歯科大学 2) 静岡県立大学 3) 東京大学医科学研究所
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	kouko.rhn@tmd.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【授業目的】 看護研究のプロセスと看護学研究法を学び、看護学の知を開発する上で必要な基礎的研究能力を修得する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護実践の根拠を研究的な視点から理解する。 2) 看護研究と科学哲学との関係ならびにその特徴を学び、研究をするための基本的なプロセスを理解する。 3) 研究における倫理的配慮とは何かを考え、倫理的な研究について理解する。 4) 代表的な研究方法(因子探索研究、関係探索研究、評価尺度開発研究、関連検証研究、因果仮説検証研究、現象学的解釈学的研究、エスノグラフィー、グランデッド・セオリー、ミックスメソッド、ナラティブ・メソッド)の実際について、テキストの中の具体例を通じて理解する。 5) 当該領域の著論文のクリティークを通し、研究課題を具体化し、看護活動への研究のアプローチ方法を理解する。 		
講義内容・授業計画	<p>【授業内容】 講義と学生が主体的に運営するゼミ形式によって行う。ゼミは指定したテーマに関連する図書を素材として、自己学習の成果発表と全体討議により運営する。</p> <p>【第1回】(大久保) ・オリエンテーション</p> <p>【第2回】(武藤・大久保) ・ Research Ethics</p> <p>【第3-5回】(岡光) ・ Foundations of nursing research Conceptualizing and Planning Critique EBP, 因子探索研究、関係探索研究、評価尺度開発研究、因果仮説検証研究、現象学的解釈学的研究、エスノグラフィー、グランデッド・セオリー、ミックスメソッド、ナラティブ・メソッドの概要</p> <p>【第6-8回】(緒方) ・ Quantitative research design Developing and testing Self-report scales 因子探索研究、関係探索研究、関連検証研究、評価尺度開発研究を含む</p> <p>【第9-11回】(森田) ・ Quantitative Research 因果仮説検証研究を含む</p> <p>【第12-14回】(大久保) ・ Qualitative Research 現象学的解釈学的研究、エスノグラフィー、グランデッド・セオリー、ミックスメソッド、ナラティブ・メソッド</p> <p>・ Mix Methods ・ Systematic reviews, Metasynthesis, Mixed studies review</p> <p>【第15回】(操) ・ Substraction</p>		
テキスト	<p>・ Polit,D.F.&Beck,T.C.(2016).Nursing Research-Generating and Assessing Evidence for Nursing Practice (10th ed), Wolters Kluwer Lippincott Williams&Wilkins.</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Munhall, P.L. (2012). Nursing Research-A Qualitative Perspective, Johnes & Bartlett learning. ・ Gray, J.R. & Grove, S.K. (2017) Burns and Grove's The Practice of Nursing Research: Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence, (8th ed), Saunders Elsevier. ・ American Psychological Association (2009). Publication manual of the American Psychological Association (6th ed). Washington, DC: Author. ・ Aligood, M.R. (2013). Nursing theorists and their work 8th ed, Mosby. ・ Denzin, N.K. & Lincoln, Y.S. (2011). The SAGE Handbook of Qualitative research 4th ed, Sage Pub. ・ Gubrium, J.F., Holstein, J.A., Marvasti, A.B., McKinney, K.D. (2011). The SAGE Handbook of Interview research-the comexity of the craft, 2nd ed. Sage Pub. ・ マイケル・ブルア & フィオナ・ウッド. 上淵寿 (2009). 質的研究法キーワード, 金子書房. ・ Grove, S.K. & Ciper, D.J. (2016). Statics for nursing research: A workbook for evidence based practice, 2nd. Saunders. ・ Heavey, E. (2014). Statics for nursing: a practical approach, Jones & Bartlett.
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1 井山弘幸, 金森修 (2001). 現代科学論, 新曜社. 2 アレックス・ローゼンバーク, 東克明, 森元良太, 渡部鉄兵 (2011). 科学哲学 - なぜ科学が哲学の問題になるのか, 春秋社. 3 ジェームス・ロバート・ブラウン, 青木薫 (2011). なぜ科学を語ってすれ違うのか - ソーカル事件を超えて, みすず書房. 4 ケネス・J・ガーゲン, 東村知子 (2004). あなたへの社会構成主義, ナカニシヤ出版. 看護の知と科学、哲学との関係 5 Rodgers, B.L. (2005). Developing Nursing Knowledge-Philosophical traditions and Influences, Lipincott Williams & Wilkins. 6 小林隆児, 西研 (2015). 人間科学におけるエヴィデンスとは何か, 新曜社. <p>【補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D.F.ポーリット & C.T.ベック, 近藤潤子監訳 (2010). 看護研究 - 原理と方法, 医学書院. ・ Pan, M Ling. (2013). Preparing Literature Reviews. Qualitative and quantitative approaches (4th ed.). Pyczak Publishing: Glendale California. <p>http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf</p> <p>http://www.wma.net/en/30publications/10policies/b3/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Manen, M. 村井尚子 (2011) 生きられた経験の探究 - 人間科学がひらく感受性豊かな“教育”の世界, ゆみる出版. キャサリン・コーラー・リースマン, 大久保功子, 宮坂道夫 (2014). 人間科学のためのナラティブ研究法, クオリティケア.
成績評価	<p>資料の完成度20%、プレゼンテーション20%、参加率ならびにクラスへの貢献度20%で、平常点を評価する。</p> <p>最終提出物の完成度 ①サブストラクション20% ②文献検討20%(専攻分野の対象に関する研究のクリティークを含む・CNSコースの学生は、評価尺度開発論文のクリティークも行うこと)</p>
履修上の注意・履修要件	<p>予習を必ずしてくる。クラスの参加者が学習を深めることができるような質問を、必ず準備してくる。参考書や参考文献以外に、自ら多くの書籍に当たり調べてくること。</p> <p>A4 2枚以内に要旨をまとめて資料を作成すること。必ず参考文献を明示すること。この資料は、発表の前の週の金曜日 5:00PM までに、履修者全員に添付ファイルで送ること。</p> <p>ファイル名は ⇒ NR (担当ページ) 氏名 とすること。例 NR137-159 大久保功子</p>
備考	<p>本授業は、5大学共同災害看護学専攻と東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護先進科学専攻との合同授業として行う。授業は一部英語で行う。</p> <p>授業の内容・スケジュールは変更になることがある。</p>

授業科目名	理論看護学 Theoretical Nursing	必修の区分	選択
授業コード	1102	開講年次	1
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義・演習	授業方法	集合授業
講師名	山本 利江	所属	千葉大学大学院看護学研究科
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	ytoshie@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 看護学の発達過程を歴史的・方法的・構造的に理解し、諸科学との連関を踏まえつつ、災害看護学を新たな学問として体系化する基礎的能力を養う。</p> <p>【到達目標】 1. 看護実践における看護理論の活用とその効果について理解し、活用の方法を演習する。 2. 1. の学習を通して、自己の実践上の課題を明確にし、課題解決の方法を修得する。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【第1・2回】講義：和住淑子、山本利江</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護理論の意義、歴史的変遷、活用、検証について理解する。 習慣化された実践現場での思考過程を対象化する意義と方法を理解する。 実践の論理を導く推論と、理論構築における推論との関連を理解する。 看護理論の実践における活用は、実践の観察、記述、同定、予測を可能にすることを理解する。 看護理論の活用による状況把握が、習慣化した思考過程の特徴を明示し、実践の発展の方向を示唆することを理解する。 実践の卓越性は、実践の記述と、看護理論を根拠とする実践の性質の同定により、説明できることを理解する。 <p>【第3～8回】演習：黒田久美子、和住淑子、山本利江 各種看護理論の特徴、実践との関係を理解する 看護理論を使って自己の看護実践を振り返り説明、評価する。 (グループワーク) 看護理論を実践に活用する上での意義と課題について討議する。 (グループワーク・発表・まとめ)</p>		
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> F. ナイチンゲール著、湯槇ます他訳、看護覚え書、改訳第7版、現代社、2011. Alligood, M.R., Tomey, A.M., Nursing Theorists and Their Work, 8th ed, Mosby, 2014. 		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> Alligood, Martha Raile : Nursing theorists and their work, 8th edition. Mosby, an imprint of Elsevier Inc., 2014. Ann Marriner - Tomey : 看護理論家とその業績、第3版、医学書院、2005. Gertrude Torres : 看護理論と看護過程、医学書院、1994. 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Peggy L. Chin. Maeone K. Kramer : 看護理論とは何か. 医学書院, 1997. ・ 正木治恵, 酒井郁子編, 看護理論の活用 看護実践の問題解決のために, 医歯薬出版, 2012.
成績評価	<p>授業への参加状況、課題レポートの成果から総合的に評価する。</p> <p>授業への出席状況（レスポンスシートの提出）、発表、討議への参加状況、</p> <p>発表 40%、課題レポート 60%</p>
履修上の注意・履修要件	<p>最終課題レポートについて</p> <p>課題：既存の看護諸理論の中から1つの理論をとりあげ、論理構成の特徴や理論家の経歴・時代背景から、理論開発の過程を分析し、実践への適用例を提示する。これらに基づき、選択した理論の実践上の意義、看護学上の意義、災害看護学構築における意義について、自身の考えを述べる。</p> <p>(提出期限：授業終了後3週間以内)</p>
備考	<p>事前課題レポートが期限内に提出されていない場合、受講できない</p>

授業科目名	危機管理論 Crisis Management Theory	必修の区分	選択
授業コード	1103	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	紅谷昇平	所属	兵庫県立大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	beni@drg.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 危機および危機管理の基本理論、及び災害時の対応課題と危機管理手法について、日本で発生した災害の実例を通して学習する。</p> <p>【到達目標】 本講義の終了時には、危機および危機管理の基本的な理論や事例・教訓を理解し、社会的な危機である災害に効果的に対応するための組織体制やマネジメント手法、危機管理プロセス等について修得し、実践ができることを目指す。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 日本の災害対応事例やリスクマネジメントの国際規格 ISO31000、アメリカの ICS (Incident Command System) などの災害対応・危機管理の枠組みを参考にしながら、危機管理・災害対応に求められる組織形態、指揮命令系統、災害対策本部の組織・運営方法、他組織との連携などのあり方について学ぶ。さらに、災害対応業務に備えて平時に策定すべき防災計画の役割や訓練手法等についても取り上げる。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：リスク、危機、災害、危機管理等の用語・概念 2. 災害発生のメカニズム：ハザード、社会的脆弱性、ディザスター 3. 危機管理体制（クライシスマネジメント）(1)：事例からの教訓・課題 4. 危機管理体制(2)：リーダーシップ、組織体制 5. 危機管理体制(3)：空間、計画、訓練 6. 危機管理体制(4)：組織間連携と ICS 7. リスクマネジメント 8. まとめと確認テスト 		
テキスト	なし		
参考文献	講義中に紹介する。		
成績評価	確認テスト 50%、課題レポート 50%		
履修上の注意・履修要件	なし		
備考	なし		

授業科目名	環境防災学 I Environmental Disaster Studies I	必修の区分	選択
授業コード	1104	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	隔年後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	大村 誠	所属	高知県立大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	omura@cc.u-kochi.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】地球科学に関する幅広い知識を利用して、地域における開発・保全・防災・環境問題に取り組むための学術的基礎素養と、多様な場における問題解決に応用できる基礎的能力を身につける。</p> <p>【到達目標】災害発生と自然・都市環境との関連を学び、地域減災の方法、災害からの復興計画の考え方や実践の方法について提案できる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】</p> <p>主に自然災害を中心に、災害を引き起こす外力であるハザードの性質を理解し、それを災害（ディザスター）にしないための経験的知識を習得する。</p> <p>【学習内容】（8回）</p> <p>近未来に災害看護が直面する自然災害の事例として、主に日本の都市の環境に着目し、地震・津波災害（建物の崩壊、火災、地盤災害ほか）さらに、気象災害、水害、土砂災害などの事例も学ぶ。さらに、複数種類の災害が同時に発生する南海トラフ巨大地震と首都直下地震に対して、少子高齢化が進む社会での対応を考察する。</p>		
テキスト	必要に応じて WEB で資料を公開。		
参考文献	鎌田浩毅（監修・著）. せまりくる「天災」とどう向き合うか、ミネルヴァ書房、2015. ほか 授業の中で紹介する。		
成績評価	授業参加度、レポートを総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	災害の映像資料の使用に配慮が必要な受講生は申し出ること。		
備考	なし		

授業科目名	環境防災学Ⅱ Environmental Disaster Studies Ⅱ	必修の区分	選択
授業コード	1105	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	近藤昭彦	所属	千葉大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	kondoh@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】地理学に関する幅広い知識を利用して、地域における開発・保全・防災・環境問題に取り組むための学術的基礎素養と、多様な場における問題解決に応用できる基礎的能力を身につける。</p> <p>【到達目標】災害発生と自然・社会との関連を学び、地域固有の減災の方法、災害からの復興計画の考え方や実践の方法について提案できる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】</p> <p>主に自然災害を中心に、災害を引き起こす外力であるハザードの性質を理解し、それを災害（ディザスター）にしないための経験的知識を習得する。</p> <p>【学習内容】</p> <p>（近藤昭彦／8回）地震、豪雨等のハザードと地域ごとに異なる土地の性質（素因）に関する基礎的知識に基づき、災害発生の要因を理解することにより、発災時の行動のあり方、復興計画に対する指針、平穏時における備え、等について過去の災害事例に基づき講義を行う。</p>		
テキスト	必要に応じて WEB で資料を公開。		
参考文献	授業時に指示。		
成績評価	授業参加度、レポートを総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	なし		
備考	なし		

授業科目名	グローバルヘルス Global Health	必修の区分	選択
授業コード	1106	開講年次	1-3
単位数	1	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	佐々木 吉子	所属	東京医科歯科大学
オフィスアワー・場所	アポイント（随時）	連絡先	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【授業目的】 日本国内および世界の健康課題を理解し、俯瞰的な視点で解決策を検討し提案する力を獲得する。</p> <p>【到達目標】 同上</p>		
講義内容・授業計画	<p>【授業内容】</p> <p>第1回 ガイダンス（佐々木 吉子）</p> <p>第2・3回 グローバルヘルス課題への取り組み①（未定）</p> <p>第4・5回 グローバルヘルス課題への取り組み②（未定）</p> <p>第6・7回 グローバルヘルス課題への取り組み③（未定）</p> <p>第8回 ディスカッション（佐々木 吉子）</p>		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
成績評価	<p>毎回の講義での参加状況 50%（積極的な質問、議論への参加を評価する）</p> <p>毎回の講義後のレポート 50%</p>		
履修上の注意・履修要件	受け身で講義を聴講するのではなく、自発的、積極的な質問・議論を求めます。		
備考	2020 年度は開講しない。		

授業科目名	災害法制度と政策論 Disaster related law and policies	必修の区分	選択
授業コード	1107	開講年次	1-3
単位数	1	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	佐々木吉子、柏木聖代、 駒形朋子、山元恵子、 栗田駿一郎、高松真菜美 岡本 正	所属	東京医科歯科大学
オフィスアワー・場所	アポイント（随時）	連絡先	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【授業目的】 日本の医療政策・制度および災害関連の法律を理解し、災害対策もしくは対応上の課題の解決策の提案ができる能力を獲得する。</p> <p>【到達目標】 日本の医療政策・制度について理解する。 災害関連の法律を理解する。 災害対策・対応を解決に向けた政策提言のための具体的方策について検討する。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【授業内容】</p> <p>第１・２回 ガイダンス（佐々木吉子） 日本の看護政策（山元恵子、駒形朋子）</p> <p>第３・４回 日本の医療政策①（栗田駿一郎）</p> <p>第５・６回 日本の医療政策②（高松真菜美）</p> <p>第７回 災害に関連する法律（岡本 正）</p> <p>第８回 政策提言に向けた発表と討論（柏木聖代、佐々木吉子）</p>		
テキスト	指定なし		
参考文献	指定なし		
成績評価	講義での参加姿勢（積極的な質問、議論への参加を評価する）60% 事後レポート 40%		
履修上の注意・履修要件	受け身で講義を聴講するのではなく、自発的、積極的な質問・議論を求めます（英語シラバス記載）		
備考	特になし		

授業科目名	専門職連携実践論 Interprofessional Collaboration and Practice Theory	必修の区分	選択
授業コード	1108	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	集合授業
講師名	酒井 郁子 井出 成美 臼井 いづみ	所属	千葉大学大学院看護学研究科
オフィスアワー・場所		連絡先	ikusakai@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】組織の協働的実践の方略、課題、解決法などについて比較検討でき改善するための基本的知識技術を理解する。</p> <p>【到達目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職連携実践（IPW）に価値を置き、他職種の意見や見方を尊重する態度を理解する ・各専門職の役割と関係、協働を促進している状況について国レベルから地域レベルまで理解できる。 ・協働を改善するための戦略や理論モデルを理解できる ・他職種、自組織において改善の必要性がある協働実践を判別し、改善策を企画実施するためのスキルを理解する。 ・多機関との連携協働に関する知識、および目的に応じた実行および評価のためのスキルを理解する 		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】</p> <p>専門職連携実践（IPW）に関連する概念と類型、理論枠組みを概説する。また IPW の改善を目指した教育的介入、実践介入、組織管理について論述し、チームパフォーマンスの評価方法について概観する。</p> <p>【学習内容】 8 コマ(4 コマ×2 日)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 専門職連携実践の基礎的知識と理論および発展の歴史と社会背景 3 IPコンピテンシーと教育プログラムの開発 4 対立の分析と解決 5 チームビルディングおよびチームマネジメントと評価 6 効果的な意思決定のためのカンファレンスの運営 7 組織間連携の原則と災害時の多様な局面における多機関連携 8 まとめ 		
テキスト	講義開始前に文献リストを提示する。		
参考文献	講義開始前に文献リストを提示する。		
成績評価	<p>授業への参加 60%(自己学習をもとに積極的に発言することを評価する)。</p> <p>最終レポート 40%（レポート課題：自己の専門職連携実践能力の自己評価と今後の課題）</p>		

履修上の注意・履修要件	災害時 IP 演習の履修希望者は本科目を履修することが望ましい。
備考	

授業科目名	災害時専門職連携演習 (災害 IP 演習) Disaster Inter-Professional Collaboration Exercise (Disaster IP Exercise)	必修の区分	選択
授業コード	1109	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	後期
授業種別	演習	授業方法	集中・集合演習
講師名	酒井 郁子 近藤 昭彦 岩崎 寛 井出 成美 臼井 いづみ	所属	千葉大学大学院看護学研究科 千葉大学環境リモートセンシ ング研究センター 千葉大学園芸学研究科 千葉大学大学院看護学研究科 千葉大学大学院看護学研究科
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	ikusakai@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】災害の種類及び局面に応じた被災者中心の専門職連携を実践できる能力を獲得する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職連携に関する理論や知見をもとに災害の種類及び局面ごとに必要となる IPW の類型を理解できる。 ・災害時専門職連携を行う際に必要となる態度およびコミュニケーションスキルを理解し実際に行うための自己の課題を明らかにできる。 ・災害時に必要となる多機関との交渉、自組織の連携実践の構築、運営を行う力および評価・改善する能力を理解しシミュレーションで実践できる。 		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】災害の種類や局面に応じ、IPW (interprofessional work) が実践できるようになるための態度、知識、思考力、行動力を養う。発災から復旧・復興に至る過程で生じる様々な課題に対して、複数の専門分野の教員が協働指導のもと、複数の専門分野の大学院生がチームを組み、連携協働して成果を産出していく実践型授業により、専門職連携実践能力の向上をねらう。</p> <p>【学習内容】災害の局面ごとに状況設定型図上演習を行う。デブリーフィングにおいて教員、協力者からのフィードバックをもとに被災者中心の災害時専門職連携、災害支援時の自己のIP実践能力をリフレクションして、所属組織やチームのパフォーマンス改善のための課題を明らかにする。</p> <p>Day1 オリエンテーション、講義「常総市の土地条件と災害」(近藤)、演習「災害対策本部の設営準備」「災害対策本部シミュレーション」</p> <p>Day2 演習「災害対策本部シミュレーション」、講義・演習「ワークショップと合意形成」(岩崎)、演習「ワークショップの企画」</p> <p>Day3 演習「ワークショップの実施」「コミュニティ再生プランの作成」「住民への説明資料作り」、全体デブリーフィング</p>		
テキスト	特になし		
参考文献	平成27 年常総市鬼怒川水害対応に関する検証報告書 市町村の災害時意思決定体制改善に向けて～情報伝達・共有型図上訓練と		

	支援システム～ 市町村の災害時意思決定体制づくり．環境と消防 4 (1)
成績評価	事前に提示された課題に取り組み、ワークシートを提出する 20% 演習への参加状況 タスクの達成状況とチームワークの評価 50% 最終レポート30%
履修上の注意・履修要件	専門職連携実践論を合わせて履修しておくことが望ましい。
備考	

授業科目名	災害医療学 Disaster Medical Sciences	必修の区分	選択
授業コード	1110	開講年次	1・2・3
単位数	2 (15回)	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	隔年講義、遠隔授業
講師名	池田稔子 丸山嘉一 林宗博 安井清孝 他	所属	日本赤十字看護大学看護学研究科
オフィスアワー・場所	右記メールアドレスに連絡	連絡先	池田稔子 t-ikeda@redcross.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 災害医療活動に取り組むための医学的基礎素養と、多様な災害現場の災害医療体制の立ち上げに応用できる基礎的能力について学ぶ</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療学と災害看護学との関連、活動上の連携について理解する ・災害の種類、災害サイクル、災害現場に伴う医療活動に必要な知識について説明できる ・災害医療コーディネーターの役割について理解し、看護コーディネーターのあり方を構築する ・災害時の外傷の病態や治療の基本について理解する ・被曝医療の病態や治療の基本、患者対応、看護のあり方について理解する ・災害関連死の背景と病態、予防対策について理解する 		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】 既に有している災害医療活動に関する基礎的知識をさらに深め、災害医療活動の場面で、看護の視点からリーダーとして役割を行使できるように実践的能力を養う</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害医療学の授業展開オリエンテーション、大規模災害の医療支援活動を通しての課題と対策（池田） 2) 災害時における危機的疾患と救急外科的対応＊（林） 3) 公衆衛生をグローバルな視点でとらえる～地域包括ケアシステムから～＊（林） 4) 被災地における巡回診療による医療ニーズの発見と対応＊（林） 5) 災害医療活動現場の特徴とその構造災害種類別の疾病構造＊（丸山） 6) 災害に関連した疾病のメカニズム：避難生活との関連、避難所と仮設住宅の違い＊（安井） 7) サイクル及び災害現場に伴う疾病構造医療対応である災害医療の 3T（START 方式、医療トリアージ、搬送トリアージ、シミュレーションによる優先度の検討）＊（丸山） 8) 被災者及び災害関連死とは、法律上の意味、様々な災害の比較＊（安井） 9) 3T を支える CSCA の仕組み＊（丸山） 10) 災害関連死の予防、看護・介護との連携＊（安井） 11) 災害医療にコーディネーターの役割と課題＊（丸山） 12) 被ばく医療の概念と基本、東日本大震災における活動、住民対応＊（安 		

	井) 13) シミュレーション：局所災害と大規模災害における CSCA3T* （丸山） 14) 急性期の被爆医療における看護の在り方*（安井） 15) まとめ（池田）
テキスト	特に指定しない。事前に授業関連の資料を配布する予定。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災 石巻災害医療の全記録：石井正，ブルーバックス，2012. ・ 第3版 MIMMS 大事故災害への医療対応：MIMMS 日本委員会訳，永井書店，2012. ・ 災害医学：山本保博等，NPO 災害人道医療支援会，2011. ・ 基礎からわかる被曝医療ガイド：箱崎幸也等，日経メディカル開発，2011. ・ 低線量・内部被曝の危険性：編医療問題研究会，プライム，2011. ・ 東日本大震災 医療と介護に何が起こったのか／震災関連死を減らすために：上田耕蔵，萌文社，2012. ・ お前らもはよ逃げてくれ、阪神淡路大震災 神戸医療生協の活動記録：神戸医療生活協同組合編（ネット上で公開）
成績評価	各講師から出題される筆記試験、または課題レポート、授業への参加態度等で総合的に評価する
履修上の注意・履修要件	オムニバス授業であるが、各授業内容の特性と共に、災害医療学の全体像を捉える。シミュレーションや演習に積極的に参加する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隔年開講科目である 2020 年度は開講する。 ・ 災害医療活動に関連する実話の著書を数冊読破し、授業に望む。 日頃から、災害について新聞やホームページ、TV等を通して、被害の大きさ、被災者、医療救護活動の実際について、情報収集を得ておく。 ・ 非常勤講師（*）については、開講年度によって変更する可能性あり。 また、講師の都合上、授業の曜日が変更することがある。

授業科目名	災害心理学 Disaster Psychology	必修の区分	選択
授業コード	1111	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	富永良喜	所属	減災復興政策研究科
オフィスアワー・場所	看護学科	連絡先	tominagayoshiki@gmail.com
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 災害後のストレス反応とトラウマ反応とストレス関連障害を学び、被災者と支援者を援助するための心理ケアとカウンセリングを学ぶ。</p> <p>到達目標 1.災害後の被災者と支援者のストレス反応とストレス障害を修得すること。 2.災害後の被災者と支援者のストレスマネジメントを修得すること。 3.防災教育と心理ケアの融合を修得すること。</p>		
講義内容・授業計画	<p>1 被災者のストレス反応とトラウマ反応とストレス関連障害；回復要因とリスク要因。 2. セルフケアとしてのリラクセーション；漸進性弛緩法・動作法・自律訓練法・ポジティブメッセージ 3. 心理アセスメント； CAPS・IES-r・心理教育のためのストレスチェック。 4. トラウマフォーカスト認知行動療法と認知のトライアングル 5. 絆のワーク・積極的傾聴・共感。 6. 支援者の二次的外傷性ストレスとトラウマ後成長 7. 防災教育と心理ケアの統合 8. PFA（心理的応急法）と災害後の3段階モデル</p>		
テキスト	災害・事件後の子どもの心理支援（創元社）		
参考文献	Tominaga,etal.2019 Secondary trauma and posttraumatic growth among mental health clinicians involved in disaster relief activities following the 2011 Tohoku earthquake and tsunami in Japan. Counselling Psychology Quarterly.		
成績評価	レポート（80%）、積極的態度(20%)		
履修上の注意・履修要件			
備考	教員研究者データベース Hp を参照のこと。		

授業科目名	災害と文化 Disaster and Culture	必修の区分	選択
授業コード	1112	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義、フィールドワーク	授業方法	第 1～8 回：遠隔授業 (第 6～8 回は対面・集合でも 受講可能)
講師名	正木 治恵 岩崎 寛 望月 由紀	所属	千葉大学大学院看護学研究科 千葉大学大学院園芸学研究科 東都大学ヒューマンケア学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	hmasaki@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】災害支援に必要な文化的視点を理解し、文化的感受性を高める。また、関連する概念や理論について概観すると共に、文化的アプローチについて実践例をもとに理解を深める。</p> <p>【到達目標】災害支援に必要となる文化的視点と感受性が獲得できる。被災地域の文化を取り込んだケア、コミュニケーションができる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>オムニバス方式（正木治恵／3回、望月由紀／2回、岩崎寛／3回）</p> <p>【遠隔授業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害看護における文化的ケアの基礎 2) 文化看護とケア 3) 災害看護における文化の視点 4) 実践例をもとにした文化的ケアの方法(1) 5) 実践例をもとにした文化的ケアの方法(2) <p>【遠隔授業（対面、集合でも可）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6) 被災地域の風土や文化をツールとしてケアに取り込む方法 7) コミュニケーションツールとしての植物を用いたワークの実践 8) 植物を通じた地域文化の体験 		
テキスト	なし		
参考文献	<p>正木担当回：Christie W. Kiefer 著、木下康仁訳：文化と看護のアクション リサーチ 保健医療への人類学的アプローチ、医学書院、2010</p> <p>岩崎担当回：広井良典編：「環境と福祉」の統合、有斐閣、2008</p> <p>望月担当回：マデリン M. レイニンガー：レイニンガー看護学、医学書院、 1995</p>		
成績評価	クラス参加度とプレゼンテーション（30 点）、事前・事後レポート(70 点)		

	を総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	岩崎担当回(第 7～8 回)で用いるハーブの栽培を各自で行います。
備考	第 6～8 回は対面・集合での受講も可とする。

授業科目名	災害社会福祉学 Disaster Social Welfare	必修の区分	選択
授業コード	1113	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔・集中
講師名	室崎益輝	所属	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
オフィスアワー・場所	事前にメールにて連絡	連絡先	c/o nakaie@cc.u-kochi.ac.jp
講義目的及び到達目標	災害の構造や特質を理解させたいので、それによる被害軽減の方向や対策を、予防、応急、復興の減災サイクルに即して、具体的に理解させる。とくに、社会福祉、災害看護、生活保護等の分野については、その有るべき姿を減災との関わりで、深く理解させる。		
講義内容・授業計画	(1) 災害概論・・災害事例の考察を通して、災害の構造や特質を知る 1. 災害の事例と分類 2. 災害の構造と特質 (2) 防災対策総論・・防災対策の戦略や体系の全体像を理解する 3. 大災害に学ぶ防災の教訓 4. 防災対策の基本フレーム 5. 減災の考え方とその具体化 (3) 防災対策各論・・災害種別、時系列別に対策のあり方を学ぶ 6. 災害対応と社会福祉 7. 応急対応と災害看護 8. 復興対応と生活支援 (4) 災害福祉論・・減災という視点から福祉のあり方を学ぶ 9. 生命と生活を守る福祉 10. 要援護者と災害福祉 11. 生活復興と災害福祉 12. 災害福祉と災害看護 13. 災害福祉と関連法制度 (5) まとめ		
テキスト	なし		
参考文献	メディカ出版「災害の統合と実践③災害看護」		
成績評価	レポートの提出		
履修上の注意・履修要件	災害事例をよく学習しておくこと		
備考	特になし		

Class title	Professional Writing	Section	Required elective
Class code	1114	Year of study	2
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructor	Hyeon Ju Lee	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	Appointments <u>upon request</u>	Contact details	lee_hyeonju@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p>1) Students will learn how to write paragraphs, research papers, and abstracts in English for academic/professional purposes. Students will gain skills to differentiate academic writing from everyday English expressions and put the skills to practice in written communication.</p> <p>2) Students will gain the technical knowledge related to nursing research writing style, and the “Disaster Lexicology” (main technical terms in use in disaster/humanitarian field) and methodology.</p>		
Class description	<p>Writing is an essential element of academia. Particularly for those who are interested in global/international collaboration/career/engagement, it is essential to be well versed in professional/academic English. The demands for English writing has heightened in recent years due to increased use of electronic communication technology and increased necessity to engage internationally in academic activities by publishing and exchanging ideas in writing. Thus it is crucial for graduate/doctoral students to be fluent in academic English expressions to perform excellence in the field of global disaster nursing. This course offers the basic tools for creating well-versed expressions and critical thinking for formulating ideas for writing.</p> <p>The course includes lessons on the following topics:</p> <p>Week 1: Writing process (7 steps to writing)</p> <p>Week 2: Semantics, vocabulary, and phrases in academic English writing</p> <p>Week 3: Effective sentences</p> <p>Week 4: Syntax: Technical tools for writing (1)</p> <p>Week 5: Syntax: Technical tools for writing (2)</p> <p>Week 6: Understanding and writing paragraphs</p> <p>Week 7: Structure of a research paper (1)</p> <p>Week 8: Structure of a research paper (2)</p> <p>Week 9: Transition and connecting expressions</p> <p>Week 10: How to write a research proposal (1)</p> <p>Week 11: How to write a research proposal (2)</p> <p>Week 12: Writing summary</p> <p>Week 13: Writing abstract, part 1</p> <p>Week 14: Writing abstract, part 2</p> <p>Week 15: How to create a curriculum vitae</p>		
Textbooks	1) Swales, J. and C. Feak. 2004. Academic Writing for Graduate Students. Michigan University Press;		

	2) Bailey. S. 2001. Academic Writing: A Handbook for International Students. London and New York: Routledge.
Reference materials	1) Glenn and Grey. 2012. The Hodges Harbrace Handbook. International Edition. Heinle. 2) Roget's 21st Century Thesaurus, 3rd Edition. Princeton Language Institute. 3) Oxford Learner's Dictionary of Academic English.2014. Oxford University Press.
Grading	Assessments criteria: written assignments and in-class performance.
Cautions and prerequisites	Students are required to know how to write sentences in English. Students are expected to know how to type in English in order to participate in-class discussion and complete assignments. All assignments must be submitted by specified deadlines. No late submissions are accepted.
Notes	Course materials and contents are open to changes. The language of instruction for this class is English with some Japanese explanations, when necessary.

授業科目名	Proposal writing (Research proposal writing skill)	必修の区分	選択必修																																
授業コード	1115	開講年次	1-3																																
単位数	1	期別	前期																																
授業種別	演習	授業方法	遠隔授業																																
講師名	近藤 暁子 ¹⁾ Rebecca Carlson ¹⁾ Katharina Ropes ²⁾ Mabel C. Ezeonwu ³⁾ Ann Eckhardt ⁴⁾	所属	1) 東京医科歯科大学 2) 聖路加国際大学 3) University of Washington 4) Illinois Wesleyan University																																
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	akondo.ind@tmd.ac.jp																																
講義目的及び到達目標	主として博士論文の研究計画書を想定し、研究計画書の構成要素、各項目を英文で作成する際の専門用語および writing skill を学ぶ。実際の研究計画書のクリティークと、研究計画書の英作文演習についてプレゼンテーション・ディスカッションを通して内容を深めつつ、実地的な英作文能力の習得をめざす。																																		
講義内容・授業計画	<p>1 地域や海外など、多職種・他国の専門職との国際共同研究を目標とし、専門職・非専門職への研究計画提案の際の留意点、学術専門用語と日常英語の表現の相違などに配慮した簡潔明快な表現方法を理解する。</p> <p>2 米国の看護研究助成のシステム、研究助成申請書（Research Proposal）の審査および採点方法を学ぶ。優れた Proposal および研究成果物の実例を分析し、優れた Research Proposal の特徴について理解を深める。</p> <p>3 Research Proposal の概要・根拠（文献レビューの方法とまとめ方）・倫理的配慮・期待される成果等の構成要素別に実際の作成過程を体験する。フルページの Research Proposal を発表すると同時に、学生相互でクリティークとディスカッションを行い、内容を洗練する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>月日</th><th>内容</th><th>担当者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>4/13(10:30-12:00)</td><td>オリエンテーション、英語プレゼンの行い方</td><td>近藤暁子</td></tr> <tr> <td>2</td><td>4/20(10:30-12:00)</td><td>Proposal の書き方</td><td>近藤暁子</td></tr> <tr> <td>3</td><td>4/27(10:30-12:00)</td><td>Proposalの例、サブストラクション</td><td>近藤暁子</td></tr> <tr> <td>4</td><td>5/14(8:50-10:20)</td><td>質的研究の研究計画</td><td>Rebecca Carlson</td></tr> <tr> <td>5-6</td><td>5/18(8:50-12:00)</td><td>システムティックレビューの方法</td><td>Katharina Ropes</td></tr> <tr> <td>7</td><td>5/25(10:30-12:00)</td><td>英文論文の書き方、投稿時のポイント 投稿した論文の例</td><td>近藤暁子</td></tr> <tr> <td>8</td><td>6/4(8:50-10:20) (仮) 米国 6/3 (16:50-18:20)</td><td>質的研究の例</td><td>Mabel C. Ezeonwu</td></tr> </tbody> </table>				月日	内容	担当者	1	4/13(10:30-12:00)	オリエンテーション、英語プレゼンの行い方	近藤暁子	2	4/20(10:30-12:00)	Proposal の書き方	近藤暁子	3	4/27(10:30-12:00)	Proposalの例、サブストラクション	近藤暁子	4	5/14(8:50-10:20)	質的研究の研究計画	Rebecca Carlson	5-6	5/18(8:50-12:00)	システムティックレビューの方法	Katharina Ropes	7	5/25(10:30-12:00)	英文論文の書き方、投稿時のポイント 投稿した論文の例	近藤暁子	8	6/4(8:50-10:20) (仮) 米国 6/3 (16:50-18:20)	質的研究の例	Mabel C. Ezeonwu
	月日	内容	担当者																																
1	4/13(10:30-12:00)	オリエンテーション、英語プレゼンの行い方	近藤暁子																																
2	4/20(10:30-12:00)	Proposal の書き方	近藤暁子																																
3	4/27(10:30-12:00)	Proposalの例、サブストラクション	近藤暁子																																
4	5/14(8:50-10:20)	質的研究の研究計画	Rebecca Carlson																																
5-6	5/18(8:50-12:00)	システムティックレビューの方法	Katharina Ropes																																
7	5/25(10:30-12:00)	英文論文の書き方、投稿時のポイント 投稿した論文の例	近藤暁子																																
8	6/4(8:50-10:20) (仮) 米国 6/3 (16:50-18:20)	質的研究の例	Mabel C. Ezeonwu																																

	9	6/8 (10:30-12:00)	論文のクリティーク	近藤暁子
	10	6/15(10:30-12:00)	論文のクリティーク	近藤暁子
	11	6/22(10:30-12:00)	研究テーマの選定、背景、目的と意義	近藤暁子
	12	6/29(10:30-12:00)	理論的枠組み、用語の定義、デザイン、対象、データ収集方法	近藤暁子
	13	7/6(10:30-12:00)	分析方法、期待する成果、研究の限界、倫理的配慮	近藤暁子
	14	7/13(10:30-12:00) 12th(20:30-22:00)	The system of US nursing research grants and the evaluation and grading method for research proposals	Ann Eckhardt 近藤暁子
	15	7/20(10:30-12:00) 19th(20:30-22:00)	Proposal プレゼンテーションとディスカッション	近藤暁子 Ann Eckhardt
テキスト	使用しない			
参考文献	エリザベス・M.トーンキスト（著），園城寺康子他（訳） 看護論文を英語で書く，医学書院，2007.			
成績評価	ディスカッションへの参加 30% 資料作成・プレゼンテーション 30% 作成した最終 Proposal 40%			
履修上の注意・履修要件	講義、ディスカッション、プレゼンテーション、Proposal の作成等、原則としてすべて英語で実施する。ディスカッションに必要な英会話、および英文作成能力があることが必要である。受講希望者は受講動機をA4で1枚程度事前に英語で書いて提出すること。 また、Proposal を作成するためには、ある程度研究テーマが明確になっていることが望ましいが、仮想的に研究テーマを作成してもよい。			
備考	授業の順番、内容は変更になることがある。			

授業科目名	Program Writing (Program proposal writing skill)	必修の区分	選択
授業コード	1116	開講年次	1・2・3
単位数	1	期別	後期
授業種別	演習	授業方法	遠隔授業
講師名	茅野 龍馬 ¹⁾ 増野 園恵 ²⁾	所属	1) 世界保健機関 健康開発総合研究センター 2) 兵庫県立大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p><u>講義目的</u> 多くの組織で、新しく革新的なプログラムは、十分に練られた提案書を必要とする正式なプロセスを経て開発されていきます。医療専門職は、実践の改善や発展に向けて、プログラムを開発し、提案書を作成するための知識とスキルを持っている必要があります。 このコースでは、提案の書き方だけでなく、WHOの災害健康危機管理枠組や健康危機管理分野の研究推進の取り組み等を実際例にしながら、プログラム開発の理解にも焦点を当てます。</p> <p><u>到達目標</u> 1. プログラム開発とプロポーザル作成について理解できる 2. 特定に課題についてのプロポーザル（案）を作成できる</p>		
講義内容・授業計画	<p>本科目は、講義（グループ討議を含む）と課題学習および学生によるプレゼンテーションと討議によって進める。</p> <p><講義> 1. 国際的な健康危機管理の枠組みとプログラム開発 2. 災害フェーズの違いによるプログラム開発ニーズの違い 3. プログラム開発とプロポーザル作成に関する概念 4. プロポーザル作成：基本ステップ 5. プロポーザル作成：成功の秘訣</p> <p><課題学習> プロポーザル案の作成</p> <p><プレゼンテーションとフィードバック> 各自の作成したプロポーザル案の共有と精錬に向けたフィードバック</p>		
テキスト	指定なし		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> WHO. International Health Regulation, 2005 https://apps.who.int/iris/rest/bitstreams/1031116/retrieve WHO/WPRO. Asia Pacific strategy for emerging diseases and public health emergencies (APSED III), 2017 http://iris.wpro.who.int/handle/10665.1/13654 WHO. Health Emergency and Disaster Risk Management Framework, 2019. 		

	https://www.who.int/hac/techguidance/preparedness/health-emergency-and-disaster-risk-management-framework-eng.pdf?ua=1
成績評価	グループ討議への参加・発言、課題学習の成果とプレゼンテーションにより総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	特記事項なし
備考	

授業科目名	災害看護学総論 Introduction to Disaster Nursing	必修の区分	選択
授業コード	1201	開講年次	1
単位数	2	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	増野園恵	所属	兵庫県立大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p><u>講義目的</u> 本科目は、災害看護学の全体像を俯瞰するために、災害看護の実践、研究に関連する主要な概念、考え方を概観する。災害看護および災害リスク管理にかかる歴史的な背景を踏まえつつ、関連分野を含む広範な概念、考え方をカバーし、学生が自らの関心を広げ理解を深化できるようになる基礎の涵養を目指す。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護に関連する主要概念を説明できる 2. 災害リスク管理に関わる主要な体制、機関、世界的動向について説明できる。 3. 国内の災害対応の仕組み、保健医療分野における対応の枠組み、災害看護の動向を説明できる。 4. 災害看護を探究していく上での現時点での自己のコンピテンシー、リーダーシップの状況を把握し、課題を明確にできる。 		
講義内容・授業計画	<p><u>授業の進め方</u> 学生の事前学習内容のプレゼンテーションを元に、クラスでの討議を通して理解を深める。</p> <p><u>授業計画</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと導入、災害看護の発展の歴史／背景 2. 災害と人道問題（１）：災害の定義・分類 3. 災害と人道問題（２）：災害により発生する問題 4. 人間の安全保障 5. 災害リスク管理（１）：主要概念（リスク、曝露、脆弱性、他） 6. 災害リスク管理（２）：Incident Command System 他 7. 災害リスク管理（３）：仙台防災枠組み、SDGs、UHC 8. 災害リスク管理（４）：国際的対応の仕組み、関連機関 9. 国内における災害対応（１）：全体構造、体制 10. 国内における災害対応（２）：保健医療分野 11. 国内における災害対応（３）：災害看護 12. 災害看護のコア・コンピテンシー 13. 災害とリーダーシップ（１） 14. 災害とリーダーシップ（２） 15. まとめ 		
テキスト	なし		
参考文献	随時提示		

成績評価	授業への参加姿勢（ディスカッション等での発言など） 30%、プレゼンテーション 40%、レポート30%で総合的に評価する
履修上の注意・履修要件	特になし
備考	授業スケジュールは変更になることがあります。

授業科目名	災害看護活動論Ⅰ（急性期） Disaster Nursing Activity I	必修の区分	選択
授業コード	1202	開講年次	1
単位数	2	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	佐々木吉子 ¹⁾ 、大友康裕 ¹⁾ 、 高村ゆ希 ²⁾ 、福島芳子 ³⁾	所属	1) 東京医科歯科大学 2) 東京医科歯科大学医学部附属 病院 3) 東京医療保健大学東が丘・ 立川看護学部
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	y-sasaki.dn@tmd.c.jp
講義目的及び到達目標	<u>授業目的</u> 主要な災害の災害準備期における減災・防災対策、災害急性期～亜急性期に至るまでの時期における医療・看護・保健活動等の原則と活動の実際について学ぶ。特に、災害医療における看護の役割、家族や遺族へのケア、避難者や帰宅困難者への対応、被災医療機関や災害支援者等への支援について深く理解する。さらに、想定される大規模災害の減災・防災に向けた、産官学が連携する活動、連携のための看護の役割について学ぶ。 <u>到達目標</u> 1. 主要な自然災害、特殊災害の災害準備期～亜急性期に至るまでの時期における災害の特徴（種類別傷病者の疾病構造を含む）と対応の原則がわかる。 2. 災害発生に固有な危機的疾患に対する救命救急活動の概要と看護の役割がわかる。 3. 被災しつつ、負傷者の受け入れや避難先として求められる医療施設の役割がわかる。 4. 災害現場、避難所における人々の健康問題と生活支援、地域医療との連携システムがわかる。		
講義内容・授業計画	<u>授業内容</u> 【第1回】（佐々木） ・オリエンテーション ・災害の定義、主要な自然災害、特殊災害の分類と国内外での発生状況 ・災害急性期～亜急性期に至るまでの時期における災害種類別傷病者の疾病構造の特徴、被災者・支援者にもたらされる健康問題と生活への影響 【第2回】（佐々木） ・災害看護の定義、災害と災害看護に関する歴史と国の政策変遷 ・災害サイクルに伴う看護師の役割と、看護活動に必要な能力 【第3回】（佐々木） ・災害急性期～亜急性期に至るまでの時期における、災害対応（減災・防災、急性期医療・看護、遺族対応）の原則 ・災害準備期における大都市の大規模災害への減災・防災対策の基本的な考え方、産官学の取り組み、連携において看護に期待される役割		

講義内容・授業計画	<p>【第 4-5 回】（調整中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内災害における急性期の看護活動 <p>【第 6 回】（調整中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害急性期～亜急性期における感染症と対策 <p>【第 7-8 回】（大友）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大規模災害発生時の医療対応の構造と機能 （国際緊急援助隊医療チーム（JDR）、災害派遣医療チーム（DMAT）の活動の原則ほか） <p>【第 9-10 回】（大友）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な NBC 災害の概要と病院における医療活動（化学災害を中心に） <p>【第 11-12 回】（高村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外における医療救援チームの活動と看護の役割（DMAT、JDR 等における看護活動） <p>【第 13-14 回】（福島）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線災害における急性期の医療・看護活動の原則と実際 <p>【第 15 回】（佐々木）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が要援護者にもたらす健康問題と急性期から亜急性期における支援
テキスト	指定しない
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・小井土雄一，石井美恵子（2017）．多職種連携で支える災害医療：身につけるべき知識・スキル・対応力．医学書院． ・國井修（2012）．国家救援医 私は破綻国家の医師になった．角川書店． ・國井修編集（2012）．災害時の公衆衛生—私たちにできること．南山堂． ・日本集団災害医学会編修（2015）．DMAT 標準テキスト改訂第 2 版．へるす出版． ・山本保博，鵜飼卓，杉本勝彦監修（2002）．災害医学．南山堂． ・International Disaster Nursing / edited by Robert Powers and Elaine Daily; Cambridge University Press, 2010.
成績評価	授業への参加姿勢 30%、課題レポート 70%
履修上の注意・履修要件	事前課題がある場合、指定された期限までに LMS に提出する。
備考	授業の内容・スケジュールは変更になることがある。

授業科目名	災害看護活動論Ⅱ（亜急性期） Disaster Nursing Activity II (Subacute phase)	必修の区分	選択
授業コード	1203	開講年次	1
単位数	2（15回）	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	池田稔子 田村由美 安井清孝 他	所属	日本赤十字看護大学看護学研究科
オフィスアワー・場所	右記メールアドレスに連絡	連絡先	池田稔子 t-ikeda@redcross.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】</p> <p>災害サイクルにおける亜急性期の看護活動、特に避難所で避難生活をする人々の健康と暮らしに焦点を当てて、パブリック・ヘルス（Public Health）や災害時の看護マネジメントの理論的知識と実践を学ぶ。また、復旧復興期にむけての病院防災、地域防災についての理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時のパブリック・ヘルスに関する知識を修得し、災害看護マネジメントにおける重要な視点として理解できる ・看護のマネジメント論、リーダーシップ論、組織論、人的資源活用論などの看護管理論の基盤知識を災害マネジメントの視点で深めることができる ・災害への備え、災害時の対応と情報管理、災害時要配慮者の支援活動と関連する法制度、避難所設営と運営等、実践的な知識を修得することができる 		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】</p> <p>パブリック・ヘルスの視点が災害看護活動において重要な視点であることを認識し活動ができるようになる。そのために必要な知識を修得する。</p> <p>【講義内容】オムニバス方式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業オリエンテーション、災害亜急性期の看護活動概説 2)3) 災害対応におけるパブリック・ヘルス 4) 避難所とは、避難所の設営とマネジメント（法制度を含む） 5) 避難所で生活する人々の健康アセスメント 6) 避難所で生活する人々への支援：災害時要配慮者の特性とケア 7)8) 災害支援活動をする看護職の備えと実践活動技法（机上演習） 9)10) 避難所から様々な居住先への移動時期を見据えた支援（避難者への健康相談のロールプレイ） 11)12) 被災病院におけるリーダー看護職の初期対応＊ 13)14) 地域防災上の他部署・他施設・他機関との連携と協働（地域における看護マネジメント＊ 15) まとめ 		
テキスト	特に指定しない。事前に授業関連の資料を配布する予定。		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO：「Framework for Action on Inter Professional Education & Collaborative Practice」2010 ・Tener Goodwin Veenema Editor: Disaster Nursing and Emergency 		

	<p>Preparedness 3rd Edition, Springer Publishing Company, 2013.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Linda Young Landesmann :Public Health Managements of Disasters 3rd Edition: American Public Health Association, 2011. ・ IFRC: The John Hopkins and Red Cross Red Crecent Public health guide in Emergencies, 2nd.edi, 2008 ・ 小原真理子・(監修), 齋藤正子 (編集), 板垣知佳子 (編集): 災害看護: 心得ておきたい基本的な知識, 南山堂, 2019.
成績評価	クラス参加度(10%)、プレゼンテーション(20%)、レポート(70%)
履修上の注意・履修要件	看護管理の基礎知識が必要です。事前課題への学習が重要です。オリエンテーション時に事前学習課題を提示します。積極的な自己学習を求めます。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃から、災害について新聞やホームページ、T V等を通して、被害の大きさ、被災者、救護活動の実際について、情報収集を心がける。 ・ 災害現場における看護実践上の現状・課題の最新情報を特別講義（*）により提供する。

授業科目名	災害看護活動論Ⅲ（復旧・復興） Disaster Nursing Activity III (Recovery and Reconstruction Phase)	必修の区分	選択
授業コード	1204	開講年次	1
単位数	2	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	宮崎 美砂子 佐藤 奈保	所属	千葉大学大学院看護学研究科
オフィスアワー・場所	事前アポイントメント	連絡先	miyamisa@faculty.chiba-u.jp naho.sato@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【目的】災害時に中長期的な視野で対応が必要な復旧・復興期の健康課題を明らかにし、活動を構築していく方法を学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①コミュニティを単位に、復旧・復興期の健康課題を持続的にアセスメントし、分析する方法を理解する。</p> <p>②必要とされる活動を、被災地の地域住民及び関係者と共に計画・実施・評価し、地域の支援システム、地域文化の創成、まちづくり、につなげていく方法を理解する。</p> <p>③災害時の健康課題に中長期に対応するために必要なリーダーとしての役割について理解する。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【ねらい】</p> <p>復旧・復興期における災害時の健康課題を、コミュニティを単位に持続的にアセスメント・分析し、組織的に体制づくりの点から活動を計画し、実施・評価していく視点を養う。授業は单元ごとに、講義と演習（ワーク）を組み合わせで行う。</p> <p>【学習内容】（全 15 回）</p> <p>（1 回・2 回）コミュニティを単位とした看護活動の基本的な考え方及び方法（宮崎）</p> <p>（3 回・4 回）災害時におけるコミュニティを単位とした活動方法（地域アセスメントと計画立案）（宮崎）</p> <p>（5 回・6 回）災害時におけるコミュニティを単位とした活動の体制づくりとマネジメント（宮崎）</p> <p>（7・8 回）災害時に疾病・障害をもつ人々が抱える問題と支援（佐藤）</p> <p>（9 回・10 回）復旧・復興期における外部支援の機能・役割と支援の受け入れ（佐藤）</p> <p>（11 回・12 回）災害エスノグラフィーから学ぶ（佐藤）</p> <p>（13 回・14 回）災害経験の意味づけ・伝承（宮崎）</p> <p>（第 15 回）全体総括（宮崎・佐藤）</p>		
テキスト	特に指定しない		
参考文献	<p>必読文献は随時紹介する。</p> <p>國井修：災害時の公衆衛生 私たちにできること、南山堂、2012</p>		

成績評価	授業回毎のレスポンスペーパー内容（20%）、演習（ワーク）時の発表・討議内容（20%）、最終レポート（60%）
履修上の注意・履修要件	授業の单元ごとに、事前学習課題及び文献を提示するので、予習をして臨むこと
備考	

授業科目名	災害看護活動論Ⅳ（備え） Disaster Nursing Activity Ⅳ (Disaster Preparedness)	必修の区分	選択
授業コード	2105	開講年次	1
単位数	2	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	山田 覚 神原 咲子 木下 真里	所属	高知県立大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	yamada@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 災害サイクルの静穏期における備えに関し、地域の災害対策システム、および地域、各種施設、行政等との連携も踏まえながら、発災を想定した事前の準備活動を整理し、平時から災害看護活動体制を構築していく方法を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 災害対策システムを理解するとともに、静穏期の準備活動を整理することができる。地域、各種施設、行政との連携体制を整理し、理解することができる。発災を想定し、どのような準備活動をすべきか、災害看護活動体制の構築を検討できる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【第1回】山田 覚・神原 咲子・木下 真里 オリエンテーション、災害サイクルの静穏期における備え</p> <p>【第2、3、4回】山田 覚 災害対策システムおよび地域、各種施設、行政等との連携の現状と課題</p> <p>【第5、6回】神原 咲子 災害時の個人、家族を守る備えとしての基礎的な看護活動</p> <p>【第7、8回】木下 真里 復興期を見据えた個人、家族を守る備えとしての看護活動</p> <p>【第9、10回】神原 咲子 地域防災力としての災害看護活動</p> <p>【第11、12回】神原 咲子 コミュニティ再建を見据えた地域の備えとしての看護活動</p> <p>【第13、14回】山田 覚 災害看護活動支援としての備え</p> <p>【第15回】山田 覚・神原 咲子・木下 真里 課題に関するプレゼンと議論</p>		
テキスト	特になし		
参考文献			
成績評価	クラスの参加度、プレゼンテーション、レポートを総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	なし		
備考	なし		

授業科目名	災害看護グローバルコーディネーション論 Theory in Disaster Nursing Global Coordination	必修の区分	選択
授業コード	2206	開講年次	2
単位数	2 (15回)	期別	通年
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	池田稔子 野口眞貴子 田村由美 他	所属	日本赤十字看護大学看護学研究科
オフィスアワー・場所	右記メールアドレスに連絡	連絡先	池田稔子 t-ikeda@redcross.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 複合災害時を含む国際救援活動を展開する際に不可欠となる諸条約（国際人道法、難民条約、国際災害対応法など）、赤十字・国際 NGO の行動規範、スフィア・プロジェクトなど必要な知識・技術を学ぶ。また、災害時に活躍する国連機関、国際赤十字、国際 NGO など国際諸機関のポリシー・システム、ツールについて掌握し、被災状況の査定、並びに他チーム・被災地の行政や住民代表等とのコーディネーションについて学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害救援に関わる国際機関のシステムについて知る ・危機管理について理解する ・国際救援活動の基盤となっている枠組み（諸条約、行動規範、救援の最低基準など）について理解する ・国際救援活動の主要なアクターの活動内容・特色などを検討し、救援に際し、各機関・組織との連携・協働について考えることができる。 ・他チーム・被災の行政や住民代表との調整・交渉に必要なスキルについて検討できる 		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 国際救援活動の主要なアクターである国連機関、国際赤十字運動、国際 NGOs の概要について学ぶ。被災者や難民に関する諸条約、救援者に関する行動規範や救援活動の原則、救護と開発の Continuum について考える。</p> <p>また、活動に必要な法規、規範を実際の活動の中で、どのように活用するのかについて学びを深める。国際救援において活動するシステム、情報収集・分析などのツールなどについて検討し、実体験に基づく話により、それら知識の定着を図る。また、ストレス下における交渉の手法、危機管理上考えておくべき事項について考え、災害救援におけるグローバルコーディネーターの役割について学ぶ。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) オリエンテーション、災害看護とグローバルコーディネーション概説 大規模災害対応における Inter-agency Perspectives*（田村） 2) 国連機関と災害(OCHA, UNICEF, UNHCR, WFP, UNISDR ほか)*（田村） 3) 国際赤十字運動(ICRC, NSs, IFRC)及び国際 NGOs (MSF, CARE, World Vision, Save the Children ほか)と災害*（田村） 4) 国際人道法・人権法* 5) 国際赤十字の行動規範・クラスターアプローチ* 		

	6) 赤十字の緊急救援 * 7) 赤十字の健康問題に対する取り組み（歴史的変遷：アルマアタ宣言～SDG's）*（田村） 8) 振り返り、ディスカッション *（田村） 9) 赤十字の開発協力 * 10) 国際要員に求められるコンピテンシーと安全管理 * 11) JICA プロジェクトにおけるリーダーとは（野口） 12) 13) UN/赤十字/国際 NGO'sでの活動の実際から学ぶ（災害救援のリーダーとは）* 14) 振り返り、ディスカッション *（田村） 15) まとめ *（田村）
テキスト	特に指定しない
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> • Effective Negotiation and Influencing, Persuasive Negotiation, 危機管理等の各種文献 • 赤十字国際機関（ICRC/IFRC/日本赤十字社）、国連機関（UNHCR, UNICEF, WHO, OCHA）等、国際 NGO（OXFAM, Save the Children, MSF 等）関連 Web サイト • 人道憲章、国際人道法、世界人権宣言、難民条約等、関連 Web サイト • Alma Baccino- Astrada: Manual on the Rights and Duties of Medical Personnel in Armed Conflicts, 1982 • Sphere Project, 2018 • The Journal of Humanitarian Studies, Vol.1—IV, 2011-2015
成績評価	プレゼンテーション(20%)、特別講義振り返りレポート(60%)、最終レポート(20%)
履修上の注意・履修要件	各担当カ所についてのプレゼンテーションを行い、教員が補足し、さらに討議を行うので、事前学習を前提とする。トピックにより特別講師による講義（*）あり。各特別講義後は振り返りレポートを課す。
備考	各自の担当カ所については、事前に割り当てを行うこととする。講義の順序は、特別講師（*）の都合により変更することがある。

授業科目名	災害看護リーダーシップ・ 管理論 Disaster Nursing Management	必修の区分	選択
授業コード	2207	開講年次	2
単位数	2	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	山田覚、神原咲子、木下真里	所属	高知県立大学
オフィスアワー・場所	右記メールアドレスに連絡	連絡先	yamada@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【目的】災害看護グローバルリーダーとしての視点から、災害対応システムを理解し、多職種連携や被災直後の被災者の健康と生活の確保、および復旧・復興に向け、管理・指揮のあり方について学ぶ。</p> <p>【目標】被災者の健康と生活の確保、発災前から復旧・復興までの災害対応システムの検討ができ、保健医療における業務継続計画などの提案ができる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>災害看護グローバルリーダーとしての視点から、IPW（多職種の連携・協同）の重要性や、災害対応システムを理解し、被災直後の被災者の健康と生活の確保、および復旧・復興に向け、ヒト、モノ、カネ、情報等のマネジメント資源を如何に活用して行くか、管理・指揮のあり方について学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式/全 15 回)</p> <p>(山田覚/6 回)</p> <p>災害看護リーダーシップ・管理論概論、災害看護グローバルリーダー、IPW とチームビルディング、マネジメント論</p> <p>(神原咲子/4 回)</p> <p>論理的ヘルスリスクコミュニケーションの基礎と災害時実践への応用、ソーシャルキャピタルの醸成とリーダーの役割</p> <p>(木下真里/3 回)</p> <p>災害看護リーダーシップで考慮すべきコマンド・アンド・コントロール、および対応策としてのコーチング手法を学ぶ。</p> <p>(山田覚、神原咲子、木下真里/2 回)(共同)</p> <p>実際の国内外の事例を用いて、災害時の課題を分析した後、管理・指揮のあり方について検討し、アクションプランを作成する。</p>		
テキスト	必要な資料は、講義時に配付する		
参考文献	<p>・林春男、危機対応標準化研究会、世界に通じる危機対応—ISO22320:2011(JIS Q22320:2013)社会セキュリティ- 緊急事態管理 - 危機対応に関する要求事項解説、日本規格協会</p> <p>・林春男、田村圭子、井ノ口宗成、牧紀男、組織の危機管理入門—リスクにどう立ち向えばいいのか、丸善</p>		
成績評価	クラス参加度、レポート等を総合的に評価する		
履修上の注意・履修要件	講義ばかりではなく、討議も重視する。		
備考	特になし		

授業科目名	災害看護倫理 Ethics in Disaster Nursing	必修の区分	選択
授業コード	2208	開講年次	2
単位数	1	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	増野園恵	所属	兵庫県立大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 災害に関連して生ずる倫理的課題について現状を理解し、状況から生ずる人々の体験を理解する。人の安全保障の理念に基づき、看護がどう対応すべきかを思索する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害に関連してどのような倫理的課題が生じるか、またその課題の議論すべき点を説明できる。 2. 災害時に遭遇する人々の置かれている状況で、人の安全保障に基づき看護者としてどのように行動すべきかについて自らの意見を述べることができる。 		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】この授業においては、看護者として、看護研究者として災害に遭遇した人々の体験やその事態を理解する倫理的感受性を刺激し、倫理的に思考し、実践することを支援することを狙っている。そのため、授業展開は、討議セミナーの形式をとり、それぞれの事前学習を基盤としてクラスで討議を進める形式とする。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション ：看護倫理についての基本原則のレビューと要点の整理 2. 非日常時の倫理や法律 3. 支援する際の文化と倫理観 4. 災害に関連した倫理的課題(1) 5. 災害に関連した倫理的課題(2) 6. 災害看護に関連し倫理的課題と感じている事象 7. 各自の焦点領域における倫理的現象(1) 8. 各自の焦点領域における倫理的現象(2) 		
テキスト	<p>Fry, TS and Johnstone, M-J. International Council of Nurses Ethics in Nursing Practice 3rd ed.(Chapter 10.)Blackwell, 2008. (サラ T. フライ他／片田範子・山本あい子訳. 看護実践の倫理 第3版, 日本看護協会出版会, 2010)</p> <p>WHO. Ethics in epidemics, emergencies and disasters: research, surveillance and patient care, Training manual, WHO, 2015.</p>		
参考文献	<p>Davis AJ. Ethics needed for disasters: before, during, and after, HEDN, 1, 11-18, 2014.</p> <p>Veenema, TG, Disaster Nursing and Emergency Preparedness for Chemical, Biological, and radiological Terrorism and Other Hazards, Forth Edition, Springer Publication, 2018.</p>		

成績評価	授業中のプレゼンテーション、レポートによる総合評価
履修上の注意・履修要件	特になし
備考	特になし

授業科目名	災害看護理論構築 Building Disaster Nursing Theory	必修の区分	選択
授業コード	3209	開講年次	3
単位数	2	期別	後期
授業種別	講義(クラス討議含む)	授業方法	遠隔授業
講師名	増野 園恵	所属	兵庫県立大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 災害看護に必要な理論は何かについて探求し、自ら気になる現象を理論化する方法を思索することを目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害に関連して人々の体験や環境で生じている現象について、語ることができる。 2. 理論分析する方法を学び、その構造をクリティカルに分析できる。 3. 現象描写や研究過程で用いる概念の明確さを確保するための概念分析ができる。 		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 事前学習内容をクラスで他の学生に説明し、討議しながら学びを深める方法をとる。理論とは何か、自分の言葉で語ることができるようになることを目指し、自分が関心のある現象を解釈しうる概念や理論の構築を行う。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと導入 ：授業展開について2コマ続けるところを含め進行の確認を行う ：理論分析の方法について、これまで理解していることについて再確認する 2-3. 災害について明らかにすべき現象について討議する 4-7. 理論構築の方法についてテキストを用いて理解する 8-15. 概念選択と分析、理論構築の実際 ：各学生が自分の気になる概念を選択し、分析する 		
テキスト	Meleis, AI (2017). Theoretical Nursing: Development and Progress Sixth Edition, Wolters Kluwer, ISBN/ISSN 9780060000424		
参考文献	適宜提示		
成績評価	事前準備内容、プレゼンテーション、授業内討議、		
履修上の注意・履修要件	看護理論ⅠとⅡの履修		
備考	特になし		

授業科目名	インターンシップ I Internship I	必修の区分	選択
授業コード	1210	開講年次	1・2・3・4・5
単位数	各大学 1 単位（全 5 単位）	期別	通年
授業種別	講義	授業方法	実習
講師名	山田 覚・神原 咲子・木下 真里 増野 園恵・梅田 麻希・佐々木 美絵 佐々木 吉子・駒形 朋子 宮崎 美砂子・佐藤 奈保 野口 真貴子・池田 稔子	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	上記教員のメールアドレス
講義目的及び到達目標	<p>【目的】 身近な災害に関連する実践現場に身を置き、災害看護の視点から具体的実践スキルとともに研究的な視点を養う</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人・家族・地域社会における災害看護の役割が理解できる。 ・災害看護の立場から、現場にある課題に関して議論することができる ・現場の中にある災害看護について自分の考えをもつことができる ・現場の中にある看護課題を選び、分析・評価ができる。 ・取り組んだ課題に対して、具体的な解決案として現場のステイクホルダーに説明することができる 		
講義内容・授業計画	<p>【履修時の進め方】 避難所、病院の備え、行政や医療機関、住民組織など、「個人・家族・地域社会の健康」に焦点を当て活動できる場を選択する。</p> <p>（履修の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生は、取り組みたい課題について、アドバイザー教員と相談し、その課題達成に適するインターンシップ実施機関および指導教員（原則、本籍大学の専任教員）を決める。 ・インターンシップ計画書（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について指導教員および本籍大学以外の教員、受け入れ先の担当者から助言・指導を受ける。 ・インターンシップ実施中には、受け入れ先の担当者および指導教員から指導を受け、5 大学共同の活動報告・発表会で本籍大学以外の教員からの指導・助言を受ける。 ・インターンシップ終了後速やかに、報告書を作成し、担当教員、受け入れ先が確認したものを教育課程運営委員会に提出する。 		
テキスト	特に用いない		
参考文献	適宜紹介する		
成績評価	活動記録と最終レポート、活動報告・発表会		
履修上の注意・履修要件	受け入れ先によっては、調整に時間を要することがあるので、早めに内容を検討し、選定すること。各大学の指定する安全管理に努めること。		

備考	<p>インターンシップ計画書を作成し、指導教員の確認・了解を得た後、教育課程運営委員会に提出してください。</p> <p>本科目履修中には、インターンシップ活動報告・発表会で活動を報告・発表してください。</p>
----	--

授業科目名	インターンシップⅡ InternshipⅡ	必修の区分	選択
授業コード	1211	開講年次	1・2・3・4・5
単位数	各大学 1 単位（全 5 単位）	期別	通年
授業種別	講義	授業方法	実習
講師名	山田 覚・神原 咲子・木下 真里 増野 園恵・梅田 麻希・佐々木 美絵 佐々木 吉子・駒形 朋子 宮崎 美砂子・佐藤 奈保 野口 真貴子・池田 稔子	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	上記教員のメールアドレス
講義目的及び到達目標	<p>【目的】 これまでの学びを活用し、知識、技術、態度の統合、グローバルリーダーの視点から具体的実践スキルとともに研究的な視点を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会における災害看護の役割が理解できる ・看護の立場から減災のための課題解決に向けた議論をすることができる ・グローバルリーダーの必要性と役割について、自分の考えを持てる ・実践におけるグローバルな課題の分析・検討ができる ・取り組んだ課題に対する具体的な解決案・施策を説明できる 		
講義内容・授業計画	<p>【履修時の進め方】 災害看護に関連する国際的かつ学際的な活動を行う組織、機関を選定し、文化や規範を尊重しつつ、現場のリーダーのもとでその実際を学び、スーパーバイションを受けながら主体的に実習を行う。</p> <p>（履修の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生は、取り組みたい課題について、アドバイザー教員と相談し、その課題達成に適するインターンシップⅡ実施機関および指導教員（原則、本籍大学の専任教員）を決める。 ・インターンシップⅡ実施機関と連絡・交渉を行い、受け入れ可能性と必要な手続きを確認する。 ・インターンシップⅡ計画書（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について指導教員および本籍大学以外の教員、受け入れ先の担当者から助言・指導を受ける。 ・インターンシップⅡ実施中には、受け入れ先の担当者および指導教員から指導を受ける。 ・5 大学共同活動報告・発表会において本籍大学以外の教員からの指導・助言を受ける。 		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	適宜紹介する		
成績評価	・最終レポート：インターンシップⅡ開始までのプロセス・計画書・活動		

	<p>記録及び学習成果をまとめた活動記録</p> <p>・5 大学合同で開催する活動報告・発表会</p>
履修上の注意・履修要件	<p>受け入れ先によっては、調整に時間を要することがあるので、早めに内容を検討し、選定すること。</p>
備考	<p>・インターンシップⅡ計画書を作成し、指導教員の確認・了解を得た後、5 大学共同教育課程運営委員会に提出する。</p> <p>・インターンシップⅡ終了後は、速やかに報告書を作成し、担当教員、受け入れ先が確認したものを教育課程運営委員会に提出する。</p>

授業科目名	災害看護ゼミナール A Disaster Nursing Seminar A	必修の区分	選択
授業コード	3101	開講年次	1
単位数	2	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	山田 覚 神原 咲子 木下 真里	所属	高知県立大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	yamada@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】</p> <p>学生が、自らの関心を持つ災害看護現象について、文献検討、フィールドワーク等の方法を用いて情報収集し、それらを分析することにより、災害看護学の理解を深めるとともに、課題を抽出し整理する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>関心を持つ災害看護現象について種々の情報を収集することができる。それらを分析することにより、災害看護学の理解を深め、課題を抽出・整理することができる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【第1回】</p> <p>オリエンテーション、関心を持つ災害看護現象についてブレインストーミング</p> <p>【第2、3、4、5回】</p> <p>文献検討、フィールドワーク等による情報収集</p> <p>【第6、7、8、9回】</p> <p>文献検討、フィールドワーク等により得た情報の分析</p> <p>【第10、11、12、13回】</p> <p>災害看護における課題の整理と対策の検討</p> <p>【第14、15回】</p> <p>課題に関するプレゼンと議論</p>		
テキスト	特になし		
参考文献	適宜紹介する		
成績評価	クラスの参加度、プレゼンテーション、レポートを総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	なし		
備考	特に地域防災力、看護システム、グローバルな課題の視点から検討する。		

授業科目名	災害看護ゼミナール B Disaster Nursing Seminar B	必修の区分	選択
授業コード	1302	開講年次	1・2・3
単位数	2	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	増野園恵・梅田麻希	所属	兵庫県立大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp maki_umeda@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p><u>講義目的</u> 本科目は、エビデンスに基づく災害・健康危機管理および災害看護実践を推進する能力の修得を目指し、研究レビューの基本的アプローチを学習し、災害・健康危機管理および災害看護実践の向上に必要な喫緊の研究課題について議論する。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的なレビュー手法について、それぞれの特徴、レビューの進め方、適用を説明できる 2. 災害・健康危機管理および災害看護分野における喫緊の研究課題について自らの考えを論理的に述べることができる 3. 災害看護分野の研究・実践上の重要課題に関するレビューのための適切な疑問を設定し、検索のストラテジーを説明できる。 		
講義内容・授業計画	<p><u>授業の進め方</u> 事前課題に基づくディスカッションを基本に授業を進める。</p> <p><u>授業計画</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと導入 エビデンスをまとめる：さまざまなレビュー手法 2. 疑問を研究の問いにする：レビューキーワードの明確化 3. 代表的なレビュー手法(1)：Systematic Review 4. Systematic Review の要点 5. Systematic Review の実際 (1) 6. Systematic Review の実際 (2) 7. 代表的なレビュー手法(2)：Meta-syntheses 8. Meta-syntheses の実際 9. 代表的なレビュー手法(3)：Scoping Review/Mapping Review 他 10. Scoping Review 等の実際 11. レビュー文献をクリティークする (1) 12. レビュー文献をクリティークする (2) 13. 災害・健康危機管理における研究のトレンド 14. 災害看護分野における研究のトレンド 15. まとめ：事後課題 (レビュー) に向けて 		
テキスト	指定なし		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> Grant MJ, Booth A. A typology of reviews: an analysis of 14 review types and associated methodologies. Health Information and 		

	<p>Libraries Journal. 2009; 26(2):91-108.</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦ Aromataris E, Munn Z (Editors). Joanna Briggs Institute Reviewer's Manual. The Joanna Briggs Institute, 2017. Available from https://reviewersmanual.joannabriggs.org/ ♦ Holly, C., Salmond, S., Saimbert, M. Comprehensive Systematic Review for Advance Practice Nursing 2nd Ed., Springer. 2017.
成績評価	事前課題への取り組み、クラスでの発言、事後課題によって総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	
備考	<p>参考 Web サイト</p> <p>① Temple University Libraries https://guides.temple.edu/systematicreviews/systematicreviewservice</p> <p>② utmb Health, Moody Medical Library: Systematic Review: Overview https://guides.utmb.edu/sr</p> <p>③ Cochrane Training https://training.cochrane.org/</p>

授業科目名	災害看護ゼミナール C Disaster Nursing Seminar C	必修の区分	選択
授業コード	1303	開講年次	1～3
単位数	2	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業および対面授業
講師名	佐々木 吉子 ¹⁾ 、今津陽子 ¹⁾ 藤原武夫 ¹⁾ 、中久木康一 ¹⁾ 、 河嶌 譲 ²⁾ 、 福島 芳子 ³⁾ 、尾立 篤子 ⁴⁾	所属	1) 東京医科歯科大学 2) 災害医療センター 3) 東京医療保健大学 4) 国際医療福祉大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
講義目的及び 到達目標	<p>【授業目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な災害について、原因・要因と発生機序、過去事例における医療・看護活動の実績と課題、救済制度と根拠法、あらたな発災に向けた備えの現状について理解する。 2. それぞれの災害における看護の役割の拡大・向上を目指し、国内外で過去に発生した大規模災害事例について分析し、支援活動の概要、経験からの教訓を明らかにするとともに、今後の看護活動の展望について考察する。 3. 大地震や特殊災害等の発生を想定した仮想事例についてシミュレーションやワークショップを行い、看護アセスメント、被災地における医療救護、被災者・支援者への心身のケア、看護支援活動について仮想環境において経験し、災害支援における看護リーダーの役割について考察する。 <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種災害の急性期の医療活動の原則と、チーム医療活動における看護の役割がわかる。 2. 被災地における医療救護に必要な知識・技術を習得する。 3. 看護リーダーの視点で、必要な支援内容（政策への提言を含む）について考察できる。 		

講義内容・授業計画	<p>【授業内容】</p> <p>【第1回】(佐々木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、テーマ確認とプランニング <p>【第2・3回】(佐々木、今津)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症被災者への医療対応；二次評価、急変対応、遠隔搬送に向けた支援 <p>【第4・5回】(藤原)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の公衆衛生対応：社会疫学的アプローチ <p>【第6・7回】(河畠)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者（子どもを含む）と遺族の心理反応とメンタルケア ・災害支援者の心理反応とメンタルケア <p>【第8・9回】(尾立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際災害支援活動における看護マネジメント <p>【第10・11回】(中久木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の口腔保健 <p>【第12・13回】(福島)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線災害時における緊急被ばく者への医療対応 <p>【第14・15回】(佐々木、今津)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終ディスカッションとまとめ
テキスト	指定しない
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・小井土雄一，石井美恵子（2017）. 多職種連携で支える災害医療：身につけるべき知識・スキル・対応力. 医学書院. ・日本集団災害医学会（2015）.DMAT 標準テキスト増補版、へるす出版. ・日本外傷学会（2017）. 外傷初期診療ガイドライン-JATEC 改訂第5版、へるす出版. ・JPTEC 協議会（2016）. JPTEC ガイドブック改訂第2版、へるす出版. ・International disaster nursing / edited by Robert Powers and Elaine Daily; Cambridge University Press, 2010.
成績評価	授業への参加姿勢 60%、プレゼンテーション 20%、課題レポート 20%
履修上の注意・履修要件	事前課題がある場合、指定された期限までに LMS に提出する。
備考	授業の内容・スケジュールは変更になることがある。

授業科目名	災害看護ゼミナール D Disaster Nursing Seminar D	必修の区分	選択
授業コード	1304	開講年次	1・2・3
単位数	2	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	対面・遠隔授業
講師名	宮崎 美砂子 佐藤 奈保	所属	千葉大学大学院看護学研究科
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	miyamisa@faculty.chiba-u.jp naho.sato@faculty.chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	<p>【目的】災害看護グローバルリーダーは、被災地において、外部支援者として地域の回復・発展の推進にかかわる。地域の人々や関係者が主体的に問題にかかわり、活動を企画・実施し、体制構築ができるよう支援する立場にある。本科目では、地域社会と研究者の協働による研究推進方法として、CBPR(Community-Based Participatory Research)を学ぶ。基本テキスト及び関連文献を基に、ゼミ方式により授業を進める。これにより、地域社会との協働において、リーダーとして基本とすべき知識、技術、態度とは何かを論考する。</p> <p>【到達目標】地域社会の課題に対する分析的なアセスメント技術、プログラム立案・政策形成、地域の人々との信頼関係の構築、文化的能力に関する技術、リーダーシップと組織運営に関する、一連の知識・技術・態度を理解する。</p>		
講義内容・授業計画	<p>基本テキスト及び関連文献を基にしたゼミ形式で進める。</p> <p>●レポーターとなる受講生は、以下の準備、役割を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本テキストの単元を基に、その素材から導くことのできる地域社会との協働に関する支援者として求められる能力の特質について考察する。 ・討論に際して焦点をあてる事項を複数提示する。 ・授業で使用する資料は、原則として前週の金曜日17時までに教員・受講者に送付する。 ・当日の司会・運営を行う。 <p>●レポーター以外の受講生は、事前に資料に目を通して授業に臨む。</p> <p>※レポーターであるかを問わず、基本テキストの他に自分で関連資料を調べて追加する工夫を行う。</p> <p>【1 回】オリエンテーション 【2 回～14 回】基本テキストの各単元を基に進める。 【15 回】全体統括</p>		
テキスト	Barbara A. Israel et al: Methods for Community-Based Participatory Research for Health. Jossey-Bass, 2ed,2012.		
参考文献	必要に応じて提示する。		
成績評価	プレゼンテーション、討議の内容・参加姿勢 (40%)、最終レポート (60%)		
履修上の注意・履修要件	特になし		

備考	
----	--

授業科目名	災害看護ゼミナールE Disaster Nursing Seminar E	必修の区分	選択
授業コード	1305	開講年次	1・2・3
単位数	2	期別	2
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	野口眞貴子	所属	日本赤十字看護大学看護学研究科
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	野口 眞貴子 m-noguchi@redcross.ac.jp
講義目的及び到達目標	【講義目的】 災害看護実践や質的研究において「人々の声を聴く」ことについて、単なるインタビュー手法を超えたセンスメイキングの力を養う。		
講義内容・授業計画	【講義内容】 研究手法としてのインタビュー手法を実践的に学び、被災者の声を聴くことについて理解を深める。参加型アクションリサーチのフォトボイス手法について、方法論としての開発起源、フォトボイス手法の実際、フォトボイス手法を活用する場合の倫理的課題等をワークショップ型ゼミナールによって学修する。 【授業計画】 1) 授業ガイダンス 2) ～6)センスメイキングの5原則 （参考文献として挙げた図書を読んで、プレゼンテーションとディスカッションをする） 7) ～9) 研究手法としてのインタビューの実際とフレクシオン(演習) 10) フォトボイス手法に関する事前学習課題提示＊ 11)～14)事前学習課題の発表、フィードバック＊ 15)まとめ		
テキスト	なし		
参考文献	Christian Madsbjerg 著斎藤栄一郎訳：SENSEMAKING センスメイキング 本 当に重要なものを見極める力,プレジデント社,2018		
成績評価	授業参加度（40%）課題レポート(60%)		
履修上の注意・履修要件	参考文献図書の指定された箇所を熟読して授業に参加してください。＊は特別講師によるワークショップです。		
備考	＊特別講師の都合で日程変更のことがある。		

授業科目名	インデペンデントスタディ I・II・III・IV・V Independent Study I/II/III/IV/V	必修の区分	選択
授業コード	1306・1307・1308・1309・1310	開講年次	1・2・3・4・5
単位数	1	期別	前期もしくは後期
授業種別	演習	授業方法	演習
講師名	共同災害看護学専攻 専任教員 他	所属	構成 5 大学
オフィスアワー・場所	事前アポイント	連絡先	Email
講義目的及び到達目標	<p>【目的】 学生が関心をもつ災害看護領域において、実践あるいは研究を発展させていく上で必要となる知識・スキルの修得・強化をはかり、災害看護グローバルリーダーとしての能力を養う。</p> <p>【到達目標】 学生の持つ課題によって、次の1つまたは複数の個別の到達目標となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護に関連する特定の関心分野についての知識を広げる 2. 災害看護領域における実践的課題を解決するために必要となる知識、スキルを開発または向上させる 3. 災害看護領域における研究を発展させていく上で必要となる知識、スキルを開発または向上させる 		
講義内容・授業計画	<p>【科目の概要】 この科目は、学生個々の関心と課題に基づき、学生自らが担当教員と相談の上で具体的な学習目標・学習内容・学習計画を立てて主体的に学習するものである。1科目は1単位の学習とし、1学期（前期又は後期）で終了する。1学生につき、5年間で最大5科目（5単位）までの履修を可能とする。</p> <p>【履修の手順】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インデペンデントスタディは、教育課程運営委員会で担当教員および科目の具体的内容についての確認を受けた後、履修登録を行い履修する。 2. 学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、アドバイザー教員と相談し、その課題の指導に適する担当教員を決める（担当教員は原則、共同災害看護学専攻の専任教員とする）。 3. 学生は、インデペンデントスタディ学習計画書（様式）（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について担当教員の助言・指導を受ける。（1科目分の学習計画書は1単位に相当する内容であること） 4. 学生と担当教員によって十分検討されたインデペンデント学習計画書は、アドバイザー教員が確認した後、教育課程運営委員会で報告、確認される。 <p>【計画上の留意】 インデペンデントスタディは、共同災害看護学専攻で提供されている科目（必修・選択）の代替とはならない。提供科目でカバーされる内容と同じものをインデペンデントスタディとすることはできない。</p>		

テキスト	特定なし
参考文献	特定なし
成績評価	学習目標の到達度をもって成績を評価する。具体的な評価方法は、担当教員が科目開始前に定める。
履修上の注意・履修要件	<p>インデペンデント学習計画書が教育課程運営委員会で確認された後に履修登録・履修が可能となる。</p> <p>5年間で最大5科目（5単位）まで履修が可能。最初の履修科目は「インデペンデントスタディⅠ」となり、以降、複数のインデペンデントスタディを履修する場合は、「インデペンデントディⅡ」→「インデペンデントスタディⅢ」と順に科目を計画する。</p>
備考	<p>インデペンデントスタディは余裕をもって計画してください。</p> <p>前期科目として登録する場合は前年度3月までに、後期科目として登録する場合は9月までに、教育課程運営委員会で確認を受けてください。</p>

授業科目名	災害看護研究ゼミナール Disaster Nursing Research Seminar	必修の区分	選択
授業コード	1401	開講年次	1
単位数	各大学 1 単位（全 5 単位）	期別	後期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	山田覚、神原咲子、木下真里 増野園恵・梅田麻希・佐々木美 絵 佐々木吉子・駒形朋子 宮崎美砂子・佐藤奈保 野口真貴子・池田稔子	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	上記教員のメールアドレス
講義目的及び到達目標	<p>【授業目的】 これまでに学修したことや実践経験を基に、学生各自が関心のある災害看護領域の課題を取り上げ、課題についての情報を収集・分析を行い、学際的な視点から研究課題を見出す力を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>① 災害看護領域における学際的な研究を遂行するための研究疑問を表現することができる。</p> <p>② 研究疑問に関して、文献その他の情報を収集することができる。</p> <p>③ 関連論文のクリティークができる。</p> <p>④ 情報の分析・統合を行い、実践課題研究につながる研究課題を明らかにすることができる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【授業内容】 講義と学生が主体的に運営するゼミ形式（TV 会議による合同ゼミ）を行う。</p> <p>【第 1 回】 オリエンテーションとプランニング</p> <p>【第 2～38 回】 以下について、学生によるプレゼンテーション、ディスカッション、教員からの助言を行う。なお、学生が個別に学修する時間を含める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のある災害看護領域の課題の検討 ・ 文献検索とクリティーク ・ 情報の収集と統合 <p>【第 39・40 回】 学修したことの最終プレゼンテーション、ディスカッションと講評</p>		
テキスト	学生のテーマに合わせて適宜紹介する。		
参考文献	学生のテーマに合わせて適宜紹介する。		
成績評価	プレゼンテーション、ディスカッションを含む授業への参加姿勢 100%		
履修上の注意・履修要件	学生の主体的・積極的な運営を基本とする。		
備考	授業の内容・スケジュールは変更になることがある。		

授業科目名	実践課題研究 Field Research	必修の区分	必修
授業コード	2402	開講年次	2
単位数	各大学 1 単位（全 5 単位）	期別	通年
授業種別	演習	授業方法	対面、フィールドワーク
講師名	共同災害看護学専攻 専任教員	所属	構成 5 大学
オフィスアワー・場所	事前アポイントメント	連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>【目的】これまでの学修を基に、関心をもった災害看護上の課題を取り上げ、その課題の探究のために必要な、情報の収集・分析、あるいは支援活動の計画・実施に基づき、検討資料を作成し、学際的な視点から評価、考察することができる能力を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①災害状況を把握し、看護上の問題（課題）を明らかにして探究することができる。</p> <p>②収集した災害状況の情報を分析することができる。</p> <p>③災害状況のなかで「その人らしく健康に生きる」ための方策（支援活動計画）を立て、実践あるいは提言することができる。</p> <p>④課題についての情報の分析や支援活動の実施を研究レポートとしてまとめることができる。</p> <p>なお、ここでいう「災害状況」には、防災・減災に関することも含み、「支援活動」には、病院や地域との連携の在り方など組織的な支援体制や組織づくり等も含む。</p>		
講義内容・授業計画	各学生の課題に沿って、主指導教員 1 名および副指導教員 4 名と計画を立てて実施する。		
テキスト	学生のテーマに合わせて適宜紹介する。		
参考文献	学生のテーマに合わせて適宜紹介する。		
成績評価	プロセスならびに最終提出されたレポート内容にて、指導を担当する 5 大学の教員で評価を行う。		
履修上の注意・履修要件	本籍大学の専任教員と取り上げる課題及び進め方についてよく相談した上で履修すること。		
備考	実践課題研究の単位取得は、Preliminary Examination の受験要件の一つである。		

授業科目名	災害看護研究デベロップメント Dissertation Research Proposal	必修の区分	必修
授業コード	3403	開講年次	3
単位数	各大学 1 単位（全 5 単位）	期別	前期
授業種別	演習	授業方法	遠隔授業
講師名	山田 覚・神原 咲子・木下 真里 増野 園恵・梅田 麻希・佐々木 美絵 佐々木 吉子 宮崎 美砂子・佐藤 奈保 野口 眞貴子	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	上記教員メールアドレス
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】</p> <p>各自の博士論文作成に向け、研究計画立案のプロセスを本教育課程にかかわる教員ならびに学生との議論を通して進める。研究計画立案に際しては、十分な文献検討や事前の情報収集を行い、研究の意義や倫理的配慮について十分検討するとともに、教員や当該領域の専門家へ積極的に相談・助言を求め、実現可能性についても十分検討する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D N G L としての博士論文に求められる要件を理解できる。 ・ 災害看護の現象を研究課題として学際的あるいはグローバルな視点から絞り込んでいくプロセスを理解できる。 ・ 研究課題から適切な研究デザインを選び、新たな知やほかの学問領域の知を取り入れて、研究方法を決めていくことができる。 ・ 博士論文に向けた研究計画書のドラフトが作成できる。 ・ 学生と教員等との議論を通して、研究計画書案を洗練させていくことができる。 		
講義内容・授業計画	<p>博士論文作成の要点となる事項については、TV 会議による授業を行って説明する。各学生の主指導教員 1 名、副指導教員 4 名を決定して、学生が主体的に研究計画のための学習計画を立てて実施する。（各指導教員の専門は、履修の手引きを参照する）。また、学生間および指導教員を交えて研究計画案を議論し、計画立案のプロセスを共有しながら進めていく。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 履修ガイダンス（4 月）評価基準の説明 2) 研究計画書案の発表と討論①（6 月下旬） 3) 研究計画書案の発表と討論②（7 月下旬） 4) 研究計画書案の洗練（各学生と 5 名の指導教員間個別） 5) 合同検討会（9 月 28 日月曜日） 		

テキスト	なし
参考文献	必要に応じて提示する
成績評価	上記 5) の発表会の後、博士論文研究計画書案のレポートを提出し、評価基準に従い、学生個々に、5 大学の指導教員で評価する
履修上の注意・履修要件	上記授業計画は、日程調整をして TV 会議を通じて行う。 学生主体で実施する。
備考	この科目が 3 年前期科目として置かれるのは、博士論文の作成への助走を支援するためである。博士論文作成の過程は、複数の指導教員等が継続的にかかわり研究を支援する体制をとるため、この科目では、学生が様々な教員から得る意見を自分の判断をもってまとめる訓練の一助ともなることをねらっている。

授業科目名	博士論文 Dissertation Research	必修の区分	必修
授業コード	3404	開講年次	3～5 年次
単位数	各大学 1 単位（全 5 単位）	期別	—
授業種別	演習	授業方法	遠隔授業
講師名	山田 覚・神原 咲子・木下 真里 増野 園恵・梅田 麻希 佐々木 吉子・駒形 朋子 宮崎 美砂子・佐藤 奈保 野口 眞貴子	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	各教員のメールアドレス
講義目的及び到達目標	<p>【目的】</p> <p>博士論文研究計画書および研究倫理審査結果に基づいて調査研究を行い、博士論文作成を通して、独り立ちして学術的な研究を行う能力を培う。特に、この科目では、データ収集とデータ分析のプロセス、およびそのプロセスにおいて必要となる倫理的な配慮について、研究指導教員の助言・指導を受けながら具体的に学修する。</p> <p>【「博士論文」の評価の視点】</p> <p>①研究計画の進捗について</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究計画書に沿って研究が進捗したかどうか、変更があったのであれば適切な理由に基づくものであるか <p>②災害看護学の博士の学術論文としての適切性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究結果が根拠に基づき、的確・明確に記載されているか 研究結果について先行文献を用い、多方面からの検討を加え、深く考察しているか 論文の体裁（構成、文章の表現力、論旨の一貫性、引用文献の記載方法）が適切であるか。 研究の全過程を通して倫理的配慮が十分に行われたか <p>③研究成果の貢献について</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践及び社会への貢献度の高い研究成果が産出されているか <p>④下記の内容について必要に応じて確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害看護学の研究として適切かつ重要なテーマであるか。 研究目的が明確であるか。 テーマに関する知識・概念が十分に検討され、和文献、海外文献の包括的かつ広範な検討により、研究の位置づけ、意義を明確にしているか。 研究目的を達成するための方法論が明確に示され、データ収集方法、分析方法などが具体的に検討されているか。それらが妥当なものであるか。 		
講義内容・授業計画	<ul style="list-style-type: none"> Qualifying Examination に合格した学生は、本科目の履修にあたって、以降の研究指導体制および博士論文で取り組む研究課題について、教育課程運営委員会に申請をし、承認を得る。承認を得た本専攻の専任教員である研究指導教員が本科目の担当教員となる。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ♦ Qualifying Examination で承認を得た研究計画に基づき、研究を主体的に進める。 ♦ 研究の実施ならびに論文作成過程において、学生は、TV 会議システム等を活用し、副指導教員からも十分な指導を受ける。
テキスト	なし
参考文献	必要に応じて提示する
成績評価	博士論文指導体制のうち、専任教員である主研究指導教員 1 名と副研究指導教員 4 名が科目担当として評価の視点に基づいて評価する。
履修上の注意・履修要件	本科目の履修は、 Qualifying Examination を終えていることを基本とする。学生は、 Qualifying Examination に合格した後の期より、本科目の履修を登録する。
備考	「博士論文中間発表会」は、本科目の履修中もしくは履修後に開催する。開催の時期や助言を求めるために招く研究者・専門職者は、研究指導教員と話し合い決定する。

授業科目名	理論看護学Ⅱ Theories in Nursing II	必修の区分	必修
授業コード	301	開講年次	3
単位数	2	期別	前期
授業種別	講義	授業方法	遠隔授業
講師名	野嶋佐由美・藤田佐和・ 畦地博子・神原咲子	所属	高知県立大学
オフィスアワー・場所	メール	連絡先	nojimas@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp azechi@cc.u-kochi.ac.jp fujita@cc.u-kochi.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】</p> <p>科学哲学および科学論、科学史等を学び、現代社会における科学と社会との関係を分析する。これらの知識を用いて、看護学および看護に関連している理論を批判的に分析する能力および看護理論の構築に向かう基本的な能力を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学哲学および科学論の看護への影響について理解できる。 ・「看護における科学とは」の問いに、自分(学生)の考えをもつことができる。 ・歴史をふまえながら、科学と看護(ケア)との関係について議論することができる。 ・看護理論を分析・評価し、その理論の特徴(大理論、中範囲理論等)を説明することができる。 ・看護で用いられる概念や自分(学生)の関心ある概念の分析ができる。 ・看護における実践-研究-理論の関係を説明することができる。 		
講義内容・授業計画	<p>(オムニバス方式／全 15 回)</p> <p>(神原咲子／3 回)</p> <p>看護モデルと関連分野による概念の定義や関係、仮定、命題を概念間の看護理論における関係を学ぶ。実践を観察し、概念間の相互関係を明確に表すことにより、現象を意図的かつ体系的に捉える方法を理解する。</p> <p>(藤田佐和 4 回)</p> <p>科学哲学および科学論、科学史等を学び、看護学における科学の考え方や現代社会における科学と社会との関係を分析する。また、看護哲学についてふりかえるとともに、看護現象の捉え方や看護実践のための哲学的基盤について検討する。</p> <p>(畦地博子／4 回)</p> <p>概念分析の方法を学習し、看護理論で用いられている概念や学生の関心ある概念を取り上げて実際に概念分析を行う。</p> <p>(野嶋佐由美／4 回)</p> <p>看護理論の成り立ち、理論の基盤となる考え方、看護理論の分析・評価の方法を学ぶとともに、実践-研究-理論の関係について実際の理論構築の例をとおして学習する。</p>		

テキスト	特に用いない。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村上陽一郎, 人間にとって科学とは何か, 新潮社, 2010. ・ A.F.チャルマーズ著, 高田紀代志・佐野正博訳, 新版 科学論の展開—科学と呼ばれているのは何なのか? 恒星者厚生閣, 1983. ・ Polifroni, E. C. & Welch, M. Perspectives on Philosophy of Science in Nursing: An Historical and Contemporary anthology, Lippincott, 1999. ・ Fawcett, J.著, 太田喜久子・筒井真優美監訳, フォーセット看護理論の分析と評価 新改版, 医学書院, 2008. ・ Walker, L. O & Avant, K. C.著, 中木高夫・川崎修一訳, 看護における理論構築の方法, 医学書院, 2008. ・ Rodgers, B. L. & Knafl, K. A. Concept Development in Nursing: Foundations, Techniques, and Applications. Second edition. Saunders, 2000. ・ その他、適宜紹介する。
成績評価	クラスにおける参加度（事前学習，討論，事後学習）およびプレゼンテーション，レポートを総合して評価する。
履修上の注意・履修要件	特になし
備考	特になし

Disaster Nursing Global Leader Degree Program

Syllabus 2020

Overview of Academic Program (Cooperative Academic Discipline)												
Cooperative Doctoral Program for Disaster Nursing (Doctoral Course)												
Classification	Code	Name of subject	Years	University offereing the subject	Credits		Type of Class			Remarks		
					R e q u i r e d	E l e c t i v e	F r e e	L e c t u r e	S e m i n a r		L a b · P r a c t i c a l c u r s u m	
Subjects related to fundamental nursing studies	101	Introduction to Nursing Research Methods	1 yr. (early)	University of Kochi	2			○			Including omnibus/media	
	102	Theories in Nursing I	1 yr. (early)	Chiba University	2			○			Including omnibus/media	
	301	Theories in Nursing II	3 yr. (early)	University of Kochi	2			○			Including omnibus/media	
	110	Ethics in Nursing	1 yr. (latter)	University of Hyogo		2		○			Including media	
	111	Nursing Information Statistics	1 yr. (latter)	Tokyo Medical and Dental University		2		○			Including omnibus/media	
	201	Research Methods for Public Health and Epideminology	2 yr. (early)	Chiba University		2		○			Including media	
	202	Nursing Research Methods I (International)	2 yr. (early)	Tokyo Medical and Dental University		1		○			Including omnibus/media	
	112	Nursing Research Methods II (Ethnography)	1 yr. (latter)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		1		○			Including media	
	203	Nursing Research Methods III (Case Studies & Action Research)	2 yr. (early)	Chiba University		1		○			Including omnibus/media	
	113	Nursing Research Methods IV (Grounded Theory)	1 yr. (latter)	Tokyo Medical and Dental University		1		○			Including omnibus/media	
	114	Nursing Research Methods V (Phenomenology)	1 yr. (latter)	University of Kochi		1		○			Including omnibus/media	
	204	Nursing Research Methods VI (Intervention Research & Development of Scale)	2 yr. (early)	University of Hyogo		1		○			Including media	
		Subtotal (12 subjects)		—		6	12	0	—			—
	Required interdisciplinary subjects for Disaster Nursing Global Leaders	205	Crisis Management Theory	2 yr. (early)	University of Hyogo		2		○			Including omnibus/media
115		Environmental Disaster Studies	1 yr. (latter)	Chiba University/University of Kochi		2		○			Including omnibus/media	
211		Global Health and Policy-making	2 yr. (latter)	Tokyo Medical and Dental University		2		○			Including omnibus/media	
103		Professional Collaboration and Practice Theory	1 yr. (early)	Chiba University		2		○			Including media	
104		Disaster Medical Science	1 yr. (early)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		2		○			Including omnibus/media	
105		Disaster Information Science	1 yr. (early)	University of Hyogo		2		○			Including media	
106		Disaster Psychology	1 yr. (early)	University of Hyogo		2		○			Including media	
107		Disaster and Culture	1 yr. (early)	Chiba University		1		○			Including omnibus/media	
212		Disaster Sociology	2 yr. (latter)	University of Kochi		1		○			Including media	
206		Disaster Social Welfare	2 yr. (early)	University of Kochi		1		○			Including media	
207		Professional Writing	2 yr. (early)	University of Kochi		1			○		Including omnibus/media	
208		Proposal Writing	2 yr. (early)	Tokyo Medical and Dental University		1			○		Including omnibus/media	
305		Program Writing	3 yr. (latter)	University of Hyogo		1			○		Including media	
		Subtotal (13 subjects)		—		0	20	0	—			—
Subjects related disaster nursing studies	108	Disaster Nursing Activity I	1 yr. (early)	Tokyo Medical and Dental University	2			○			Including omnibus/media	
	109	Disaster Nursing Activity II	1 yr. (early)	Japanese Red Cross Col. of Nursing	2			○			Including omnibus/media	
	116	Disaster Nursing Activity III	1 yr. (latter)	Chiba University	2			○			Including omnibus/media	
	302	Advanced Disaster Nursing Theory	3 yr. (early)	University of Hyogo	2			○			Including media	
	303	Theory in Disaster Nursing Global Coordination	3 yr. (early)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		1		○			Including omnibus/media	
	306	International Disaster Response	3 yr. (latter)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		1		○			Including omnibus/media	
	307	Disaster Nursing Management	3 yr. (latter)	University of Kochi		1		○			Including omnibus/media	
	308	Ethics in Disaster Nursing	3 yr. (latter)	University of Hyogo	1				○		Including omnibus/media	
	309	Building Disaster Nursing Theory	3 yr. (latter)	University of Kochi/University of Hyogo	2			○			Including omnibus/media	
		Subtotal (9 subjects)		—		11	3	0	—			—
Disaster nursing seminars	117	Disaster Nursing Seminar I	1 yr. (latter)	Tokyo Medical and Dental University	2				○		Omibus/media/intensive	
	118	Disaster Nursing Seminar II	1 yr. (latter)	University of Hyogo	2				○		Including media/intensive	
	119	Disaster Professional Collaboration Exercise (Disaster IP Exercise)	1 yr. (latter)	Chiba University		2			○		Omibus/including media/intensive	
	209	Disaster Nursing Global Leader Seminar	2 yr. (early)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		2			○		Including omnibus/media	
	120	Independent Study A	1 yr. (latter)	University of Kochi		1			○			
	121	Independent Study B	1 yr. (latter)	University of Hyogo		1			○			
	122	Independent Study C	1 yr. (latter)	Tokyo Medical and Dental University		1			○			
	123	Independent Study D	1 yr. (latter)	Chiba University		1			○			
	124	Independent Study E	1 yr. (latter)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		1			○			
		Subtotal (9 subjects)		—		4	9	0	—			—
Disaster nursing Practical Training	210	Disaster Nursing Practrum I	2 yr. (early)	University of Hyogo	2					○	Intensive	
	401	Disaster Nursing Practicum II	4 yr. (early)	Japanese Red Cross Col. of Nursing	2					○	Intensive	
	402	Independent Study Practicum A	4 yr. (early)	University of Kochi		1				○	Intensive	
	403	Independent Study Practicum B	4 yr. (early)	University of Hyogo		1				○	Intensive	
	404	Independent Study Practicum C	4 yr. (early)	Tokyo Medical and Dental University		1				○	Intensive	
	405	Independent Study Practicum D	4 yr. (early)	Chiba University		1				○	Intensive	
	406	Independent Study Practicum E	4 yr. (early)	Japanese Red Cross Col. of Nursing		1				○	Intensive	
		Subtotal (7 subjects)		—		4	5	0	—			—
Research support courses related to disaster nursing studies	213	Field Research	2 yr. (latter)	5 universities (collaborative)	5				○		1 credit from each university/including m	
	304	Dissertation Research Proposal	3 yr. (early)	5 universities (collaborative)	5				○		1 credit from each university/including media	
	501	Dissertation Research	5 yr. (early)	5 universities (collaborative)	5				○		1 credit from each university/including media	
		Subtotal (3 subjects)		—		15	0	0	—			—
Total (53 courses)			—		40	49	0	—			—	
Degree or title		Doctor of Philosophy in Nursing (Disaster Nursing Global Leader)			Area of degree and academic field				Health and hygiene studies			
Graduation Requirements and Registration Procedures					University		Credits offered (mandatory no.)		Period of classes, etc.			
Students must complete a standard course of study of 5 years or more, acquire 50 or more degree-related credits, receive necessary research guidance, have their doctoral dissertation (or thesis) pass review without issue as to its content or subject area, and pass written exams.					University of Kochi		16(8)		2 semesters per academic year			
					University of Hyogo		23(11)		16 weeks of classes per semester (including exam season)			
Of the 50 credits, 40 must be from required courses and 10 from electives or selected required courses.					Tokyo Medical and Dental Univ.		16(7)		90-minute classes			
6 credits of selected required courses must be from "Required interdisciplinary courses for Disaster Nursing Global Leaders," and 2 credits from "Courses related to disaster nursing studies."					Chiba Univ.		18(7)					
					Japanese Red Cross College of Nursing		16(7)					
In addition, 10 credits or more must be from each constituent university.												
And asterisk (*) designates selected required courses.												

Overview of Academic Program （Cooperative Academic Discipline）												
(Cooperative doctral program for Disaster Nursing - Doctoral Course)												
Classification	Code	Name of Subject	Years/ Semester	University offering the subject	Credits			Type of Classes			Remarks	
					R e q u i r e d	E l e c t i v e	F r e e	L e c t u r e	S e m i n a r	P r a c t i c u m		B i e n i a l l y
Subjects Group on Supporting the Academic Foundations of Nursing	1101	Nursing Research Lecture	1/1	Tokyo Medical and Dental University		2		○				
	1102	Theoretical Nursing	1 Intensive	Chiba University		1		○				Joint class with graduate of nursing and offer Intensive, face-to-face classes in Aug. and Sep.
	1103	Crisis Management Theory	1-3/1	Universit of Hyogo		1		○			Even	
	1104	Environmental Disaster Studies I	1-3/2	Universit of Kochi		1		○			Even	
	1105	Environmental Disaster Studies II	1-3/2	Chiba University		1		○			Odd	
	1106	Global Health	1-3/2	Tokyo Medical and Dental University		1		○			Odd	
	1107	Health policies and disaster-related legal systems in Japan	1-3/2	Tokyo Medical and Dental University		1		○			Even	
	1108	Professional Collaboration and Practice Theory	1-3/1	Chiba University		1		○				Intensive in Aug. and Sep. Joint class with graduate of nursing.
	1109	Disaster Professional Collaboration Exercise (Disaster IP Exercise)	1-3, Intensive	Chiba University		1			○		Odd	Intensive in Feb. and Mar. *Face-to-face
	1110	Disaster Medical Science	1-3/1	Japanese Red Cross College of Nursing		2		○			Even	Partly intensive
	1111	Disaster Psychology	1-3/1	Universit of Hyogo		1		○			Even	
	1112	Disaster and Culture	1-3/1	Chiba University		1		○			Odd	Partly intensive
	1113	Disaster Social Welfare	1-3/2	Universit of Kochi		1		○			Even	
	1114	Professional writing	1-3/1	Universit of Kochi		1			○		Odd	
	1115	Proposal writing （Research proposal writing skill）	1-3/1	Tokyo Medical and Dental University		1			○		Even	Offer in 2019 and even-numbered year after 2020
	1116	Program writing （Program proposal writing skill）	1-3/2	Universit of Hyogo		1			○		Even	
		Subtotal (16 subjects)		-		0	18	0	-			
Specialized Subjects Group on Disaster Nursing	1201	Introduction to Disaster Nursing	1/1	Universit of Hyogo		2		○				
	1202	Disaster Nursing Activity I (Acute phase)	1/1	Tokyo Medical and Dental University		2		○				
	1203	Disaster Nursing Activity II (Subacute phase)	1/1	Japanese Red Cross College of Nursing		2		○				
	1204	Disaster Nursing Activity III (Recovery and reconstruction phase)	1/2	Chiba University		2		○				
	1205	Disaster Nursing Activity IV (Disaster Preparedness)	1/2	Universit of Kochi		2		○				
	2206	Theory in Disaster Nursing Global Coordination	2, Intensive	Japanese Red Cross College of Nursing		2		○				
	2207	Disaster Nursing Leadership and Management	2/1	Universit of Kochi		2		○				
	2208	Ethics in Disaster Nursing	2/1	Universit of Hyogo		1		○				
	3209	Building Disaster Nursing Theory	3/1	Universit of Hyogo		2		○				Offer in 2nd semester of 2019
	1210	Internship I	1-5, Full year	5 universities (Joint guidance)		5				○		
	1211	Internship II	1-5, Full year	5 universities (Joint guidance)		5				○		
		Subtotal (11 subjects)		—		0	27	0	-			
	Independent Study Subjects Group	1301	Disaster Nursing Seminar A	1-3	Universit of Kochi		2		○			
1302		Disaster Nursing Seminar B	1-3	Universit of Hyogo		2		○				Offering in 1st semester of 2019
1303		Disaster Nursing Seminar C	1-3	Tokyo Medical and Dental University		2		○				Offer in 2nd semester of 2019
1304		Disaster Nursing Seminar D	1-3	Chiba University		2		○				Offer in 2nd semester of 2019
1305		Disaster Nursing Seminar E	1-3	Japanese Red Cross College of Nursing		2		○				Offer in 2nd semester of 2019
1306		Independent Study I	1-5	University of Kochi		1			○			
1307		Independent Study II	1-5	University of Hyogo		1			○			
1308		Independent Study III	1-5	Tokyo Medical and Dental University		1			○			
1309		Independent Study IV	1-5	Chiba University		1			○			
1310		Independent Study V	1-5	Japanese Red Cross College of Nursing		1			○			
		Subtotal (10 subjects)		—		0	15	0	-			
Subjects Group on Supporting Disaster Nursing Study Research	1401	Disaster Nursing Research Seminar	1/2	5 universities (Collaborative)		5		○				
	2402	Field Research	2, Full year	5 universities (Collaborative)	5				○			
	3403	Disssertation Research Proposal	3/1	5 universities (Collaborative)	5				○			
	3404	Dissertation Research	3-5	5 universities (Collaborative)	5				○			
		Subtotal (4 subjects)		—		15	5	0	-			-
Total (41 Subjects)					15	65	0	-			-	
Degree or title		Doctor of Philosophy in Nursing (Disaster Nursing Global Leader)			Area of degree and academic field			Health and hygiene studies				
Graduation Requirements and Registration Procedures					University	Credits offered (mandatory)		Period of classes, etc.				
Students must complete a standard course of study of 5 years or more, acquire 50 or more degree-related credits, receive necessary research guidance, have their doctoral dissertation (or thesis) pass review without issue as to its content or subject area, and pass written exams.					University of Kochi	15 (3)		2 semesters per academic year				
					University of Hyogo	16 (3)		16 weeks of classes per semester (including exam season)				
					Tokyo Medical and Dental	15 (3)		90-minute classes				
Of the 50 credits, 6 and more credits must be from “Subjects Group on Supporting the Academic Foundations of Nursing”, 10 and more credits must be from “Specialized Subjects Group on Disaster Nursing” and one and more subject must take either “Internship I” or “Internship II”. In addition, 10 credits or more must be from each affiliated university.					Chiba Univ.	15 (3)						
					Japanese Red Cross College of Nursing	14 (3)						
										*Not including the credit of Independent Study		

Class title	Nursing Research Lecture 看護研究	Section	Elective
Class code	1101	Year of study	1
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Noriko Okubo ¹⁾ , Yasuko Ogata ¹⁾ Kumiko Morita ¹⁾ , Motoko Okamitsu ¹⁾ , Hanako Misao ²⁾ , Kaori Muto ³⁾	Affiliation	1) Tokyo Medical and Dental University 2) Miyagi University 3) University of Tokyo
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	kouko.rhn@tmd.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> This course introduces methods of nursing research for the development of nursing knowledge. <u>Attainment targets</u> <ul style="list-style-type: none"> • Upon successful completion of the course, students will have demonstrated the ability to: 1) Make clinical decisions based on the appraisal of evidence for nursing practice. 2) Integrate knowledge from the science of nursing and philosophy of science. 3) Discuss ethical considerations for research with human subjects. 4) Explain nursing research methods through examples. 5) Apply principles of nursing research for your purpose or nursing issues through critique of the nursing research.		
Class description	【Lecture 1】 Noriko Okubo <ul style="list-style-type: none"> • Orientation 【Lecture 2】 Kaori Muto • Noriko Okubo <ul style="list-style-type: none"> • Research Ethics 【Lecture 3-5】 Motoko Okamitsu <ul style="list-style-type: none"> • Foundation of nursing research • Conceptualizing and Planning 【Lecture 6-8】 Yasuko Ogata <ul style="list-style-type: none"> • Quantitative Research 【Lecture 9-11】 Kumiko Morita <ul style="list-style-type: none"> • Quantitative Research 【Lecture 12-14】 Noriko Okubo <ul style="list-style-type: none"> • Mix Method & Building Evidence 【Lecture 15】 Hanako Misao <ul style="list-style-type: none"> • Substraction 		
Textbooks	<ul style="list-style-type: none"> • Polit,D.F.&Beck,T.C.(2017).Nursing Research-Generating and Assessing Evidence for Nursing Practice (10th ed), Wolters Kluwer Lippincott Williams&Wilkins. • Munhall,P.L. (2012).Nursing Research-A Qualitative Perspective,Johnes& Bartlett learning. • Gray,J.R.&Grove,S.K.(2017) Burns and Grove's The Practice of Nursing Research: Appraisal, Synthesis,and Generation of Evidence, (8th ed),Saunders • American Psychological Association (2009). Publication manual of the American Psychological Association (6thed). Washington, DC: Author. • Aligood,M.R.(2013).Nursing theorists and their work 8th ed,Mosby. • Denzin,N.K.&Linclon,Y.S.(2011).The SAGE Handbook of Qualitative research 4th ed,Sage. 		

	<ul style="list-style-type: none"> • Gubrium, J.F., Holstein, J.A. Marvasti, A.B. McKinney, K.D. (2011). The SAGE Handbook of Interview research-the complexity of the craft, 2nd ed. Sage. • Grove, S.K. & Ciper, D.J. (2016). Statistics for nursing research: A workbook for evidence based practice, 2nd ed. Saunders. • Heavey, E. (2014). Statistics for nursing: a practical approach, Jones & Barlett.
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> • Pan, M.L. (2004). Preparing Literature Reviews. Qualitative and quantitative approaches (2nd ed.). Glendale, CA: Pyrczak Publishing. • http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf • http://www.wma.net/en/30publications/10policies/b3/index.html
Grading	Completeness of the assignments 20%, presentation 20%, attendance rate and the degree of contribution 20%, completeness of the Substruction 20% completeness of the literature review 20%
Cautions and prerequisites	<p>All students must participate after preparation. In addition to textbook and reference literature, they must actively read a number of related books before class.</p> <p>All the class will be done as a joint class of DNGL and the Nursing Innovation course of Tokyo Medical and Dental University.</p> <p>Presenters summarize concisely in two pages of A4 size paper by 5PM on Wednesday of the week before presentation, and the summary must be checked by the instructor. The checked document must be sent to all classmates by Friday of the week before presentation.</p>
Notes	<p>Partial classes are taught in English.</p> <p>The contents and schedules of lesson may change as needed.</p>

Class title	Theoretical Nursing 理論看護学	Section	Elective
Class code	1102	Year of study	1
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture & Group work/Presentation	Mode of instruction	Face-to-face
Instructors	Toshie Yamamoto	Affiliation	Graduate School of Nursing, Chiba University
Office hours / location	Appointments as required (Monday - Friday)	Contact details	ytoshie@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> Students understand the process through which nursing science developed from historical, methodological, and structural perspectives and develop the basic ability to build disaster nursing as a new discipline on the basis of its relationship with other scientific disciplines. <u>Attainment targets</u> 1. Students understand applying nursing theory and its effectiveness in nurse's practice. 2. Throughout applying nursing theories to reflect own nursing experience, students clarify individual subjects for development of nursing ability and understand a clinical thinking way for nursing practice.		
Class description	【1 & 2】Lectures : Yoshiko Wazumi, Toshie Yamamoto The focal points of lectures are below <ul style="list-style-type: none"> Introduction to Nursing Theory: Its History, Significance, and to Apply and Testify Representation of Habitual Thinking Way in Clinical Settings: Its Significance and Method Logical Reasoning in Nursing: <ul style="list-style-type: none"> ①Functions of Induction, Deduction, and Retroduction ②Objects of Finding Set of Laws in Nursing Practice, and Building a Nursing Theory Applying Nursing Theories: <ul style="list-style-type: none"> ①Observation and Description of Nursing Practice ②Identification of Character as Nursing and Prediction a Result of Nursing Gripping Nursing Situation Based on Applying Nursing Theories: <ul style="list-style-type: none"> ①Clarifying Weaknesses of Habitual Thinking Way in Clinical Settings ②Suggestions for Nursing Innovation Explanation of Excellence in Nursing Practice: Group works as follows focus on specific cases illustrating the application and significance of nursing theory to nursing practice. 【3 ~ 7】Group Work :Students' presentations of applying nursing theories to reflect own nursing experience and group discussion:Kumiko Kuroda, Yoshiko Wazumi, Toshie Yamamoto 【8】Group Presentations of Group Discussion. Discussion & Summary of Applying Nursing Theory and its Effectiveness in Nurse's Practice :Kumiko Kuroda, Yoshiko Wazumi, Toshie Yamamoto		
Textbooks	F. Nightingale, Compiled by H. Usui, Notes on Nursing, Second edition, Gendaisha Publishing, 2001. Alligood, M.R., Tomey, A.M., Nursing Theorists and Their Work, eighth edition, Mosby, 2014.		

Reference materials	<p>Alligood, Martha Raile: Nursing theorists and their work, 8th edition. Mosby, an imprint of Elsevier Inc., 2014.</p> <p>Ann Marriner - Tomey: 看護理論家とその業績、第3版、医学書院、2005.</p> <p>Gertrude Torres: 看護理論と看護過程、医学書院、1994.</p> <p>Peggy L. Chin. Maeone K. Kramer: 看護理論とは何か。医学書院、1997.</p> <p>正木治恵, 酒井郁子編, 看護理論の活用 看護実践の問題解決のために, 医歯薬出版, 2012.</p>
Grading	<p>Comprehensive evaluation of participation in lectures and results of assignment reports</p> <p>Class participation(submission of response sheet), presentations, participation in discussions: 40%, Assignment reports: 60%</p> <p>About assignment reports</p> <p>Assignment topic: Examine one existing theory in nursing, analyze its development process through its theoretical structure and the careers and historical backgrounds of its proponents, and</p> <p>present your own cases of its use in practice. On the basis of the above, state your own opinions</p> <p>regarding the significance of your chosen theory to practice, nursing science, and the theory building in the disaster nursing discipline. (Submission deadline: Within 3 weeks of the end of class)</p>
Cautions and prerequisites	<p>Comprehensive evaluation of participation in lectures and results of assignment reports</p> <p>Class participation (submission of response sheet), presentations, participation in discussions: 40%, Assignment reports: 60%</p> <p>About post-class assignment reports</p> <p>Assignment topic: Examine one existing theory in nursing, analyze its development process through its theoretical structure and the careers and historical backgrounds of its proponents, and</p> <p>present your own cases of its use in practice. On the basis of the above, state your own opinions</p> <p>regarding the significance of your chosen theory to practice, nursing science, and the theory building in the disaster nursing discipline. (Submission deadline: Within 3 weeks of the end of class)</p>
Notes	<p>If a pre-class assignment is not submitted by the due date, the registration of class shall be deemed to be withdrawn.</p>

Class title	Crisis Management Theory 危機管理論	Section	Elective
Class code	1103	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	BENIYA, Shohei	Affiliation	University of Hyogo
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	beni@drg.u-hyogo.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Class Objectives</u></p> <p>To study the basic theory and practical method of disaster and crisis management with understanding lessons from Japanese past disasters and international standard guidelines.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <p>Understanding the basic ideas, lessons and fundamental theories, students learn comprehensive crisis management method such as organizational structure and crisis process. Students also develop their capacity to respond to crisis situation with theoretical and practical knowledge.</p>		
Class description	<p>Students study organizational structure, management system, collaboration method, exercise, planning system and processes in crisis management based on the lessons from Japanese disaster cases, risk management guideline ISO3100, and ICS (Incident Command System).</p> <p>Class Schedule</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction : Terms and Basic Ideas 2. Disaster Mechanism : Hazard, Vulnerability, and Disaster 3. Crisis Management (1) : Challenges at disaster response from Japanese Disaster Cases 4. Crisis Management (2) : Leadership and Organizational Structure 5. Crisis Management (3) : Space, Plan, and Exercise 6. Crisis Management (4) : Collaboration and ICS 7. Risk Management 8. Wrap up and Review Examination 		
Textbooks	Not required		
Reference materials	Introduced during the class		
Grading	Review Examination 50 percent, Assignment Report 50 percent		
Cautions and prerequisites	Not required		
Notes	Not required		

Class title	Environmental Disaster Studies I 環境防災学 I	Section	Required elective
Class code	1104	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	2, biennially
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructor	Makoto Omura	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	omura@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> Students use extensive knowledge of earth sciences and acquire the basic academic grounding necessary for addressing regional development, conservation, and environmental problems and the basic ability to apply this to solving problems in a wide range of settings. <u>Attainment targets</u> Students learn about the relationship between disaster occurrence and natural and urban environments and can propose local disaster mitigation methods, approaches to post-disaster reconstruction plans, and methods of implementation.		
Class description	<u>Aims</u> Focusing primarily on natural disasters, students develop an understanding of the properties of hazards, external forces that cause disasters, and acquire empirical knowledge for ensuring that hazards do not develop into disasters. <u>Class plan</u> (8 lectures) Students primarily examine urban environments in Japan through examples of natural disasters facing disaster nursing in the near future, and study examples of disasters caused by Earthquake and Tsunami (collapse and fire-damage of buildings, foundation damage etc.), furthermore, weather disaster, flood, landslide and others. In addition, students consider the response in society of declining birthrate and aging population to the Nankai great earthquake and the earthquake beneath the Tokyo metropolitan area, which introduce many kinds of disasters simultaneously.		
Textbooks	Materials will be provided online where required.		
Reference materials	Not required		
Grading	Comprehensive evaluation of class participation and reports.		
Cautions and prerequisites	Please make advance those who required sensitivity to watch visual materials.		
Notes	Not required		

Class title	Environmental Disaster Studies II 環境防災学Ⅱ	Section	Elective
Class code	1105	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	2, biennially
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Akihiko Kondoh	Affiliation	Chiba University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	kondoh@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u> Students use extensive knowledge of geography and acquire the basic academic grounding necessary for addressing regional development, conservation, and environmental problems and the basic ability to apply this to solving problems in a wide range of settings.</p> <p><u>Attainment targets</u> Students learn about the relationship between disaster occurrence and natural and social environments and can propose local disaster mitigation methods, approaches to post-disaster reconstruction plans, and methods of implementation.</p>		
Class description	<p>Aims Focusing primarily on natural disasters, students develop an understanding of the properties of hazards, external forces that cause disasters, and acquire empirical knowledge for ensuring that hazards do not develop into disasters.</p> <p>Class plan (8 lectures) Students learn about how to operate during disasters, policies regarding reconstruction plans, and preparations in times of non-disaster through past examples of disasters by understanding the mechanisms of disasters based on basic knowledge of hazards such as earthquakes and torrential rain and the geological features (factors) of each region.</p>		
Textbooks	Materials will be provided online where required.		
Reference materials	Not required		
Grading	Comprehensive evaluation of class participation and reports.		
Cautions and prerequisites	Not required		
Notes	Not required		

Class title	Global Health グローバルヘルス	Section	Elective
Class code	1106	Year of study	1-3
Credits	1	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Yoshiko Sasaki	Affiliation	Tokyo Medical and Dental University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> Understand and consider about the local/global health issues and obtain the ability to find the appropriate solution. <u>Attainment targets</u> Same as above		
Class description	1: Guidance 2 and 3: Global issues and actions -1 4 and 5: Global issues and actions -1 6 and 7: Global issues and actions -1 8: Discussion		
Textbooks	None		
Reference materials	Refer to Japanese page		
Grading	Commitment to the class: active questions and discussions: 50% Discussion in the last class (Policy recommendation): 50%		
Cautions and prerequisites	Active commitment to the class is strongly required.		
Notes	This course will not be offered in 2020		

Class title	Disaster related law and policies 災害法制度と政策論	Section	Elective
Class code	1107	Year of study	1-3
Credits	1	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Yoshiko Sasaki, Masayo Kashiwagi Tomoko Komagata, Keiko Yamamoto, Shun-ichiro Kurita, Manami Takamatsu Tadashi Okamoto	Affiliation	Tokyo Medical and Dental University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> Understand Japanese healthcare policies and systems and disaster-related laws, and acquire the ability to propose solutions to disaster preparedness or response issues. <u>Attainment targets</u> Understand Japanese healthcare policies and systems. Understand disaster-related laws. Consider specific measures for policy proposals for solving disaster countermeasures and responses.		
Class description	1: Guidance (Yoshiko Sasaki) 2: Nursing Policy in Japan (Keiko Yamamoto, Tomoko Komagata) 3 and 4: Health Policies-1 (Shun-ichiro Kurita) 5 and 6: Health Policies-2 (Manami Takamatsu) 7 : Disaster related law (Tadashi Okamoto) 8: Presentations and discussions for policy proposals (Masayo Kashiwagi, Yoshiko Sasaki)		
Textbooks	None		
Reference materials	None		
Grading	Commitment to the class: active questions and discussions; 60% Response sheets; 40%		
Cautions and prerequisites	Active commitment to the class is strongly required.		
Notes	None		

Class title	Interprofessional Collaboration and Practice Theory 専門職連携実践論	Section	Elective
Class code	1108	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	1, intensive
Instructors	Ikuko Sakai Narumi Ide Izumi Usui	Affiliation	Graduate School of Nursing, Chiba University
Office hours / location		Contact details	ikusakai@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>Students can discuss about the collaborative practices of organizations, strategies adopted, challenges, and solutions and understand the basic knowledge and skills necessary for making improvements.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Students understand the attitude that values IPW (Interprofessional work) and respects the opinions and points of view of other profession. Students understand the roles and relationships of various professions and the current state of collaborative efforts from national to local level. Students understand strategies and theoretical models for improving collaboration. Students understand the skills necessary for distinguishing collaborative initiatives requiring improvement in other occupations and their own organization and designing and implementing improvement plans. Students understand the skills necessary for selecting, implementing, and revising joint strategies involving multiple organizations that correspond to specific care situations 		
Class description	<p>Aims</p> <p>The class aims to review the concepts, types and theoretical frameworks of IPW. In addition, the class explores educational intervention, practical intervention, and organizational management for improving IPW (Interprofessional Work) and reviews methods for evaluating team performance.</p> <p>Class plan</p> <ul style="list-style-type: none"> Orientation IPW and IPE(Interprofessional Education) fundamental knowledge and theory, its development history and social background Understanding Interprofessional competence, Development of educational program Conflict analysis and resolution Team building and team management and evaluation Management of conferences for effective decision-making Principles of cooperation between organizations and multi-institutional collaboration in various phases of disaster Reflection, Summary, Q & A 		
Textbooks	A reading list will be provided before the class begins.		
Reference	A reading list will be provided before the class begins.		

materials	
Grading	Participation in lectures: 60% (Students are evaluated on how well they apply their independent study by actively speaking in lectures.) Final report: 40% (Report topic: Self-evaluation of practical professional collaboration capacity and future challenges)
Cautions and prerequisites	Students who intend to take Disaster Professional Collaboration are encouraged to take this class
Notes	Not required

Class title	Disaster Professional Collaboration Exercise (Disaster IP Exercise) 災害時専門職連携演習（災害 IP 演習）	Section	Elective
Class code	1109	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	2
Class type	Seminar	Mode of instruction	Face-to-face
Instructors	Ikuko Sakai, Akihiko Kondo Yutaka Iwasaki Narumi Ide Izumi Usui	Affiliation	Graduate School of Nursing, Center for Environmental Remote Sensing, Graduate School of Horticulture Graduate School of Nursing Graduate School of Nursing Chiba University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	ikusakai@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>Students develop the ability to practice professional collaboration focusing on disaster victims in accordance with the types and dimensions of disasters.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Students can understand the forms of IPW (interprofessional work) necessary for the various types and dimensions of disasters based on theory and knowledge of professional collaboration. Students understand the attitudes and communication skills necessary when practicing professional collaboration during disasters and can identify issues that they themselves face when actually implementing these practices. Students understand the abilities needed to conduct interorganizational negotiations and construct and manage collaborative practices in their own organization. In addition, students can evaluate and improve these practices and implement them in simulations. 		
Class description	<p><u>Aims</u></p> <p>Students develop the ability to practice IPW by acquiring attitudes, knowledge, thinking skills, and the ability to take action in accordance with the types and dimensions of disasters. In response to the various issues that occur in the period between a disaster and recovery, graduate students with different specialties form interdisciplinary teams and aim to improve their IP practice capacity through practical classes in which they collaborate professionally and produce results under the supervision of cooperative instructors with different specialist fields.</p> <p><u>Class plan</u></p> <p>Students actually collect the necessary data for conducting multi-faceted data analysis for each disaster phase from A; acute phase and B; the recover stage. Students perform the scenario based simulation for each phases of disaster and receive feedback from faculty members and Collaborators in debriefing session. Students clarify issues for interprofessional collaborative</p>		

	<p>competency focus on the disaster victims and improving their own IP practice competence and the performance of their affiliated organization and team when administering disaster support via reflection.</p> <p>Day1 Seminar orientation, understanding of disaster, and Simulation with Scenario A</p> <p>Day2 Simulation with Scenario A and debriefing, management of workshop</p> <p>Day3 Simulation with Scenario B and over all debriefing</p>
Textbooks	Not required
Reference materials	Report form Jyoso city
Grading	<p>Address pre-assigned issues and submit worksheets: 20%,</p> <p>Exercise performance (Evaluation of task achievement and teamwork): 50%,</p> <p>and final reports: 20%</p>
Cautions and prerequisites	Students are encouraged to take this class in conjunction with Professional Collaboration and Practice Theory.
Notes	Not required

Class title	Disaster Medical Sciences 災害医療学	Section	Elective
Class code	1110	Year of study	1・2・3
Credits	2 (15times)	Semester	1
Class type	lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Toshiko Ikeda Yoshikazu Maruyama ¹⁾ Munehiro Hayashi ¹⁾ Kiyotaka Yasui ²⁾ other	Affiliation	Japanese Red Cross College of Nursing Guest lecturer 1)Japanese Red Cross Medical Center 2)Fukushima Medical University
Office hours / location	E-mailing	Contact details	Toshiko Ikeda t-ikeda@redcross.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> To learn basic abilities to apply in disaster medical systems of diverse disasters, and medical knowledge to address disaster medical activities. <u>Attainment targets</u> 1. Understand the context of disaster medical science and disaster nursing, including Cooperation. 2. Be able to explain different kinds of disasters, disaster cycle, and necessary knowledge to medical activities associated with the disaster site. 3. To understand the role of disaster medical coordinator and develop nursing coordinator methods. 4. Understand the basics of pathology and treatment of disaster surgery 5. Understand the basics of pathology and treatment of radiation medicine, correspondence to inhabitants, nursing care 6. Understand the background and pathology of disaster-related deaths and their preventive measures.		
Class description	<u>Overview</u> Further deepen the basic knowledge of disaster medical activities. Cultivate the practical ability to be able to exercise a role as a leader from the nursing perspective at scenes of the disaster medical activities <u>Class plan</u> 1. Disaster Medical Science orientation, Issues and measures through medical/health support activities for large-scale disasters 2. Critical illness and emergency surgery during disaster 3. Understanding public health from a global perspective: From a comprehensive community care system 4. Finding and responding to medical needs by visiting clinics in the affected areas 5. Characteristics and structure of disaster medical activity sites, disease structure by disaster type, disaster cycle and disease structure associated with disaster sites 6. Mechanisms of disaster-related illness: relation to evacuation life, differences between evacuation centers and temporary housing 7. 3T for disaster medical care (START method, medical triage, transport triage) 8. Affected people and disaster-related deaths legal meanings, comparison of various disasters 9. Examination of priority by simulation CSCA mechanism supporting 3T		

	10. Prevention of disaster-related death, cooperation with nursing and nursing care 11. Disaster Medical coordinator role and challenges 12. Concepts and basics of radiation medical treatment, activities in the Great East Japan Earthquake, residents' response 13. Simulation: CSCA3T medical response in localized and large-scale disasters 14. Ideal way of nursing in medical treatment in of radiation exposure acute phase 15. Summary
Textbooks	Not specified. Planning to distribute class-related materials in advance.
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災 石巻災害医療の全記録：石井正，ブルーバックス，2012. ・ 第3版 MIMMS 大事故災害への医療対応：MIMMS 日本委員会訳，永井書店，2012. ・ 災害医学：山本保博等,NPO 災害人道医療支援会,2011. ・ 基礎からわかる被曝医療ガイド：箱崎幸也等，日経メディカル開発，2011. ・ 低線量・内部被曝の危険性：編医療問題研究会，プライム，2011. ・ 東日本大震災 医療と介護に何が起こったのか／震災関連死を減らすために：上田耕蔵,萌文社,2012. ・ お前らもはよ逃げてくれ、阪神淡路大震災 神戸医療生協の活動記録：神戸医療生活協同組合編（ネット上で公開）
Grading	Written test or assignment report from each lecturer, attitude to participation in class Etc. to evaluate comprehensively.
Cautions and prerequisites	□ While it is omnibus class, along with the characteristics of each course contents, students Should capture the overall picture of disaster medical science. Participate actively in Simulations and exercises.
Notes	<ul style="list-style-type: none"> ・ It will not be held in FY 2019, which is a biennial course. ・ Please read several books reporting true stories related to the disaster medical activities. On a daily basis, collect information from the media (newspaper and website, through TV, etc.) about types of disasters, the magnitude of the damage, victims, actuality of medical relief activities. ・ There is a possibility of changing depending on the opening year. Also, due to lecturer's circumstances, the day of the class may change.

Class title	Disaster Psychology 災害心理学	Section	Elective
Class code	1111	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Yoshiki Tominaga	Affiliation	Graduate School of Disaster Resilience Governance
Office hours / location		Contact details	tominagayoshiki@gmail.com
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> The purposes of this lecture are to study stress reactions and stress related disorders after disaster, and to learn psychological care and counseling to help victims and helpers after disaster.. <u>Attainment targets</u> <ol style="list-style-type: none"> 1. To learn victim's and helper's stress reactions and stress related disorders after disaster. 2. To learn victim's and helper's stress management after disaster. 3. To learn the combination of disaster preparedness and psychological care. 		
Class description	<ol style="list-style-type: none"> 1. Victim's stress reactions and stress related disorders; The recovery factors and risk factors. 2. Relaxation methods as self-care; progressive relaxation, Dohsa-hou, autogenic training and positive self-message. 3. Psychological assessment; CAPS・IES-R・Stress checklist for psycho-education. 4. Trauma focused cognitive behavior therapy and the triangle of cognition. 5. Bonding work, active listening and compassion. 6. Secondary traumatic stress and posttraumatic growth for helpers 7. The combination of disaster preparedness and psychological care. 8. PFA (Psychological First Aid) and the three stages model after disaster 		
Textbooks	Saigai Jiken Go no Kodomo no Shinri Sien (Sogensya) Psychological support for children after disaster and affairs.		
Reference materials	Tominaga,etal.2019 Secondary trauma and posttraumatic growth among mental health clinicians involved in disaster relief activities following the 2011 Tohoku earthquake and tsunami in Japan. Counselling Psychology Quarterly.		
Grading	Report(80%)、Active Attitude(20%)		
Cautions and prerequisites			
Notes			

Class title	Disaster and Culture 災害と文化	Section	Elective
Class code	1112	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture, fieldwork	Mode of instruction	Sessions 1 - 8: Distance learning (Sessions 6 - 8: Face-to-face class is selectable)
Instructors	Harue Masaki ¹⁾ Yutaka Iwasaki ²⁾ Yuki Mochizuki ³⁾	Affiliation	1) Graduate School of Nursing, Chiba University 2) Graduate School of Horticulture, Chiba University 3) Tohto University, Human Care Department
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	hmasaki@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> First, to understand the significance of cultural perspectives at disaster support and to improve their cultural sensitivity. Second, to survey relevant concepts and theories, and deliberate the cultural approach through practical examples. <u>Attainment targets</u> To develop the cultural perspectives and sensitivity necessary to disaster support. To practice the appropriate care and communication considering the culture of the disaster area.		
Class description	Omnibus course (Harue Masaki : 3 sessions, Yuki Mochizuki : 2 sessions, Yutaka Iwasaki : 3 sessions) Distance learning 1) Foundations of Cultural Care in Disaster Nursing 2) Cultural nursing and care 3) Basic Concept of Culture in Disaster Nursing 4) Methods of Cultural Care through Practice Examples (1) 5) Methods of Cultural Care through Practice Examples (2) Distance learning (Face-to-face class is selectable) 6) Methods of Administering Care Using the Natural Features and Culture of the Disaster Area as a Tool 7) Fieldwork Using Plants as Communication Tools 8) Regional hands-on cultural learning experiences through plants.		
Textbooks	Not required		
Reference materials	・ Christie W. Kiefer, Doing Health Anthropology: Research Methods for Community Assessment and Change, 2006, Springer Pub Co; ・ Madeleine M. Leininger, Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing, 2001, Jones & Bartlett Pub		

Grading	Comprehensive evaluation of class participation, presentations, and reports
Cautions and prerequisites	Herbs used in the Lecture 7-8 will be cultivated by each student.
Notes	Sessions 6 - 8: Face-to-face class is selectable

Class title	Disaster Social Welfare 災害社会福祉学	Section	Selective
Class code	1113	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	1, biennially
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning & Intensive classes
Instructors	Yoshiteru Murosaki	Affiliation	University of Hyogo, Graduate School of Disaster Resilience and Governance
Office hours / location	Advanced inquire by email	Contact details	c/o nakaie@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	After gaining an understanding of the structure and characteristics of disasters, students develop a specific understanding of the approaches and measures for damage reduction based on these according to the disaster cycle of preparedness, emergency response, and recovery. In particular, students examine fields such as social welfare, disaster nursing, and livelihood protection and consider their ideal state in relation to disaster mitigation.		
Class description	<p>I. Theory of Disasters: Students learn about the structure and characteristics of disasters by considering examples.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Examples and Classification of Disasters 2. Structure and Characteristics of Disasters <p>II. Introduction to Disaster Prevention: Students grasp the overall picture of disaster prevention strategies and systems.</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Learning about Disaster Prevention from Catastrophes 4. Basic Frameworks for Disaster Prevention 5. Approach to Disaster Mitigation and Its Implementation <p>III. Theory of Disaster Prevention: Students learn about prevention measures for different types and stages of disasters</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. Disaster Response and Social Welfare 7. Emergency Response and Disaster Nursing 8. Reconstruction and Livelihood Support <p>IV. Disaster Welfare Theory: Students learn about welfare from the perspective of disaster mitigation.</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. Protecting Lives and Livelihoods through Welfare 10. Disaster Welfare for Persons in Need of Support 11. Life Revival and Disaster Welfare 12. Disaster Welfare and Disaster Nursing 13. Disaster Welfare and Related Laws <p>V. Summary</p>		
Textbooks	None		
Reference materials	メディカ出版「災害の統合と実践③災害看護」		
Grading	Submission of report		
Cautions and prerequisites	Learn disaster cases well.		
Notes	None		

Class title	Professional Writing	Section	Required elective
Class code	1114	Year of study	2
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructor	Hyeon Ju Lee	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	Appointments <u>upon request</u>	Contact details	lee_hyeonju@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p>1) Students will learn how to write paragraphs, research papers, and abstracts in English for academic/professional purposes. Students will gain skills to differentiate academic writing from everyday English expressions and put the skills to practice in written communication.</p> <p>2) Students will gain the technical knowledge related to nursing research writing style, and the “Disaster Lexicology” (main technical terms in use in disaster/humanitarian field) and methodology.</p>		
Class description	<p>Writing is an essential element of academia. Particularly for those who are interested in global/international collaboration/career/engagement, it is essential to be well versed in professional/academic English. The demands for English writing has heightened in recent years due to increased use of electronic communication technology and increased necessity to engage internationally in academic activities by publishing and exchanging ideas in writing. Thus it is crucial for graduate/doctoral students to be fluent in academic English expressions to perform excellence in the field of global disaster nursing. This course offers the basic tools for creating well-versed expressions and critical thinking for formulating ideas for writing.</p> <p>The course includes lessons on the following topics:</p> <p>Week 1: Writing process (7 steps to writing)</p> <p>Week 2: Semantics, vocabulary, and phrases in academic English writing</p> <p>Week 3: Effective sentences</p> <p>Week 4: Syntax: Technical tools for writing (1)</p> <p>Week 5: Syntax: Technical tools for writing (2)</p> <p>Week 6: Understanding and writing paragraphs</p> <p>Week 7: Structure of a research paper (1)</p> <p>Week 8: Structure of a research paper (2)</p> <p>Week 9: Transition and connecting expressions</p> <p>Week 10: How to write a research proposal (1)</p> <p>Week 11: How to write a research proposal (2)</p> <p>Week 12: Writing summary</p> <p>Week 13: Writing abstract, part 1</p> <p>Week 14: Writing abstract, part 2</p> <p>Week 15: How to create a curriculum vitae</p>		
Textbooks	1) Swales, J. and C. Feak. 2004. Academic Writing for Graduate Students. Michigan University Press;		

	2) Bailey. S. 2001. Academic Writing: A Handbook for International Students. London and New York: Routledge.
Reference materials	1) Glenn and Grey. 2012. The Hodges Harbrace Handbook. International Edition. Heinle. 2) Roget's 21st Century Thesaurus, 3rd Edition. Princeton Language Institute. 3) Oxford Learner's Dictionary of Academic English.2014. Oxford University Press.
Grading	Assessments criteria: written assignments and in-class performance.
Cautions and prerequisites	Students are required to know how to write sentences in English. Students are expected to know how to type in English in order to participate in-class discussion and complete assignments. All assignments must be submitted by specified deadlines. No late submissions are accepted.
Notes	Course materials and contents are open to changes. The language of instruction for this class is English with some Japanese explanations, when necessary.

Class title	Proposal Writing (Research proposal writing skill)	Section	Elective
Class code	1115	Year of study	1-3
Credits	1	Semester	1
Class type	Seminar	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Akiko Kondo Rebecca Carlson Katharina Ropes Mabel C. Ezeonwu Ann L. Eckhardt	Affiliation	Tokyo Medical and Dental University Tokyo Medical and Dental University St Luke's International University University of Washington School of Nursing, Illinois Wesleyan University
Office hours / location	Anytime by appointment	Contact details	akondo.ind@tmd.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>Students will learn doctoral dissertation writing skills including the components and specialized terminologies used in research proposals. Students will critique actual research proposals and practice writing proposals in English, and deepen their contents through presentation and discussion, aiming to acquire practical English composition skills.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Students will understand composition of research proposals to be submitted to professionals and non-professionals. • Students will learn how to conduct systematic review and summarize literature. • Students will learn about the system of US nursing research grants and the evaluation and grading method for research proposals. • Students will actually formulate a research proposal according to its components. 		
Class description	<p>【Lectures 1-3, 7,9-10】 Akiko Kondo Students will understand simple, clear methods of expression for effective composition of research proposals to be submitted to professionals and non-professionals. They will duly consider differences between academic and daily English expressions, with a view to international joint research with multi-disciplinary professionals in local communities and overseas. They will also learn how to critically read and write a research paper.</p> <p>【Lecture 4】 Rebecca Carlson Students will learn how to write a research proposal of qualitative research.</p> <p>【Lecture 5-6】 Katharina Ropes Students will learn how to conduct systematic review and summarize literature.</p> <p>【Lecture 8】 Mabel C. Ezeonwu Students will learn an example of qualitative international study.</p> <p>【Lecture 14】 Ann L. Eckhardt Students will learn about the system of US nursing research grants and the evaluation and grading method for research proposals. Examples of outstanding proposals and research products will be analyzed, and students will reinforce their understanding about the characteristics of outstanding proposals.</p> <p>【Lecture 11-13, 15】 Akiko Kondo / Ann L. Eckhardt (session 15) Students will actually formulate a research proposal according to its components: a proposal outline, grounds (literature review), a budget, ethical considerations, and expected results. They will present full-page research proposals, critique and discuss each other's proposals, and refine their contents.</p>		

	Contents	Instructors
1	Orientation, The way of presentation in English	Akiko Kondo
2	How to write a research proposal	Akiko Kondo
3	Example of research proposal, substruction	Akiko Kondo
4	How to write a research proposal of qualitative research	Rebecca Carlson
5-6	How to conduct a systematic review	Katharina Ropes
7	How to write a research paper, points of writing a manuscript, example of published paper	Akiko Kondo
8	Example of a qualitative international study	Mabel C. Ezeonwu
9	Critique of a research paper	Akiko Kondo
10	Critique of a research paper	Akiko Kondo
11	Selection of study theme, background, purpose and significance	Akiko Kondo
12	Theoretical framework, Definition of terms, Study design, targeted subjects Method for data collection	Akiko Kondo
13	Data analysis, Expected results / Limitation of study / Ethical consideration	Akiko Kondo
14	The system of US nursing research grants and the evaluation and grading method for research proposals	Ann L. Eckhardt Akiko Kondo
15	Proposal presentation and discussion	Akiko Kondo Ann L. Eckhardt
Textbooks	Not required	
Reference materials	Elizabeth M. Torniquit, From Proposal to Publication: An Informal Guide to Writing about Nursing Research (Japanese translation), Igaku-Shoin, 2007	
Grading	Participation for discussion 30% Presentation 30% Final proposal 40%	
Cautions and prerequisites	Lecture, discussion, presentation, and proposal writing will be done basically all in English. It is necessary for students to have oral conversation and writing skills in English. Please submit 1page essay about the motivation of yours to take this class beforehand. It is desirable for students to have a specific research theme in order to complete a research proposal, but they can create an imaginary proposal.	
Notes	Order and contents of classes can be changed.	

Class title	Program Writing (Program proposal writing skill)	Section	Elective
Class code	1116	Year of study	1・2・3
Credits	1	Semester	2
Class type	Seminar	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Ryoma Kayano ¹⁾ Sonoe Mashino ²⁾	Affiliation	1) WHO Centre For Health Development 2) University of Hyogo
Office hours / location	appointments	Contact details	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>New and innovative programs are developed in majority of organizations through formal handling of thoroughly thought out proposals. Healthcare professionals are required to own the knowledge and skills to develop programs and to create proposals necessary for improvements and expansion of their practice.</p> <p>The course focuses on writing proposals as well as on understanding of program development using actual examples of research procedures in the field of disaster-health emergency risk management by global organizations such as WHO.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ol style="list-style-type: none"> Students will be able to understand program development and proposal writing Students will be able to make a proposal on specific assignments 		
Class description	<p>The course is proceeded with lecture (including group discussion), assignments and presentation /discussion by the students.</p> <p><Lecture></p> <ol style="list-style-type: none"> Framework of international health emergency risk management and program development Difference in the need for program development depending on disaster phase Concepts of program development and proposal writing Proposal writing : Fundamental steps Proposal writing : Keys to success <p><Assignments></p> <p>Making a proposal on your own topic</p> <p><Presentation and Feedback></p> <p>Sharing of proposals and the feedback necessary for better results</p>		
Textbooks	No specification		
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> WHO. International Health Regulation, 2005 https://apps.who.int/iris/rest/bitstreams/1031116/retrieve WHOWPRO. Asia Pacific strategy for emerging diseases and public health emergencies (APSED III), 2017 http://iris.wpro.who.int/handle/10665.1/13654 WHO. Health Emergency and Disaster Risk Management Framework, 2019. 		

	https://www.who.int/hac/techguidance/preparedness/health-emergency-and-disaster-risk-management-framework-eng.pdf?ua=1
Grading	Students will be evaluated comprehensively by their participation in group discussions and qualities of assignments and presentation
Cautions and prerequisites	None
Notes	

Class title	Introduction to Disaster Nursing 災害看護学総論	Section	Elective
Class code	1201	Year of study	1
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Sonoe Mashino	Affiliation	University of Hyogo
Office hours / location	Appointment base	Contact details	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives:</u> This class is designed to introduce core concepts and ideas related to the practice and research of disaster nursing and to illustrate the overall picture of disaster nursing. While looking at the historical background related to disaster nursing and disaster risk management, we aim to cultivate a foundation that covers a wide range of concepts and concepts, including related fields, and allows students to broaden their interests and deepen their understanding.</p> <p><u>Attainment targets:</u> At the completion of this class, Students will be able to:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Explain key concepts related to disaster nursing 2. Explain the major systems, institutions and global trends related to disaster risk management. 3. Explain the domestic disaster response mechanism, the response framework in the health care field, and the trend of disaster nursing. 4. Evaluate own competency and leadership and identify own challenge for developing competency and leadership capacity. 		
Class description	<p><u>Agenda:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation & Introduction 2. Disaster and Humanitarian Issues (1) : definition and classification of disasters 3. Disaster and Humanitarian Issues (2) : Issues and challenges arise 4. Human Security 5. Disaster Risk Management (1): Fundamental concepts (Risk, Exposure, Vulnerability, etc) 6. Disaster Risk Management (2): Incident Command System, etc. 7. Disaster Risk Management (3): Sendai Framework, SDGs, UHC 8. Disaster Risk Management (4): Global framework for DRR, relative organizations 9. Disaster Response in Japan(1): Overall structure, system 10. Disaster Response in Japan(2): Health Sector 11. Disaster Response in Japan(3): Nursing in Disaster 12. Disaster Nursing Core Competencies 13. Leadership in Disaster (1) 14. Leadership in Disaster (2) 15. Summary 		
Textbooks	None		
Reference materials	Introduced as required		
Grading	Attendance on class discussion 30%, presentation 50% and final report 20%		
Cautions and	None		

prerequisites	
Notes	The class schedule may be changed.

Class title	Disaster Nursing Activity I 災害看護活動論 I（急性期）	Section	Elective
Class code	1202	Year of study	1
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Yoshiko Sasaki ¹⁾ Yasuhiro Ootomo ¹⁾ Yuki Takamura ²⁾ Yoshiko Fukushima ³⁾	Affiliation	1) Tokyo Medical and Dental University 2) Tokyo Medical and Dental University Medical Hospital 3) Tokyo Healthcare University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>Students will become familiar with the following features: disaster risk reduction in the seismic quiescence, the principles and the activities of medical, nursing, and healthcare in the super-acute to the semi-acute disaster stage. Especially, they will learn roles of nursing in characteristic medical response, support for evacuees and people who cannot return home, care for the disaster victims and their families in the acute outbreak stage.</p> <p>They will also learn the industry-university-government cooperative activity and the roles of nursing for collaboration.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To understand the characteristic (including the structure of injured people classified by disaster type) and the principal of the correspondence of major natural disaster and specific disaster from the seismic quiescence to the semi-acute disaster stage. 2. To understand the overview of emergency medical activity and nurse's role in specific disaster situation. 3. To understand the role of medical institute required to accept patients and offer a space for evacuation despite it being a damaged facility 4. To understand the disaster site, medical problems of evacuees and life support in evacuation center, and a system of cooperation with community medicine. 		
Class description	<p>【Lecture1】 Yoshiko Sasaki</p> <ul style="list-style-type: none"> • Orientation • Definition of the disaster, the classification of major natural disaster and the specific disaster, and the outbreak situation of the disaster at home and abroad. • The feature of disease structure of injured people classified by the disaster type in an acute to semi-acute phase, and medical problems and effects on the lives that were brought to disaster victims and supportive people. <p>【Lecture2】 Yoshiko Sasaki</p> <ul style="list-style-type: none"> • Definition of the disaster nursing, the history and the national policy change on a disaster and the disaster nursing • Role of the nurse along the disaster cycle and competency necessary for nursing activity <p>【Lecture3】 Yoshiko Sasaki</p> <ul style="list-style-type: none"> • The principals of the disaster response (e.g. Disaster risk reduction, acute medicine and care, and public health) in the acute to the semi-acute disaster phase of major natural disaster and 		

Class description	<p>specific disaster.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Basic concepts of the disaster prevention measures against large-scale disasters in big cities during the disaster preparation period, efforts of industry, government and academia, and expected role in nursing . <p>【Lecture4-5】 ※During adjustment</p> <ul style="list-style-type: none"> • Nursing activity in the acute phase of a domestic disaster, and nursing activity in the acute phase of a disaster in an overseas intercultural environment. <p>【Lecture 6 】 ※During adjustment</p> <ul style="list-style-type: none"> • Infectious diseases and countermeasures in the acute to subacute phase of disaster <p>【Lectures7-8】 Yasuhiro Ootomo</p> <ul style="list-style-type: none"> • Overview of the disaster medical system at home and abroad. (The activities of international disaster relief teams, and domestic disaster medical assistance team.) <p>【Lectures9-10】 Yasuhiro Ootomo</p> <ul style="list-style-type: none"> • Overview of relevant Nuclear-Biological-Chemical disasters, and the medical activities in hospitals.(mainly on a chemical disaster). <p>【Lectures11-12】 Yuki Takamura</p> <ul style="list-style-type: none"> • Medical team activity and the nursing role in a disaster situation at home and abroad (e.g.in the JDR and the DMAT activity). <p>【Lectures13-14】 Yoshiko Fukushima</p> <ul style="list-style-type: none"> • The principles of the medical and the nursing activities in nuclear and radiation disaster. <p>【Lecture15】 Yoshiko Sasaki</p> <ul style="list-style-type: none"> • Health problems that disasters bring to people with chronic disease, mothers and children, elderly people and the support for them in the acute to the semi acute disaster phase.
Textbooks	Introduce in timely
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> • International disaster nursing / edited by Robert Powers and Elaine Daily ; Cambridge University Press, 2010.
Grading	Learning attitude 30%, assignment 70%
Cautions and prerequisites	When being required an assignment, each student should submit it on time.
Notes	The contents and schedules of lesson may change as needed.

Class title	Disaster Nursing Activity II (Subacute phase) 災害看護活動論 II (亜急性期)	Section	Elective
Class code	1203	Year of study	1
Credits	2 (15times)	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Toshiko Ikeda , Yumi Tamura , Kiyotaka Yasui ¹⁾ , etc	Affiliation	Japanese Red Cross College of Nursing 1) Fukushima Medical University
Office hours / location	E-mail	Contact details	Toshiko Ikeda t-ikeda@redcross.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>This subject focuses on the sub-acute phase and later restoration/reconstruction phase in the disaster management cycle. The objective is to understand the fundamental knowledge to nursing activities (including hospital disaster preparedness, regional disaster prevention, related legal system, etc.) based on public health, basic knowledge of nursing management theories (such as organizational theory and human resource utilization theory).</p> <p>Specifically learn about cooperation and collaboration systems with other organizations, etc., and understand the need for a social system and disaster-related legal and organizational system in Japan and overseas.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Learning the knowledge of the public health in the event of a disaster. • To understand the perspective of disaster management based on the fundamental knowledge of nursing management theory, such as human resources utilization theory. • To understand of the role of nursing leaders in a hospital and an affected area for risk reduction and disaster response, likely information management and related legal system, operation of set up a shelter and special support activities for evacuees/survivors needed. 		
Class description	<p><u>Overviews</u></p> <p>Public health perspectives are an important point of view in disaster nursing activities. Students are able to learn knowledge and skills that can be used for their inter-professional/agency collaborative activities.</p> <p><u>Class plan Omnibus</u></p> <p>1) Lecture Orientation, Outline of Nursing Activity in the Disaster Subacute Phase</p> <p>2)3) Public health in disaster response (Tamura)</p> <p>4) Shelters are evacuation centers, including evacuation center management and management (including legal system)</p> <p>5) Health assessment of people living in evacuation centers</p> <p>6) Support for people living in evacuation centers: Characteristics and care of persons requiring consideration during disasters</p> <p>7)8) Preparation of nursing staff to support disaster support activities and practical activity technique (Desk exercise)</p> <p>9)10) Support for moving from evacuation centers to various residences (role play for health consultation for evacuees)</p> <p>11)12) Initial response of leader nursing staff in disaster hospitals (BCP etc) *</p> <p>13)14) Cooperation and collaboration with other departments, other facilities, and other</p>		

	organizations related to regional disaster prevention (local nursing management)* 15) Summary
Textbooks	No specifying. Presenting related materials and hand-out during the lecture
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> • WHO : 「Framework for Action on Inter Professional Education & Collaborative Practice」 2010 • Tener Goodwin Veenema Editor: Disaster Nursing and Emergency Preparedness 3rd Edition, Springer Publishing Company, 2013. • Linda Young Landesmann :Public Health Managements of Disasters 3rd Edition: American Public Health Association, 2011. • IFRC: The John Hopkins and Red Cross Red Crescent Public health guide in Emergencies, 2nd.edi, 2008 • 小原真理子(監修), 齋藤正子 (編集), 板垣知佳子 (編集) : 災害看護: 心得ておきたい基本的な知識, 南山堂, 2019
Grading	Summative evaluation with class participation (10%) presentation (20%) and report (70%)
Cautions and prerequisites	<p>Basic knowledge of nursing management is required. Learning about prior tasks is important. Pre-learning assignments are presented during orientation.</p> <p>Active self-learning is required.</p>
Notes	<ul style="list-style-type: none"> • On a daily basis, peruse newspapers and websites, TV, etc., regarding reports of disaster situations, its size, victims, actual information about the relief activities, and strive to collect information. • Provide special information on the current status and issues of nursing practice at disaster sites through special lectures. • The order of lectures may be changed due to the special lecturer's (*) convenience.

Class title	Disaster Nursing Activity III (recovery and reconstruction phase) 災害看護活動論Ⅲ (復旧・復興)	Section	Elective
Class code	1204	Year of study	1
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Misako Miyazaki Naho Sato	Affiliation	Chiba University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	miyamisa@faculty.chiba-u.jp naho.sato@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<p>Objectives</p> <p>Identify health issues during the recovery and reconstruction phase of disasters that require a mid to long-term care and learn how to construct activity frameworks.</p> <p>Attainment targets</p> <p>1) Learn how to implement continuous assessment of health issues during the recovery and reconstruction phase in the community.</p> <p>2) Plan, implement, and evaluate required activities with locals and relevant groups (community stakeholders) and learn how to connect those activities to local support systems, culture generation, and community building.</p> <p>3) Study the role of the leader required in providing mid to long-term care for health issues during disasters.</p>		
Class description	<p>Students will learn how to implement continuous assessment of health issues during the recovery and reconstruction phase in the community as well as plan, implement, and evaluate activities from the standpoint of building organizations. The course will involve the combination of lecture and workshop for each unit.</p> <p>(Class 1 & 2) Basic Approach and Method to Nursing in Communities (Miyazaki)</p> <p>(Class 3 & 4) Method of Activities in Communities During Disasters (Regional Assessment and Planning) (Miyazaki)</p> <p>(Class 5 & 6) System and Management of Activities in Communities During Disasters (Miyazaki)</p> <p>(Class 7 & 8) Issues for People with Illness or Disability During Disasters (Sato)</p> <p>(Class 9 & 10) External Assistance During the Recovery and Reconstruction Phase -Role, function and acceptance the external assistance (Sato)</p> <p>(Class 11 & 12) Learning from Disaster Ethnography (Sato)</p> <p>(Class 13 & 14) Meaning & Tradition of Disaster Experiences (Miyazaki)</p> <p>(Class 15) Conclusion (Miyazaki & Sato)</p>		
Textbooks	None		
Reference materials	<p>宮崎美砂子、北山三津子、春山早苗、田村須賀子編集：最新公衆衛生学 総論.日本看護協会出版会、2014.</p> <p>ローレンス・W. グリーン、マーシャル・W. クロイター：実践ヘルスプロモーション—PRECEDE - PROCEED モデルによる企画と評価. Health Program Planning:</p>		

	<p>An Educational and Ecological Approach 4th ed. 2005. (翻訳版、医学書院) 日 本国際保健医療学会編集：国際保健医療学 第 3 版、杏林書院、2013.</p> <p>Other required references will be introduced every class.</p>
Grading	Response paper for every class (20%), workshop presentation & debate (20%), final report (60%)
Cautions and prerequisites	Students will be assigned with class preparation tasks and references. Make sure to come to class prepared.
Notes	None

Class title	Disaster Nursing Activity IV (Disaster Preparedness) 災害看護活動論Ⅳ（備え）	Section	Selective
Class code	1205	Year of study	1
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara Mari Kinoshita	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	Appointment as required by mail	Contact details	Yamada@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp Kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> To learn the building in manner of disaster nursing activity structure at ordinary times through defining prior preparatory activities which assume if disaster occurred regarding preparedness in the quiet interval of disaster cycle and collaborating with community, various facilities and local authority. <u>Attainment targets</u> To understand disaster countermeasures system and define preparatory activities in the quiet interval. To define and understand the structure of community, various facilities and local authority. To examine disaster nursing activity structure and what kind of preparatory activity should be taken with assuming a disaster.		
Class description	【Session 1】 Satoru Yamada, Sakiko Kanbara, Mari Kinoshita Orientation, preparedness in the quiet interval of disaster cycle 【Session 2, 3 and 4】 Satoru Yamada Disaster countermeasure system. The current situation and challenges collaborating with community, various facilities and local authority. 【Session 5 and 6】 Sakiko Kanbara Basic nursing activity to protect individual and family preparedness in disaster. 【Session 7 and 8】 Mari Kinoshita Nursing activity to protect individual and family preparedness sighted recovery period. 【Session 9 and 10】 Sakiko Kanbara Disaster nursing activity as ability of community disaster prevention 【Session 11 and 12】 Sakiko Kanbara Nursing activity as local preparedness sighted community rebuilding. 【Session 13 and 14】 Satoru Yamada Preparedness as disaster nursing relief activity 【Session 15】 Satoru Yamada, Sakiko Kanbara, Mari Kinoshita Presentation and discussion related an assignment.		
Textbooks	None		
Reference materials	Introduce in timely		
Grading	Comprehensive evaluation of participation in the class, presentation and reports.		
Cautions and prerequisites	None		

Notes	Examine through a position of community disaster prevention ability, nursing system and global issues.
-------	--

Class title	Theory in Disaster Nursing Global Coordination 災害看護グローバルコーディネーション論	Section	Elective
Class code	2206	Year of study	2
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Toshiko Ikeda, Makiko Noguchi , Yumi Tamura, etc	Affiliation	Japanese Red Cross College of Nursing
Office hours / location	e-mailing	Contact details	Toshiko Ikeda t-ikeda@redcross.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> <ul style="list-style-type: none"> • To learn the various treaties and humanitarian charters such as International Humanitarian Law (IHL), Convention and Protocol Relating to the Status of Refugees, and International Disaster Response Laws, Code of Conduct for International Red Cross and Red Crescent Movement and NGOs in Disaster Relief, Sphere Project etc., which are essential knowledge and skills when you will be deployed for the international relief activities. • To examine policies and activities of the international agencies active part in the event of a disaster, namely UN agencies, International Red Cross Movement, and International NGOs. • To consider the role required for global leader in connection with the coordination and cooperation with these international organizations. <u>Attainment targets</u> <ul style="list-style-type: none"> • Able to understand and utilize the fundamental frameworks for international relief activities, such as treaties, codes of conduct, and minimum standards. • Review the major actors of international relief so that you will be able to cooperate and collaborate with various agencies and organizations in time of a disaster. 		
Class description	<u>Lectures</u> To review the disaster management (DM) of UN agencies, International Red Cross/Red Crescent Movement and International NGOs To learn various conventions relating to victims and refugees, code of conduct and principles of relief activities and study "Continuum" of relief to development To learn in depth how to utilize treaties and norms in disaster management effectively. <u>Class plan</u> <ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation and overview on disaster nursing and global coordination Inter-agency Perspectives on large-scale disaster response * (Tamura) 2. UN & its Agencies and DM: OCHA, UNICEF, WFP, UNISDR, etc.* (Tamura) 3. International Red Cross/Red Crescent Movement (ICRC, NSs, IFRC), International NGOs (MSF, CARE, World Vision, Save the Children, etc.) and DM * (Tamura) 4. International humanitarian law and human rights law * 5. International Red Cross Code of Conduct and Cluster Approach * 6. Red Cross emergency relief: * 7. Red Cross's Approach to Health Issues (History: Alma-Ata Declaration-SDG's)*(Tamura) 8. Reflection and discussion *(Tamura) 9. Red Cross Development Cooperation * 10. Competencies and safety management required for international personnel * 		

	11. JICA Project Leaders (Noguchi) 12. 13. Learn from the actual activities of UN / Red Cross / International NGOs * 14. Reflection and discussion * (Tamura) 15. Summary * (Tamura)
Textbooks	Not required
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> • Alma Baccino-Astrada: Manual on the Rights and Duties of Medical Personnel in Armed Conflicts, 1982 • Sphere Project, 2018 (in preparation) • The Journal of Humanitarian Studies, Vol.1—IV, 2011-2015 • Web sites of International Red Cross Movement (ICRC / IFRC / Japanese Red Cross Society), UN agencies (UNHCR, UNICEF, WHO, OCHA, etc.) and the international NGOs (Save the Children, MSF, etc.) • Various documents such as Effective Negotiation and Influencing, Persuasive Negotiation, and Crisis Management • Related websites such as the Humanitarian Charter, International Humanitarian Law, the Universal Declaration of Human Rights, the Refugee Convention, etc.
Grading	Class Participation (10%), Presentation (50%), Written report (40%)
Cautions and prerequisites	Preliminary study on the subject is required as the related presentation(s) by the student(s) be made and followed by the lecturer's supplemental comments. Unit with a * is given by a special guest-lecturer
Notes	Lectures will be in biweekly in principle. Before lectures commence all participating students will have their respective tasks allocated. The order of lectures may be changed due to the special lecturer's (*) convenience.

Class title	Disaster Nursing Leadership and Management 災害看護リーダーシップ・管理論	Section	Elective
Class code	2207	Year of study	2
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara Mari Kinoshita	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	By e-mail	Contact details	yamada@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp Kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>To understand the disaster response system for ensuring the survivor's health and life. And learn multidisciplinary collaboration and the role of management and supervision towards the restoration and reconstruction, from the point of view as a disaster nursing global leader.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <p>Students will be able to consider disaster response system through disaster cycle to ensure survivor's the health and life and propose an action such as business continuity planning in health care.</p>		
Class description	<p>Understand importance of IPW (cooperation and cooperation of multidisciplinary) and the disaster response system, toward to ensuring the survivor's health and life just after the disaster as well as restoration and reconstruction, to learn about the role of management and supervision to how to the management resources to take advantage of human, goods, money, information, from the point of view of the disaster nursing a global leader.</p> <p>(Satoru Yamada / 6 class)</p> <p>Disaster Nursing leadership, management and supervision theory Introduction, Disaster Nursing global leader, IPW and team building, management theory</p> <p>(Sakiko Kanbara / 4 times)</p> <p>Basic and logic of health risk communication, and application to disaster practice、Fostering social capital and the role of leader</p> <p>(Mari Kinoshita / 3 classes)</p> <p>The idea of command and control in disaster. Exploring the application of coaching techniques to disaster nursing.</p> <p>(Satoru Yamada, Sakiko Kanbara, Mari Kinoshita/ 2 class) (Joint)</p> <p>Using the actual national and international cases, analyze the problem in the event of a disaster; consider the role of management and supervision, to create an action plan.</p>		
Textbooks	Necessary materials, distributed during lecture		
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林春男、危機対応標準化研究会、世界に通じる危機対応—ISO22320:2011(JIS Q22320:2013)社会セキュリティ - 緊急事態管理 - 危機対応に関する要求事項解説、日本規格協会 ・ 林春男、田村圭子、井ノ口宗成、牧紀男、組織の危機管理入門—リスクにどう立ち向えばいいのか、丸善 		
Grading	Comprehensive assessment including class participation or the report		
Cautions and prerequisites	We value active participation during the class.		
Notes	Not required		

Class title	Ethics in Disaster Nursing 災害看護倫理	Section	Elective
Class code	2208	Year of study	2
Credits	1	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Sonoe Mashino	Affiliation	University of Hyogo
Office hours / location	Appointment base	Contact details	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>To understand the current situation about the ethical issues that arise in connection with the disaster, to understand the experience of the people. Arising from the situation. We based on the principles of security of the person, to speculate how should respond nursing</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ol style="list-style-type: none"> Students will be able to explain ethical issues relating to disaster situations and what is the critical points to be discussed. Students will be able to state their own opinions on how to act as a nurse based on human security in the situation where people are encountered during a disaster. 		
Class description	<p>In this class, as the caregiver, to stimulate the ethical sensitivity to understand the experiences and the situation of the people. Therefore, class discussion will be encouraged based on the pre-class assignment.</p> <p><u>Agenda:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> Orientation: carry out a review of the basic principles of nursing ethics. Ethics and law at the time of the extraordinary incident. Support culture at the time of the ethical standards Ethical issues related to disaster(1) Ethical issues related to disaster(2) Events that may be ethical issues related to the disaster nursing Presentation about the ethical phenomenon in each of the focus areas(1) Presentation about the ethical phenomenon in each of the focus areas(2) 		
Textbooks	<p>Fry, TS and Johnstone, M-J. International Council of Nurses Ethics in Nursing Practice 3rd ed. (Chapter 10.) Blackwell, 2008.</p> <p>WHO. Ethics in epidemics, emergencies and disasters: research, surveillance and patient care, Training manual, WHO, 2015.</p>		
Reference materials	<p>Davis AJ. Ethics needed for disasters: before, during, and after, HEDN, 1, 11-18, 2014.</p> <p>Veenema, TG, Disaster Nursing and Emergency Preparedness for Chemical, Biological, and radiological Terrorism and Other Hazards, Forth Edition, Springer Publication, 2018.</p>		
Grading	Presentations and the final report		
Cautions and prerequisites	None		
Notes	None		

Class title	Building Disaster Nursing Theory 災害看護理論構築	Section	Elective
Class code	3209	Year of study	3
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture with class discussion	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Sonoe Mashino	Affiliation	University of Hyogo
Office hours / location	Appointment	Contact details	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u> Purpose of this class is for the students to inquire a theory and phenomena of their interest with their own thought.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.The students will describe the experience of the people and phenomena in their environment related disaster. 2. Through Theory Analysis, the students will analyse theory component. 3. The students will conduct concept clarification. 		
Class description	<p>The class will be modified and planned with discussion with students. Aiming the students will express their understanding with their own articulation, Concept clarification will be a part of Theory construction to clarify and describe the phenomena.</p> <p><u>Agenda</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation & Introduction <ul style="list-style-type: none"> : Course out line will be discussed with the students for adjustments. : Review own knowledge base of Theory Analysis 2-3. Discuss important phenomena at disaster time 4-7. Theory Development/Construction 8-15. Choosing the concept and making a theory (Student's presentation & discussion) 		
Textbooks	Meleis, AI (2017). Theoretical Nursing: Development and Progress Sixth Edition, Wolters Kluwer, ISBN/ISSN 9780060000424		
Reference materials	Will be posted at the start of the class.		
Grading	Class preparation, Presentation, Participation in the Class		
Cautions and prerequisites	Nursing Theory I & II		
Notes	None		

Class title	Internship I インターンシップ I	Section	Elective
Class code	1210	Year of study	1・2・3・4・5
Credits	5 (One credit from each University)	Semester	Full year
Class type	Practicum	Mode of instruction	Practicum training
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara Mari Kicnoshita Sonoe Mashino, Maki Umeda Mie Sasaki Yoshiko Sasaki, Tomoko Komagata Misako Miyazaki, Naho Sato Makiko Noguchi , Toshiko Ikeda	Affiliation	University of Kochi University of Hyogo Tokyo Medical and Dental University Chiba University Japanese Red Cross College of Nursing
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	e-mail address
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> To develop the view on research as well as particular practical skills from disaster nursing perspective in the actual site familiar to the disaster. <u>Attainment targets</u> <ul style="list-style-type: none"> • Students can understand the role of disaster nursing for individuals, family and community • Students can argue about issues which occurred on site from the disaster nursing standpoint. • Students can have their own concept of disaster nursing on site • Students can find out nursing issues on site and analyze and evaluate • Students can explain to stakeholders on site specific solution regarding issues they have addressed 		
Class description	<u>How to proceed</u> To select a place of activity where can focus on the health of individual, family and community for example evacuation shelter, preparedness of hospital, local authority or medical institutes etc. (Class proceeding) <ul style="list-style-type: none"> • Students discuss with an advisor about a topic/issue to work in this subject and decide a place for internship • To confirm possibility of acceptance and necessary proceeding by the host and have get approval from a Curriculum Steering Committee regarding to a teacher in charge and content of subject • To make a contract or necessary proceeding required by the host • To make an internship planning sheet (including learning objectives, content of learning and learning schedule etc.) and to get advice and guidance form teachers in charge from the host • Students should make a report and check among student, teachers and host after finish internship and to get approved by the Curriculum Steering Committee 		
Textbooks	Not required		
Reference materials	To be introduced according to student's interest.		
Grading	<ul style="list-style-type: none"> • Activity record and final report • Presentation of activity report 		

Cautions and prerequisites	Students should consider the contents of internship ahead of time due to take long time to arrange with the host. To work for the security management designated by affiliated university.
Notes	Student have to get approval by the Curriculum Steering Committee till a previous year of March as a registered subject in first semester or until September as a registered subject in second semester.

Class title	Internship II インターンシップ II	Section	Elective
Class code	1211	Year of study	1・2・3・4・5
Credits	5 (One credit from each University)	Semester	Full year
Class type	Practicum	Mode of instruction	Practicum training
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara Mari Kicnoshita Sonoe Mashino, Maki Umeda Mie Sasaki Yoshiko Sasaki, Tomoko Komagata Misako Miyazaki, Naho Sato Makiko Noguchi, Toshiko Ikeda	Affiliation	University of Kochi University of Hyogo Tokyo Medical and Dental University Chiba University Japanese Red Cross College of Nursing
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	e-mail address
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> To develop the view on research as well as particular practical skills from the perspective as global leader and integrate knowledge, techniques and position to use of learning until now <u>Attainment targets</u> <ul style="list-style-type: none"> • Students can understand the role of disaster nursing in the global society • Students can argue to solve issues for disaster mitigation from the disaster nursing standpoint • Students can have their own opinion about necessity and roles of global leaders on site • Students can analyze and examine global issues in practically • Students can explain specific solution and enforcement of policies relative to the issue which dealing with 		
Class description	<u>How to proceed</u> To select an organization or institution which related to disaster nursing activity internationally and interdisciplinary. Students take initiative and learn as practicum under the supervision of leaders on site. (Class proceeding) <ul style="list-style-type: none"> • Students discuss with an advisor about a topic/issue to work in this subject and decide a place for internship • To confirm possibility of acceptance and necessary proceeding by the host and have get approval from a Curriculum Steering Committee regarding to a teacher in charge and content of subject • To make a contract or necessary proceeding required by the host • To make an internship planning sheet (including learning objectives, content of learning and learning schedule etc.) and to get advice and guidance form teachers in charge from the host • While internship II is being conducted, receive guidance from the person in charge of the recipient and the supervisor. • Students should make a report and check among student, teachers and host after finish internship and to get approved by the Curriculum Steering Committee 		
Textbooks	Not required		
Reference materials	To be introduced according to student's interest.		

Grading	<ul style="list-style-type: none"> • Final report • Presentation of activity report held by 5 universities
Cautions and prerequisites	<p>Students should consider the contents of internship ahead of time due to take long time to arrange with the host.</p> <p>To work for the security management designated by affiliated university.</p>
Notes	<ul style="list-style-type: none"> • Students prepare an internship II plan, and after confirming and approving by their supervisor, submit it to the five-university joint curriculum management committee. • Students should immediately prepare a report after the completion of Internship II and submit it to the curriculum management committee after confirming it by the teacher in charge and the recipient.

Class title	Disaster Nursing Seminar A 災害看護ゼミナール A	Section	Elective
Class code	1301	Year of study	1・2・3
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara, Mari Kinoshita	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	Appointment as required	Contact details	Yamada@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp Kinoshita@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u> Students can do literature review, collect information obtained through field work etc. related own interested disaster nursing phenomenon. Then students can understand disaster nursing deeply through analyzing them and define and identify issues.</p> <p><u>Attainment targets</u> Students can collect various information phenomenon of disaster nursing particularly interested. Then students can understand disaster nursing deeply through analyzing them and define and identify issues.</p>		
Class description	<p>(Omnibus style/ 15 sessions)</p> <p>【Session 1】 Orientation, brainstorming interested phenomenon of disaster nursing</p> <p>【Session 2 - 5】 Literature review, collecting information</p> <p>【Session 6 - 9】 Literature review, analyzing information obtained through field work etc.</p> <p>【Session 10 - 13】 Defining issues and discuss countermeasures regarding disaster nursing</p> <p>【Session 14, 15】 Presentation related an assignment and discussion</p>		
Textbooks	None		
Reference materials	Introduce in timely		
Grading	Comprehensive evaluation of participation in the class, presentation and reports.		
Cautions and prerequisites	None		
Notes	Examine through a position of community disaster prevention ability, nursing system and global issues.		

Class title	Disaster Nursing Seminar B 災害看護ゼミナール B	Section	Elective
Class code	1302	Year of study	1・2・3
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Sonoe Mashino / Maki Umeda	Affiliation	University of Hyogo
Office hours / location	Appointment	Contact details	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp maki_umed@cnas.u-hyogo.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>This class is aiming for students to acquire knowledge and skills to promote evidence-based disaster-health emergency risk management and disaster nursing practice. Students will learn the fundamentals and cardinal methodologies of knowledge synthesis and discuss research agendas critical and urgent for improving disaster-health emergency risk management and disaster nursing practice.</p> <p><u>Learning goals</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Students will explain the characteristics of each of the typical review methods, how to proceed with the review, and their application. 2. Students will be able to logically state one's own thoughts/opinion on urgent research agendas in disaster-health emergency risk management and disaster nursing. 3. Students will be able to set appropriate research questions and explain search strategies for important research and practical issues in the field of disaster nursing. 		
Class description	<p><u>How the class is operated</u></p> <p>The class is proceeded with discussion based on pre- assignments.</p> <p><u>Agenda</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation and introduction Gathering evidences : various means of review 2. Turning questions into research themes : clarification of review keywords 3. General review method (1) : Systematic Review 4. Essentials of Systematic Review 5. Example of and examining Systematic Review (1) 6. Example of and examining Systematic Review (2) 7. General review method (2) : Meta-Syntheses 8. Example of and examining Meta-Syntheses 9. General review method (3) :Scoping Review/Mapping Review etc 10. Example of and examining Scoping Review 11. Giving critiques on review articles (1) 12. Giving critiques on review articles (2) 13. Research trends on disaster-health emergency risk management 14. Research trends on disaster nursing 15. Summary : towards post-assignment (review on your own theme) 		
Textbooks	No specification		
Reference materials	<p>♦ Grant MJ, Booth A. A typology of reviews: an analysis of 14 review types and associated methodologies. Health Information and Libraries Journal. 2009;</p>		

	<p>26(2):91-108.</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦ Aromataris E, Munn Z (Editors). Joanna Briggs Institute Reviewer's Manual. The Joanna Briggs Institute, 2017. Available from https://reviewersmanual.joannabriggs.org/ ♦ Holly, C., Salmond, S., Saimbert, M. Comprehensive Systematic Review for Advance Practice Nursing 2nd Ed., Springer. 2017.
Grading	Students will be evaluated comprehensively by their effort on Pre-assignments, class performance, and Post-assignment
Cautions and prerequisites	
Notes	<p>Reference sites:</p> <p>① Temple University Libraries https://guides.temple.edu/systematicreviews/systematicreviewservice</p> <p>② utmb Health, Moody Medical Library: Systematic Review: Overview https://guides.utmb.edu/sr</p> <p>③ Cochrane Training https://training.cochrane.org/</p>

Class title	Disaster Nursing Seminar C 災害看護ゼミナール C	Section	Elective
Class code	1303	Year of study	1・2・3
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning and face-to-face
Instructors	Yoshiko Sasaki ¹⁾ , Yoko Imazu ¹⁾ Takeo Fujiwara ¹⁾ 、 Koichi Nakakuki ¹⁾ 、 Yuzuru Kawashima ²⁾ 、 Yoshiko Fukushima ³⁾ 、 Atsuko Aurues ⁴⁾	Affiliation	1) Tokyo Medical and Dental University 2) National Disaster Medical Center 3) Tokyo Hearth Care University 4) International University of Hearth and Welfare
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> 1. Students will understand causes, occurrence mechanisms of major disaster, the records and agendas of medical and nursing activities of the past disaster, the relief system and the low, and the current situation of preparation for new disaster. 2. Students will also engage to critique an English articles and make presentation along to themes they selected. 3. Students will also engage in simulation and workshop using hypothetical cases; they will examine, through nursing assessment, medical relief in disaster areas, and nursing support activity and then consider to a nursing reader's role in each situation. <u>Attainment targets</u> 1. To understand the principle of medical activities in a disaster acute phase, and the nurse's role in the team medication. 2. To pursue knowledge and skills required for medical aids in disaster areas. 3. To acquire an ability to consider necessary support contents (including the policy recommendation).		
Class description	【Seminars1】 Yoshiko Sasaki ・ Orientation, confirmation of themes, and planning of learning schedules. 【Seminars 2・3】 Yoshiko Sasaki and Yoko Imazu ・ Medical activities for the critically injured disaster victim; Second assessment, reaction to a sudden change in the victim, supporting for distant delivery of patients. 【Seminars 4・5】 Takeo Fujiwara ・ Public Health Activities in disaster setting: Social Epidemiological Approach 【Seminars 6・7】 Yuzuru Kawashima ・ Psychological response of survivors (including children) and bereaved families and mental care to them ・ Psychological response of disaster supporters and mental care to them (Workshop／Distance class by TV) 【Seminars 8・9】 Atsuko Aurues ・ Management of nursing activities on international disaster support activity 【Seminars10・11】 Koichi Nakakuki ・ Dental health at the time of disasters 【Seminars 12・13】 Yoshiko Fukushima		

	<ul style="list-style-type: none"> • Medical correspondence to a person with urgent radiation exposure in the radiation disaster 【Seminar15】 Yoshiko Sasaki and Yoko Imazu • Discussion and feedback.
Textbooks	Introduce in timely
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> • International disaster nursing / edited by Robert Powers and Elaine Daily; Cambridge University Press, 2010.
Grading	Learning attitude 60%, presentation 20%, reports 20%
Cautions and prerequisites	For Simulation, each student should be set one's own objective according to his/her readiness.
Notes	The contents and schedules of lesson may change as needed.

Class title	Disaster Nursing Seminar D 災害看護ゼミナール D	Section	Elective
Class code	1304	Year of study	1・2・3
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Face-to-face, Distance learning
Instructors	Misako Miyazaki Naho Sato	Affiliation	Chiba University
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	miyamisa@faculty.chiba-u.jp naho.sato@faculty.chiba-u.jp
Class objectives and attainment targets	<p>Objectives</p> <p>Global disaster nursing leaders are involved in the recovery and development of the community as external supporters. Their role is to help the locals and relevant groups (community stakeholders) take the initiative in dealing with issues, planning and implementing activities, and building systems. In this class students will study Community-based Participatory Research (CBPR) which involves collaboration between the community stakeholders and researchers.</p> <p>The classes will be a seminar course based on the basic textbooks and references and discuss leadership knowledge, skills, and approach required in working with the members of the community.</p> <p>Attainment targets</p> <p>Assess the issues in the community, plan programs and formulate policies, gain the trust of locals, gain cultural skills, study leadership and operational knowledge, skills, and approach.</p>		
Class description	<p>The class will be a seminar course based on the basic textbooks and references. Students will be assigned the role of a reporter. The role of the reporter is to understand the theme of the unit in charge in the text, to investigate additional literature on the subject, and to make a presentation and show a few discussion topics. The reporter is also expected to play a role of facilitating the discussion of the class.</p> <p>[Class 1] Orientation</p> <p>[Class 2 - 14] The class will be based on the units of the basic textbooks.</p> <p>[Class 15] Conclusion</p>		
Textbooks	Barbara A. Israel et al: Methods for Community-Based Participatory Research for Health. Jossey-Bass, 2ed,2012.		
Reference materials	References are introduced from instructors as necessary.		
Grading	Presentation, discussion, and participation (40%); final report (60%)		
Cautions and prerequisites	Reporters are required to consult references in addition to the basic textbooks and send supplementary materials to the teacher and other students before the seminar date. Other students are required to read the material before the seminar.		
Notes	None		

Class title	Disaster Nursing Seminar E 災害看護ゼミナール E	Section	Elective
Class code	1305	Year of study	1・2・3
Credits	2	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Makiko Noguchi , etc	Affiliation	Japanese Red Cross College of Nursing
Office hours / location	E-mail	Contact details	Makiko Noguchi m-noguchi@redcross.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> In developing disaster nursing practice and qualitative research, we will develop the power of sense making beyond mere interview method about "listening to people's voice". <u>Attainment targets</u> Understand the essential meaning of listening to people's voices, understand interviews as research methods, experience of photo voices experientially.		
Class description	Learn practical methods of interviewing as used in research and deepen understanding about listening to disaster victims' voices. Study on the photo voice technique of participatory action research, workshop type seminar, including ethical problems when utilizing photo voice method, etc. 【Lesson plan】 1) Lesson guidance 2) ~ 6) Fifth principle of sense making (Read the books cited as references and make presentations and discussions) 3) ~ 9) Actual practice and interaction as a research method (exercise) 10) Preselection task presentation on Photo Voice method * 11) ~ 14) Presentation and feedback of pre-learning tasks * 15) Summary		
Textbooks	NONE		
Reference materials	Christian Madsbjerg translated by Saito Eiichiro Translated : SENSEMAKING Power to determine what is really important, President, 2018		
Grading	Class participation (40%) Task report (60%)		
Cautions and prerequisites	Please read carefully the designated part of the reference book and participate in the lesson. * Is a workshop by a special lecturer.		
Notes	* Schedule change due to special lecturer's convenience.		

Class title	Independent Study I/II/III/IV/V インデペンデントスタディ I - V	Section	Elective
Class code	1306/1307/1308/1309/1310	Year of study	1・2・3・4・5
Credits	1	Semester	1 or 2
Class type	seminar	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Determined with consultation	Affiliation	One of Five University
Office hours / location	Appointment as required	Contact details	Email
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>This course is designed to provide the student with an opportunity to gain or enhance knowledge and skills to explore an area of interest related to disaster nursing practice or research and to cultivate necessary competencies for global leaders</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <p>(one or more of the followings must be met depending on the project):</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Students expand current knowledge in a specific area of interest related to disaster nursing 2. Students develop or enhance skills in solving practical issues in disaster nursing 3. Students develop or enhance skills in disaster nursing research 		
Class description	<p>[Class overview]</p> <p>Based on the interests and tasks of each student, students will set their own learning goals, activities and class schedule of their independent projects through discussion with their academic advisors and a faculty member with whom they would like to complete their projects. One course is one credit learning and for one semester (semester 1 or 2). Each student is able to take up to 5 subjects (total 5 credits).</p> <p>【Procedure】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The course registration can be made after an Independent Study Learning Plan and an instructor in charge are acknowledged by the curriculum administration steering committee. 2. Students will consult with their academic advisor on the subjects to be addressed as an independent study and decide on the instructor in charge who is suitable for the guidance of the subjects 3. Students prepare an Independent Study Learning Plan (form) (including Learning Objectives, learning contents, Activity schedule etc.) and receive advice and guidance from the instructor in charge of the contents. (The content of the study plan for one course is equivalent to 1 credit) 4. The Independent Learning Plan, well-determined by students and instructors in charge, is acknowledged by the Program Steering Committee. <p>【Planning note】</p> <p>Independent studies are not a substitute for subjects (required / electives) provided by the program. You can not use the same thing as the content covered by the course you offer as an independent study.</p>		
Textbooks			
Reference materials	Will be posted at the start of the class.		
Grading	Evaluate the performance with the attainment of the learning goals. Specific evaluation methods will be decided by the instructor in charge before starting the subject.		

Cautions and prerequisites	Students can register this class after the independent learning plan is acknowledged by the Program Steering Committee. Up to 5 classes (5 credits) can be taken in 5 years. The first class will be "Independent Study I ", and if students will take multiple classes, the second class will be "Independent Study II" and the third will be "Independent Study III" and so on.
Notes	Students should plan for taking Independent Study with plenty of time. If students register the class for 1 st semester, the class should be acknowledged by March of previous year. If students register the class for 2 nd semester, the class should be approved by September.

Class title	DisasterNursing Research Seminar 災害看護研究ゼミナール	Section	Elective
Class code	1401	Year of study	1
Credits	5 (One credit from each University)	Semester	2
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara Mari Kinoshita Sonoe Mashino, Maki Umeda Mie Sasaki Yoshiko Sasaki, Tomoko Komagata Misako Miyazaki, Naho Sato Makiko Noguchi, Toshiko Ikeda	Affiliation	University of Kochi University of Hyogo Tokyo Medical and Dental University Chiba University Japanese Red Cross College of Nursing
Office hours / location	Appointments as required	Contact details	e-mail address
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> Based on what students have learned and practical experiences, focusing on disaster nursing areas that each student is interested in, gathering and analyzing information about the issues, and then develop the ability to find research questions from an interdisciplinary point of view. <u>Attainment targets</u> (1) Students can express research inquiry to carry out interdisciplinary research in the field of disaster nursing. (2) Regarding the research questions, students can gather literature and other information. (3) Students can implement literature critique related articles. (4) Students can analyze and integrate information and clarify research topics leading to the Field Research.		
Class description	Lecture and seminar managed by students will be conducted via TV conference system. 【Lecture1】 Orientation and planning of learning schedules. 【Lecture2-38】 Presentation and discussion by students, and advice from faculty on the following. The time for students to study individually will be Included. ・ Study of issues in disaster nursing area that students are interested in. ・ Searching literature and the critique. ・ Information gathering and integration. 【Lecture39-40】 Final presentation, discussion and feedback.		
Textbooks	To be introduced according to student's interest.		
Reference materials	To be introduced according to student's interest.		
Grading	Evaluation is carried out by faculties from 5 universities depend on Learning attitude, including presentation and discussion.		
Cautions and prerequisites	Student's subjective and active management is expected.		
Notes	None		

Class title	Field Research 実践課題研究	Section	Required
Class code	2402	Year of study	2
Credits	5 (One credit from each university)	Semester	Full year
Class type	Seminar	Mode of instruction	Face-to-face, Field work
Instructors	Teachers belongs to cooperative doctoral program for Disaster Nursing	Affiliation	University of Kochi University of Hyogo Tokyo Medical and Dental University Chiba University Japanese Red Cross college of Nursing
Office hours / location	Appointments is required	Contact details	Above professor's e-mail address
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>This course builds the students' ability to evaluate and observe from an academic and an interdisciplinary perspective. The students will pick a disaster nursing issue of their choice based on the knowledge and skills that students gained in the course work, collect and analyze information or plan and undertake support activities to investigate more into the issue, then generate a thesis based on that work.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <p>1)Grasp disaster situations and identify and investigate nursing issues.</p> <p>2)Collect and analyze information on disaster situations</p> <p>3)Devise, implement, and advise on measures (support activity plans) to help disaster victims maintain health and their lifestyle in disaster situations.</p> <p>4)Analyze information and undertake support activities on the issues, and put them together in a thesis.</p> <p>The definition of "disaster situations" include disaster reduction / disaster mitigation, and "support activities" include the creation of systems and groups such as the coordination between hospitals and local communities.</p>		
Class description	Students will devise and implement plans with a chief advisor for the field research and four vice advisors.		
Textbooks	Textbooks are introduced depend on a research theme of the student.		
Reference materials	References are introduced depend on a research theme of the student.		
Grading	Five advisors will evaluate the students based on their process and the final thesis.		
Cautions and prerequisites	Students must consult their advisors about the issue of their choice and their work process.		
Notes	This course is a prerequisite for the Preliminary Examination. Students will be provided with a list of the expertise of the five universities professors to help choose their advisors.		

Class title	Dissertation Research Proposal 災害看護研究デベロップメント	Section	Required
Class code	3403	Year of study	3
Credits	5 (One credit from each university)	Semester	1
Class type	Seminar	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara Mari Kinoshita Sonoe Mashino, Maki Umeda Mie Sasaki Yoshiko Sasaki Misako Miyazaki, Naho Sato Makiko Noguchi	Affiliation	University of Kochi University of Hyogo Tokyo Medical and Dental University Chiba University Japanese Red Cross College of Nursing
Office hours / location	Appointed as required	Contact details	E-mail
Class objectives and attainment targets	<u>Objectives</u> Aiming toward creating the dissertations of each student, the process for creating research planning proposals is discussed by the instructors and student. In the context of proposing research plans, full consideration of documents and advance information gathering is carried out, and full consideration is given concerning the significance of research and ethical considerations, and actively seeking consultation with and advice from instructors and specialists in the relevant fields, and the possibility of executing the research. Attainment targets are: (1) To obtain an understanding of the conditions required in a dissertation as a DNGL. (2) To obtain an understanding of the process of focusing on the academic or global viewpoint as a research subject on the present situation in disaster nursing. (3) To obtain the ability to choose all matters from a research subject to appropriate research design, to incorporate new knowledge or knowledge from other academic fields, and to decide upon a research method. (4) To be able to create a draft of a research plan proposal of sufficient quality for your dissertation. (5) To obtain the ability to refine a research plan proposal through discussions with instructors and other students.		
Class description	Explanation concerning the salient points of dissertation writing is carried out as TV conference classes. After that, in accordance with the research plan of each student, the plan is drawn up with 1 main supervisor and 4 assistant supervisors, and then executed (refer to the completion guidebook to find the special field of each guidance instructor.) In addition, discussion will be carried out among the students concerning research plan proposals, and they are promoted while sharing the process of plan design. <u>Class Plan</u> 1) Orientation (April) : Explanation of Evaluation Criteria 2) Presentation and discussion of the draft research plan ① (late May) 3) Presentation and discussion of the draft research plan ② (late June) 4) Presentation and discussion of the draft research plan ③ (late July) Research design · Method selection 5) Sophistication of draft research plan (individual between each student and five supervisors) 6) Presentation of research plan draft (Monday, September 28)		

Textbooks	Not required
Reference materials	Indicated in accordance with necessity.
Grading	After the presentation in 6) above, submit a report on the draft research plan draft, and evaluation of each student by supervisors from the five universities according to the evaluation criteria
Cautions and prerequisites	Except for the above-mentioned lesson plan 5), students coordinate their schedules amongst themselves and perform this through a TV conference.
Notes	The reason that this subject is set up as a 3rd year 1st semester subject is for the purpose of providing support to preparations for writing dissertations. Since this is a system for support of research with sequential involvement of multiple supervisors in the process of writing a doctoral dissertation, it is designed as a training aid for students to learn to summarize and reach their own conclusions concerning the opinions obtained from various instructors.

Class title	Dissertation Research 博士論文	Section	Required
Class Code	3404	Year of study	3-5
Credits	5 (one credit from each university)	Semester	Full-year
Class Types	Seminar	Mode of instruction	Distance Learning
Instructors	Satoru Yamada, Sakiko Kanbara, Mari Kinoshita Sonoe Mashino, Maki Umeda Yoshiko Sasaki, Tomoko Komagata Misako Miyazaki, Naho Satoh Makiko Noguchi	Affiliation	University of Kochi University of Hyogo Tokyo Medical and Dental University Chiba University Japanese Red Cross School of Nursing
Office hours	Make an appointment by e-mail	Contact address	E-mail
Class objectives and attainment targets	<p>【Objective】 Students will obtain the ability to conduct academic research on their own by practicing an actual dissertation study based on research plan documents with adherent to the instructions from the institutional review board of each university of register. The course will provide students with opportunities, in particular, to learn the practical process of data collection and data analysis, as well as ethical considerations, which will be essential in each process of study with advice/instructions from research advisers.</p> <p>【Point of Evaluation as Ph.D. Thesis】</p> <p>① Process of dissertation research</p> <ul style="list-style-type: none"> Adherence to research plan document or adequate course correction, if any. Appropriateness of research as PhD thesis of disaster nursing Accuracy and sufficiency of data description in result section Comprehensive discussion of results Effective presentation of dissertation (structural design, intelligible expression, logical consistency, and compliance) Adequate protection of human rights and dignity throughout the process of dissertation research <p>② Social contribution by the research</p> <ul style="list-style-type: none"> The high impact of research on the development and sustainability of society <p>③ Other points of evaluation (if it is applicable.)</p> <ul style="list-style-type: none"> Appropriateness and significance of research as disaster nursing Explicit research purpose Clear orientation and significance of research defined by the comprehensive reviews of the literature on related knowledge and concepts. Methods: straightforwardness of methods to achieve research 		

	objectives; a detailed description of data collection and analysis; and adequacy of each method.
Class description	<ul style="list-style-type: none"> ♦ The Program Steering Committee approves to conduct dissertation research to a student who has passed the Qualifying Examination (QE) upon request. ♦ DNGL instructors will be his/her research advisers. ♦ Students take initiatives to conduct his/her dissertation research project based on the research plan approved in QE. ♦ Sub advisers should provide necessary instructions in the process of dissertation research and writing thesis through media, which include distance learning systems.
Textbooks	None
References Materials	To be announced.
Grading	A group of five evaluators, which consists of one (1) chief adviser and four (4) co-advisers, will grade the achievement of dissertation and the process of research based on the attainment targets, as mentioned above.
Cautions and prerequisites	Students who have passed QE by the previous semester can register the course.
Notes	Interim Presentation (博士論文中間発表会) will be held during or after the course work. The date and invitees of the workshop for the academic advice will be decided based on the discussion with the research advisers.

Class title	Theories in Nursing II 理論看護学Ⅱ	Section	Required
Class code	301	Year of study	3
Credits	2	Semester	1
Class type	Lecture	Mode of instruction	Distance learning
Instructors	Sayumi Nojima, Sawa Fujita Hiroko Azechi, Sakiko Kanbara	Affiliation	University of Kochi
Office hours / location	E-mail	Contact details	nojimas@cc.u-kochi.ac.jp kanbara@cc.u-kochi.ac.jp azechi@cc.u-kochi.ac.jp fujita@cc.u-kochi.ac.jp
Class objectives and attainment targets	<p><u>Objectives</u></p> <p>The purpose of learning is to understand philosophy and history of science, and to analyze their relationship to science and society in contemporary society. Through utilization of this knowledge, nurturing of the ability to make comparative analysis of theories relating to the science of nursing and practical nursing, as well as the basic ability for building a nursing theory is carried out.</p> <p><u>Attainment targets</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • To be able to comprehend the influence of the philosophy and history of science on nursing. For the students themselves to be able to hold a way of thinking concerning the question of "What is science in the context of nursing?" • To gain the ability to discuss the relationship between science and nursing (care) based on a historical understanding. • To gain the ability to analyze and evaluate nursing theories, as well as the ability to explain the unique features of those theories (such as comprehensive theories and mid-range theories). • To obtain the ability to make conceptual analysis of concepts utilized in nursing and concepts in which the students themselves have interest. • To gain the ability to explain the relationship between practice, research, and theory in the context of nursing. 		
Class description	<p>(Omnibus style/15 sessions)</p> <p>【Lecture 1-3】 Sakiko Kanbara</p> <p>To understand the way of capture the phenomenon intentionally and systematically through observation in practice and signify the correlation between concepts distinctively.</p> <p>【Lecture 4-7】 Sawa Fujita</p> <p>These sessions provide learning of the philosophy and history of science, and analysis of their relationship between science and society in contemporary society.</p> <p>In addition, an overview of the philosophy of nursing is reviewed, and considerations are made concerning the basis of philosophy for the purpose of forming concepts of the actual conditions and practical application of nursing.</p> <p>【Lecture 8-11】 Hiroko Azechi</p> <p>General training is provided in methodology for analyzing concepts, as well as practical concept analysis in terms of dealing with both concepts that are utilized in the theory of nursing and concepts in which the students themselves have interest.</p>		

	<p>Then review the course and summarize in the last session.</p> <p>【Lecture 12-15】 Sayumi Nojima</p> <p>Teaching is carried out on the subjects of the history of nursing theories, the concepts that constitute the basis of theories, and methodology of analysis and evaluation of nursing theories, alongside training in examples of practical theory structuring in the context of the relationship between practice, research and theory.</p>
Textbooks	None in particular
Reference materials	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村上陽一郎, 人間にとって科学とは何か, 新潮社, 2010. ・ A.F.チャルマーズ著, 高田紀代志・佐野正博訳, 新版 科学論の展開—科学と呼ばれているのは何なのか? 恒星者厚生閣, 1983. ・ Polifroni, E. C. & Welch, M. Perspectives on Philosophy of Science in Nursing: An Historical and Contemporary anthology, Lippincott, 1999. ・ Fawcett, J.著, 太田喜久子・筒井真優美監訳, フォーセット看護理論の分析と評価 新改版, 医学書院, 2008. ・ Walker, L. O & Avant, K. C.著, 中木高夫・川崎修一訳, 看護における理論構築の方法, 医学書院, 2008. ・ Rodgers, B. L. & Knafl, K. A. Concept Development in Nursing: Foundations, Techniques, and Applications. Second edition. Saunders, 2000. ・ Others introduced when appropriate.
Grading	Evaluation is carried out on the degree of class participation (preliminary learning, discussion, and post-learning) as well as overall presentations and reports.
Cautions and prerequisites	Not required
Notes	None